

令和7年度

静岡地域おこし協力隊図鑑

～地域で輝く隊員それぞれの挑戦～



静岡地域おこし協力隊図鑑について

静岡県における地域おこし協力隊は、令和7年10月現在、約140名が各地域で地域課題の解決や地域活性化に向けて活動しており、OB OGも含めると延べ240名以上に上ります。

本図鑑は、隊員・経験者の皆様の多様な取り組みをまとめ、静岡県内外に広くその活動内容を紹介することを目的として作成いたしました。

また、県内の隊員同士が連携を深め、互いの知見や経験を共有するためのツールとしても活用していただきたいと考えております。

これから地域おこし協力隊を志す方をはじめ、隊員・経験者や市町職員の皆さまの活動の参考になれば幸いです。

なお、本図鑑の作成に際し、ご協力いただきました皆様に心より感謝申し上げます。

【現役隊員数、市町数】

(令和7年10月1日時点)

27市町 (139人)	下田市 (7)	沼津市 (2)	静岡市 (13)	浜松市 (11)
	東伊豆町 (10)	熱海市 (3)	島田市 (2)	磐田市 (6)
	河津町 (6)	富士宮市 (1)	焼津市 (1)	掛川市 (1)
	南伊豆町 (5)	伊東市 (2)	藤枝市 (16)	湖西市 (1)
	松崎町 (3)	裾野市 (1)	牧之原市 (6)	御前崎市 (1)
	西伊豆町 (9)	伊豆市 (14)	川根本町 (4)	菊川市 (1)
		伊豆の国市 (2)		森町 (1)
	小山町 (10)			

目次

・ 下田市（現役2名）	6
・ 東伊豆町（現役6名）	9
・ 西伊豆町（現役3名）	16
・ 沼津市（現役2名）	20
・ 熱海市（現役1名）	23
・ 富士宮市（現役3名OB OG 1名）	25
・ 伊東市（OB OG 1名）	30
・ 裾野市（現役1名）	32
・ 伊豆市（OB OG 1名）	34
・ 伊豆の国市（現役2名）（OG OB 1名）	36
・ 静岡市（現役12名）（OB OG 1名）	40
・ 島田市（現役2名）	54
・ 焼津市（現役1名）（OB OG 2名）	57
・ 藤枝市（現役15名）（OB OG 2名）	61
・ 牧之原市（現役1名）	79
・ 川根本町（現役4名）（OB OG 1名）	81
・ 浜松市（現役5名）	87
・ 磐田市（現役6名）	93
・ 御前崎市（現役1名）	100
・ 森町（現役1名）	102
・ しずおか地域おこし協力隊ネットワークしずく	104

活動分野別表

ページ	氏名	交流人口拡大 移住支援	観光サービス 観光開発	一次産業	特産品開発販売	海業	中山間地域振興	鳥獣害対策	地域活動支援	市街地活性化	マーケティング	地域資源調査	空き家対策	伝統産業支援	文化・スポーツ振興	情報発信 デジタル活用	環境教育	教育支援
7	新村 陽（下田市）			○	○													
8	高橋 真希（下田市）		○															
10	山本 啓介（東伊豆町）	○																
11	梅田 留奈（東伊豆町）		○															
12	武田いつみ（東伊豆町）		○												○			
13	平野 芹奈（東伊豆町）	○																
14	北嶋 泰成（東伊豆町）		○															
15	柳瀬 可奈子（東伊豆町）								○									
17	丸山 里奈（西伊豆町）	○											○					
18	三上 陽平（西伊豆町）					○												
19	川口 洋海（西伊豆町）		○														○	
21	高橋 建次（沼津市）				○													
22	今田 隼輔（沼津市）			○	○													
24	三ツ井 卓也（熱海市）		○															
26	川上 敦也（富士宮市）								○								○	
27	青木 芽以（富士宮市）			○														
28	高木 陽介（富士宮市）	○											○					
29	小田 優斗（富士宮市OB）	○	○															
31	杉浦 学（伊東市OB）	○																
33	萩原 歩美（裾野市）														○			
35	ファヴァロ・マルコ（伊豆市OB）														○			
37	榊田 幸平（伊豆の国市）		○															
38	春 奈依耶（伊豆の国市）		○													○		
39	小山 和志（伊豆の国市OB）		○															
41	御厨 朋子（静岡市）														○			
42	高浜 京子（静岡市）		○															
43	星野 晴香（静岡市）	○																
44	垣本 鉄平（静岡市）	○																
45	木下 佑作（静岡市）				○									○				
46	大塚 達朗（静岡市）									○								
47	中林 真希（静岡市）									○						○		
48	大森 遊音（静岡市）	○													○			
49	乙部 冴（静岡市）						○										○	
50	山田 ひさ枝（静岡市）														○			
51	酒井 友規（静岡市）	○		○			○											
52	小倉 拓馬（静岡市）				○						○							
53	金原 みつみ（静岡市OG）				○		○											
55	中澤 緑（島田市）		○													○		
56	高橋 郁弥（島田市）									○						○		

ページ	氏名	交流人口拡大	観光サービス	一次産業	特産品開発販売	海業	中山間地域振興	鳥獣害対策	地域活動支援	市街地活性化	マーケティング	地域資源調査	空き家対策	伝統産業支援	文化・スポーツ振興	情報発信	デジタル活用	環境教育	教育支援
58	岩崎 美沙(焼津市)	○	○													○			
59	三浦 愛(焼津市OG)	○				○										○			
60	鈴木 銀次郎(焼津市OB)	○														○			○
62	下城 爽(藤枝市)											○			○				
63	古澤 光徳(藤枝市)		○												○				
64	松ヶ枝 利昭(藤枝市)														○				
65	杉本 結(藤枝市)	○				○													
66	古川 竜翔(藤枝市)									○									
67	辻 良平(藤枝市)	○																	
68	藤本 裕介(藤枝市)	○			○														
69	木原 亮子(藤枝市)	○								○									
70	松浦 伸考(藤枝市)									○									
71	神尾 彩乃(藤枝市)														○				
72	土屋 香緒里(藤枝市)														○				
73	島村 友妃子(藤枝市)														○				
74	畠山 瞳(藤枝市)														○				
75	玉手 翔吾(藤枝市)	○				○													
76	北川 健(藤枝市)										○				○				
77	田形 友幸(藤枝市OB)				○						○								
78	仁科 亜弓(藤枝市OG)	○													○				
80	ジョン・オオモリ・カーク(牧之原市)										○				○				
82	藤田 昌永(川根本町)		○															○	
83	芦沢 博稔(川根本町)		○																
84	松山 征帆(川根本町)		○													○			
85	高田 大暉(川根本町)		○																
86	渡辺 実優(川根本町OG)	○																	
88	高坂 フランチェスコ太陽(浜松市)						○	○											
89	中谷 友佑(浜松市)				○		○				○								
90	石川 愛実(浜松市)			○			○												
91	保泉 雄貴(浜松市)						○	○											○
92	平野 健寿(浜松市)						○												○
94	安江 成美(磐田市)															○			
95	山本 真由美(磐田市)			○			○											○	
96	秋山 拓哉(磐田市)	○											○						
97	川邊 正人(磐田市)												○						
98	藤田 亮太郎(磐田市)												○						
99	上村 奈央子(磐田市)		○																
101	瀬尾 陸斗(御前崎市)														○				
103	望月 銀河(森町)	○			○		○												

下田市



～ 国産タンポポコーヒーの製品化チャレンジ ～

基本情報



【名前】 新村 陽
 【年代】 20代
 【出身地】 神奈川県横浜市
 【転出元】 神奈川県横浜市
 【前職】 医療機器の販売代理店(営業)
 【活動時期】 R7.4～R10.3

協力隊になったきっかけ(動機)

母の生まれ故郷で、よく遊びに行っていた。海も山もある自然豊かなこの街で生活したいと思った。元々農業に興味があり協力隊の募集を見てチャレンジしようと思った。

市町からのミッション

- ・新規作物の開発
- ・販路拡大

移住先での暮らしの様子(よかった点、こまっていること等)

自然はもちろん、地元の方、同じ移住者の方々が優しく、毎日が楽しい。時間がゆっくり流れる気がする。人混みも人間関係のトラブルも無くストレスフリーで生活できている。

現在の活動に対する想い(よかった点、がんばりたいこと等)

市役所、農協、地域の方々の応援のおかげで活動ができているので、下田市で新しいブランドを作り形にしたい。それが応援してくださっている方々への恩返しだと思うから。

活動内容

●タンポポ栽培・コーヒーの商品開発

- ・セイヨウタンポポの栽培
- ・タンポポコーヒーの商品開発
- ・タンポポコーヒーは妊娠・授乳期に飲まれることが多い。
- ・市場に出回っているタンポポコーヒーのほとんどは海外産、国産を作りたくてチャレンジしています。



●ヨモギの栽培・商品開発

- ・ヨモギの栽培
- ・ヨモギ茶、ヨモギのオイル、お香の商品開発
- ・ヨモギの香りに含まれているシネオールという成分にはリラックス効果があると言われている。
- ・基本的に手間が掛からないので拡大しやすい。



●耕作放棄地の再生

- ・全て耕作放棄地を再生させて農業をやっています。
- ・土作りが不要で手間が掛からない作物に絞って栽培しております。(アーモンドも栽培しています)
- ・今はどんどん農地と販路を増やしているところです。
- ・耕作放棄地は僕にとって宝の山です。



開拓前→

世界で一番のタンポポコーヒーブランドを目指します

世界で一番有名なタンポポコーヒーブランドの立ち上げを目指しております。試作品もできており、あとは大量生産して販路を作るだけの状態です。栽培から加工まで全て自分で行なっています。加工工程は秘密ですが試行錯誤し現在市場に出回っている製品よりもよりコーヒーに近く、そして深みのある製品となっております。

2026年11月に販売予定ですので、気になった方はぜひご連絡お待ちしております。

～タンポポコーヒーを通じてより良い世界に～

【活動の様子を発信しているSNS】
<https://www.instagram.com/makixxuo44/>
 【メールアドレス】mak0312t@gmail.com



@MAKIXXUO44

～地元の人も下田の魅力を再発見できるイベントを企画！～

基本情報



【名前】 高橋 真希
 【年代】 30代
 【出身地】
 千葉県船橋市
 【転出元】
 千葉県船橋市
 【前職】
 事務職
 【活動時期】
 R6.5～R9.4

協力隊になったきっかけ（動機）

「いつか知らない地域(田舎)に住んでみたい」という漠然とした想いと、地域おこし協力隊の活動をテレビで見ている、地元住民と繋がりがあがる『まちづくり』に魅力を感じました。

市町からのミッション

- ・既存イベントのブラッシュアップ
- ・新規イベントの企画開発及び旅行エージェント、交通事業者との連携強化を実施
- ・観光案内・体験窓口「し～もん」の機能強化

移住先での暮らしの様子(よかった点、こまっていること等)

- ・海と山が近くにあり、夜は星がきれい。ご飯もおいしい！
- ・地域住民のつながりが強いこと、市町を越えた賀茂エリアのつながりがあること
- ・「まちづくり」への住民ひとりひとりの関心が強く、自分事

現在の活動に対する想い(よかった点、がんばりたいこと等)

観光客向けのイベントを企画していますが、地元住民が楽しめること、マチの魅力を再発見できることイベントを企画しています。協力隊最後の年も、地域住民と観光客が交流ができる、体験イベントで下田の魅力を日本全国に届けたいです！

活動内容

●『つながるフリーコーヒー』を開催

地域住民や観光客に、下田に対する観光について意見を聞く『つながるフリーコーヒー』を開催！お散歩途中のご老人たちや海外からの長期滞在者との交流だけではなく、地元高校写真部の写真展とコラボしたり、まちづくりワークショップ『ローカルダイアログ』を開催するなど、意見交換の場以上の「つながる場」ができました！



● あじさい × 竹あかりライトアップの実施

下田市では、毎年6月の1ヶ月間「伊豆下田温泉あじさい祭」を開催していますが、課題は「夜の宿泊者数の低迷」。下田市で、長年放置竹林対策事業を行う「竹楽しみまくる下田」とコラボレーションし、あじさいと竹あかりの夜のライトアップを開催。地元住民の方々はもちろん、東京や埼玉からの宿泊者、外国人観光客にも、お越し頂きました。



● SHIMODA SPLASH X

9月の「アフターサマー」も、まだまだ楽しめる下田のビーチで、地元子どもたちと観光客子どもたちが交流できる水鉄砲バトルイベントを開催！グループ戦、個人戦の優勝者には地元事業者からの豪華プレゼントを贈呈！ゆくゆくは、伊東市の「枕投げ大会」のような全国規模のイベントに育てていきたいと思っています。



PR

友人たちとイベント企画・運営団体『S.E.E.D.(Sustainable Events for Ecosystem & Developmentの略)』を立ち上げ、伊豆最大級！？のハロウィンイベント『SHIMODA BOO! PARK』を昨年10月に開催！4月の桜の季節には、日本初開催(?)のあの場所であんなイベントも企画中です！
 伊豆半島・賀茂地域では、県内の地域おこし協力隊の1/3以上が活動しています！各市町の協力隊がつながり、賀茂地域全体を盛り上げられるようなことがしたいです！

東伊豆町

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

https://www.instagram.com/uchicchi_izu

【メールアドレス】my.enemy-is-myself@i.softbank.jp



～公式ファンクラブ『うちっち』東伊豆をもっと好きに～

基本情報

【名 前】山本啓介
 【年 代】30代
 【出身地】神奈川県横浜市
 【転出元】神奈川県川崎市
 【前 職】
 サッカー指導者
 【活動時期】
 R6.12～R9.11

協力隊になったきっかけ（動機）

祖父の別荘（東伊豆町）に移住することが決まり、役場の移住相談窓口で相談をしたところ、地域おこし協力隊という制度を知り、応募をすることにしました。

市町からのミッション

関係人口創出事業・・・東伊豆町公式ファンクラブ「うちっち」の運営・運用をメインに、SNSの発信やファンクラブ特典の充実化・町長と会員との交流会などを開催しております。

移住先での暮らしの様子(よかった点、こまっていること等)

東伊豆の魅力は、人・食だと感じております。もちろん他にもたくさんありますが、温かく迎えてくださった地元の方々には、いつも助けられており、感謝しています。あとは、食事が美味しくて、10キロ太りました、、、（車移動だからかな）

現在の活動に対する想い(よかった点、がんばりたいこと等)

東伊豆町にいても、東伊豆を感じてもらえるように東伊豆の日常を発信し続けていきたいと思っております。また、交流会の際に会員の方からいただいたご要望を、実現できるように地元企業の方々と連携し、会員の方の満足度を上げていきたいです。

活動内容

●東伊豆町公式ファンクラブ『うちっち』

ラインのオープンチャット機能をメインに、東伊豆町の今やイベント情報などを発信しております。関係人口の方々は、町外にいなながらも東伊豆が好きな方々だと思っているので、より東伊豆町を身近に感じてもらい、また東伊豆町に足を運んでいただくきっかけになればと思っております。



●ファン交流会

年に一度、町長と町職員、うちっち会員限定で、交流会を行っております。町民でもなかなかお話しができる機会が少ない町長と一緒に食べて飲んで、様々なお話しができるとして、会員さまから好評をいただいております。フォトコンやクイズ大会など楽しんでいただけるコンテンツと東伊豆由来の豪華景品なども好評いただいております。



●うちっち加盟店の増加

公式ファンクラブ『うちっち』では、入会特典として東伊豆町内のうちっち加盟店で使えるクーポンを配布しています。新規事業者や地元事業者との連携を深めながら、クーポンを利用できる店舗を少しずつ増やし、東伊豆を再訪するきっかけづくりと「うちっち」の魅力向上を目指して活動しています。



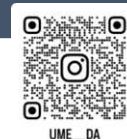
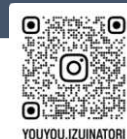
2年目の活動目標

SNSマーケティングに携わってきた経験を活かし、今後もオープンチャットやSNSでの継続的な発信やファンクラブ運営を通じて、町の魅力をより多くの方に届けていきたいと考えております。また、静岡県はサッカー王国と言われる一方で、「伊豆は…」という声を地元の方々から聞くこともあり、サッカーファミリーとして寂しさを感じています。町がプロサッカーチームと提携したことをきっかけに、サッカー指導者の経験を活かし、伊豆でもサッカーでの活躍の場を広げていけたらいいなと考えております。

【活動の様子を発信しているSNS】

<https://www.instagram.com/youyou.izuinatori/>https://www.instagram.com/ume_da/

【メールアドレス】runa.umeda07@gmail.com



～伊豆稲取駅を活性化させるスペースのデザイン・運営～

基本情報



【名前】梅田留奈
 【年代】20代
 【出身地】北海道旭川市
 【転出元】東京都大田区
 【前職】
 広告会社
 【活動時期】
 R6.1～R8.12

協力隊になったきっかけ（動機）

大学生の時に2年半ほど東伊豆町でフィールドワークを行っていました。卒業後は東京の広告会社に就職しましたが、望んでいたデザイン業務を任せてもらえず…転職を検討していた時に、大学生の頃の繋がりで東伊豆町地域おこし協力隊を紹介いただきました。

市町からのミッション

株式会社micro developmentさまと協力し、伊豆稲取駅改札前にあるスペース「まちのレセプション ようよう」のデザイン全般・運営を担当しています。

移住先での暮らしの様子(よかった点、こまっていること等)

良かった点は、ワークライフバランスが取れるようになったこと。協力隊の仕事が終わって、綺麗な海と夕焼けを見る時間が至福です。食べ物も美味しいし、人もあたたかくて最高です。困っていることは特にありません(ありがたい…)

現在の活動に対する想い(よかった点、がんばりたいこと等)

伊豆稲取駅にあるので、接するのは基本的に観光客です。地域で暮らしていると地域の良い点がわからなくなってくるのがあるあるかと思いますが、観光客の方と接していると地域の何が魅力なのかを忘れずにいられます。また、地域の至らない点も毎日目にするので、少しでも解決できるように活動したい、と日々思っています。

活動内容

●「まちのレセプション ようよう」をオープン

東伊豆町は住民1万人の町ですが、年間70万人もの観光客が訪れる観光地です。しかし令和5年9月末、伊豆稲取駅前にあった観光案内所と売店がクローズしてしまいました。そこで、株式会社micro developmentさまと協力して「まちのレセプション ようよう」をオープン。ロゴマークやショップカード、店内ポップなどオープンに必要なグラフィックデザイン全般を担当いたしました。



● ようようにて観光案内や接客、オリジナルグッズを展開

ようようは、観光案内所・カフェ・売店・待合所・ワークスペースという5つの機能を持つスペースです。実際に店頭に立ち、観光案内や接客を行っています。また、オリジナルマップを年4回作成して発行したり、オリジナルTシャツ・トートバッグ・温泉タオルなどの商品もデザインして販売しております。



● 地元住民に向けた企画を実施

伊豆稲取駅を利用する地元の高校生が数多くいます。日々勉強や部活を頑張る学生をおとなが応援する企画「学生応援チケット」を常時開催しています。過去には1周年感謝祭など再訪を促すイベントも行いました。



デザインのご相談お待ちしております！



退職後はデザイナーとして活動予定です！東伊豆町地域おこし協力隊は副業OKのため、現在もフリーランスデザイナーとしてお仕事をいただいているので、デザインの比重を多くしていきたいと思っています。東伊豆、伊豆半島、そして静岡県内の魅力をもっと外に伝えていけるデザイナーを目指して頑張ります！

【活動の様子を発信しているSNS】

https://www.tiktok.com/@hinanoco?_r=1&_t=ZS-93RFYPdY3a3

【メールアドレス】 izumin.medi@gmail.com



～伝統文化を令和の若者へ～

基本情報



【名前】 武田いづみ

【年代】 30代

【出身地】 神奈川県茅ヶ崎市

【転出元】 神奈川県茅ヶ崎市

【前職】

パリスタ、フリーランスモデル、西洋占星術師

【活動時期】

R6.7～R9.6

協力隊になったきっかけ（動機）

Instagramの広告で「ワーケーション体験」の企画を見つけ応募したところ当選し、1泊2日堪能したことがきっかけです。

市町からのミッション

「雛のつるし飾り文化推進事業」として、若者向けに認知度・愛着度UPのためSNS発信・キャラクター企画運営を担当しています。

移住先での暮らしの様子(よかった点、こまっていること等)

海が見える家に住んでいるので、満月の時は海面に月の光が道を作る「ムーンロード」が見えます。星も綺麗です。坂が多い港町なので、自家用車がない時は移動手段に困って大変でした。

現在の活動に対する想い(よかった点、がんばりたいこと等)

雛のつるし飾りという祈りの文化、今も語り継がれていること、少しずつ変わっていったもの、そして桃の節句という暦の文化。東伊豆町という土地で栄えたことの意味と現代を生きる人たちのニーズを踏まえて、「知る」きっかけになるような発信を心がけていきます。

活動内容

●雛のつるし飾りに関わる人々との交流と理解

雛のつるし飾りに関わる製作者、旅館組合、行政の方々と交流し、文化の成り立ちや背景についてヒアリングを重ねてきました。飾り一つ一つに込められた願いや意味、使用される素材、手縫いによる制作工程などを実際に伺い、制作体験を通して理解を深めています。また、町としてつるし飾り文化をどのように守り、次世代へ伝えていくかについて意見交換を行い、若年層への伝え方という課題意識を共有しました。これらの学びは、後述する発信活動の基盤となっています。



●キャラクター化とSNS発信による若年層へのアプローチ

雛のつるし飾りを若年層にも親しみやすく伝えるため、オリジナルキャラクター「ひなうさ」を考案。企画立案、キャラクター設定、ストーリー制作から、SNS（主にTikTok）での発信、視聴者からの反応分析までを一貫して行っています。歴史的背景や、飾りに込められた願い、製作者の想いを物語やビジュアルに落とし込み、伝統文化への敬意を保ちながら現代的な表現を意識しています。また、実際の東伊豆町・稲取の風景や暮らしを取り入れることで、地域と作品が結びつく世界観づくりを行っています。将来的には、イベントや観光施策などオフラインでの活用も視野に入れた発信を継続しています。



ゆるキャラ作るの得意です！

ゆるキャラ作成が得意なので、公式キャラクターを作りたいと思っているけどなかなか手をつけられてなかった自治体、事業者さまお気軽にお声掛けください！

発信はまだまだ素人なので、同じように若者向けにSNS発信をされている方がいたら一緒に切磋琢磨したいのでお気軽に連絡いただけたら嬉しいです。



～東伊豆町での暮らしや仕事、関係性を繋げるサポート～

基本情報



【名前】平野 芹奈
 【年代】30代
 【出身地】東京都あきる野市
 【転出元】東京都世田谷区
 【前職】
 看護師/ライター・編集・PR
 【活動時期】
 R6.11～R9.10

協力隊になったきっかけ（動機）

看護師として「人の暮らし」に向き合ってきた中で、仕事や住まい、人との関係性が変わるだけで人生の選択肢は大きく広がると感じてきました。東伊豆町を訪れた際の日常にある文化や人との距離感に強く惹かれ、移住を自然な選択肢として届けられると感じ協力隊へ応募しました。

市町からのミッション

東伊豆町の移住定住促進に向け、移住希望者への相談対応、町の暮らしや仕事の魅力発信、関係人口の創出・接点づくりを通して、地域と人を繋ぐ役割を担うこと。

移住先での暮らしの様子（よかった点、こまっていること等）

海から登る朝日と稲取を見渡せる山、日常に温泉がある環境で、「暮らすこと」と「働くこと」が分断されずに存在している点が魅力的です。顔の見える関係性から、自分が町にどう影響しているのかを実感します。一方で、点在している情報をどう集約していくかが課題だと感じています。

現在の活動に対する想い（よかった点、がんばりたいこと等）

移住は、働き方や人との関係性を再設計することだと考えています。移住相談では、移住後の不安やギャップを減らせるよう、町の日常や地域性、暮らしが伝わる説明や体験づくりを大切にしています。今後は、制度や物件の紹介に加え、働き口を表面化し、「来てよかった」「住み続けたい」と思えるサポートを強化していきたいです。

活動内容

●暮らし目線での移住相談対応

移住希望者一人ひとりに応じたライフステージや価値観、仕事・家族・住まいへの希望を丁寧にヒアリングし、東伊豆町での暮らしを具体的にイメージできる移住相談を行っています。物件情報や制度案内のみではなく、地域での仕事の実情や、日常の移動手段、生活リズム、地域との関わり方や距離感、教育環境など、実際に暮らす目線での情報提供を重視しています。「どこに住みたいか」ではなく、「どんな暮らしをしたいか」を一緒に考える相談対応です。

●町の日常を伝える情報発信

移住定住フェアや相談会、イベントを通じて、観光情報だけでは伝わりにくい東伊豆町の日常・人・働き方・暮らしの風景を発信しています。地域で暮らすリアルな声や、町の日常の過ごし方、移住後の働き方や地域との関係性などを可視化するように具体的に伝え、移住検討者が「自分が暮らしたらどうなるか」を具体的に想像できるような情報の発信を意識しています。

●関係人口・体験機会の創出

町歩きイベントや文化体験、地域の人と出会う場づくりを通して、移住前に町と関わるきっかけとなる体験企画を実施しています。また、移住者や地域住民が関わるができる機会も創出できるよう意識して企画・運営しています。地域の日常を知る町歩き、伝統文化や暮らしに触れる体験、地域で働く人と話す機会などを通して、移住の有無に関わらず、町とゆるやかにつながり続ける関係人口の創出、移住支援を目指しています。



まずは、一度お越しください。

移住は、住む場所を変えることではなく、暮らし方や人との関係性をつくり直すことだと考えています。看護師として人の暮らしに寄り添ってきた経験と、ライター・PRとして培ってきた「伝える力」を活かし、制度や物件紹介だけにとどまらない、暮らし目線の移住支援を行っていきたくと考えています。

町の日常や人の魅力を丁寧に伝え、移住前後のギャップを減らすことが目標です。移住する・しないに関わらず、東伊豆町とゆるやかにつながり続けられる関係性づくりに取り組んでいます。

～六温泉郷で観光振興を～

基本情報



【名前】北嶋泰成
 【年代】20代
 【出身地】静岡県三島市
 【転出元】静岡県三島市
 【前職】
 会社員
 【活動時期】
 R6.7～R8.6

協力隊になったきっかけ（動機）

協力隊に興味を持ったのは大学4年生の夏です。大学時代からご縁があった伊豆半島で働いてみたいと考えた時に、協力隊という枠に行き着き現在の役職を見つけました。

市町からのミッション

観光振興・プロモーション事業担当として現在は（一社）東伊豆町観光協会で活動しています。観光協会では、イベント運用しながら、広報等のプロモーション活動を実施しております。

移住先での暮らしの様子（よかった点、こまっていること等）

町の生涯学習授業のイベントなどに参加して歴史を学びながら町を歩く機会が多いです。歴史が好きなので、それぞれの地域の歴史の本を読みながらも歩いています。しかし地元の人と話す特に知らない人の名前がたくさん！

現在の活動に対する想い（よかった点、がんばりたいこと等）

町が小さく一つの行動で多くを動くので、自分が実施してきたことに対して実感が持ちやすいです。しかし町の観光規模は大きく、六つの温泉郷全てをプロモーションすることは一筋縄ではいかない難しさも感じております。ひとつひとつ広報でブラッシュしながらイベントの運用に取り組んでおります。

活動内容

●東伊豆町内のイベント運営

六つの温泉郷を有する東伊豆町では1年を通して町内各所で様々なイベントが開催されます。それぞれの温泉地にてお客様をおもてなしするイベントであり、私も観光協会にて誘客宣伝や運営などを行っています。11月の細野高原秋のすすき観賞会は1ヶ月という短い期間ですが絶景を目的に観光客や撮影会社も多く訪れます！



●町内観光のSNS発信

町内の撮影会社と組んで観光用映像の制作に取り組んでいます。イベントの時期に狙った集客を図る映像や将来性をふまえた映像の撮り溜めを早い時期から実施しております。町内に訪れる観光客のうち最も多いである40代以上のお客様をターゲットとした広告を作りながらも若年層にも情報が流れることを意識した発信を行っております。



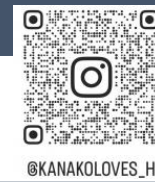
●メディア対応

観光地であり、景観が良いため年々多くの撮影のお問い合わせをいただきます。MVの撮影の相談から旅番組まで色々な部分で各関係機関と連携しながら撮影に対応しております。ロケ地に東伊豆と表示されていると毎回うれしく思っております。今後は売り込みもふまえて活動していくことを考えております。



東伊豆町の魅力

最近では熱川地域の台湾提灯によるまちづくり『熱川に、九份が灯る。』の活動に力を入れております。運営している団体の中では若年層ですがたくさんの人の協力のもと活動させて頂き、自分にとっても交流が増える良い経験となっております。来年度も町のエリアの改修を予定しており『温泉街の夜の魅力創出』に力をいれていきますので是非一度、東伊豆に来ていただくと幸いです。



@KANAKOLOVES_H

@YORIMICHI135

基本情報



【名 前】柳瀬可奈子
 【年 代】20代
 【出身地】兵庫県神戸市
 【転出元】愛知県長久手市
 【前 職】大学生
 【活動期間】R6.4~R8.3

協力隊になったきっかけ（動機）

大学で学んでいた陶芸の知識から陶芸産地のまちづくりに興味を持ち、いろいろな市町でのまちづくり事業の事例を知ってみたいとなったため。

市町からのミッション

廃園になった幼稚園の利活用事業です。現在は改修が進み、誰もが使いやすい環境にするためこれからイベント企画や運営内容を固めていきます。

移住先での暮らしの様子(よかった点、こまっていること等)

よかった点：雨が少ない・温暖・まちがコンパクト
 困った点：なし

現在の活動に対する想い(よかった点、がんばりたいこと等)

ある程度の課題やまちとして進んでいきたい方向性があると、それを加味しつつ私なりに面白い提案ができないか考えるのが楽しいので毎日充実しています。

活動内容（主にイベント企画、実施、参加になります）

実施イベント

稲取幼稚園 さよならコンサート
 【日時】2025.06.15(日) 12:30開演 13:00開演
 【会場】よりみち135 (旧稲取幼稚園)
 【内容】稲取中学校吹奏楽部による演奏、国立音楽大学リトミックサークルによるボイスパーカッションなどの実演、稲取中学校吹奏楽部の演奏の機会を作る中学生たちが主体的にイベント計画に関わる
 【来場者】約100名
 【スタッフ】自分含め4名 カメラマン1名
 【準備期間】2024年末~6/15

稲取幼稚園 さよならコンサート
 【日時】2025.06.15(日) 12:30開演 13:00開演
 【会場】よりみち135 (旧稲取幼稚園)
 【内容】稲取中学校吹奏楽部による演奏、国立音楽大学リトミックサークルによるボイスパーカッションなどの実演、稲取中学校吹奏楽部の演奏の機会を作る中学生たちが主体的にイベント計画に関わる
 【来場者】約100名
 【スタッフ】自分含め4名 カメラマン1名
 【準備期間】2024年末~6/15

なつやすみ宿題レスキュー！
 自由研究、ポスター制作、絵画などの宿題を夏休みにサポートします
 みんなと一緒に宿題終わらせよう！
 場所:東伊豆町役場1階研修室
 日付:8月18日(月)・8月25日(月)
 時間:9時~15時(予約不要・出入り自由)
 定員:各2名
 準備物:筆記用具、筆記用紙、色紙(必要なら)、飲み物(持参)
 自由研究・絵画 セント+複製ブース
 テーマ別、まよあや、絵の描き方、夏休みの宿題が楽に終わります！
 お絵描きコーナー
 色ペンや絵の具、塗り絵のシートをご用意しております！

なつやすみ宿題レスキュー
 【日時】2025.08.18(月)8.25(月)9.00-15.00
 【会場】東伊豆町役場
 【内容】自由研究や絵画、書道などの自由課題のアドバイスを行う
 【目的】宿題のレベルアップ、改修後のよりみち135に来てもらうきっかけ作り
 【参加者】2日間合わせて延べ18名
 【スタッフ】自分含め3~4名
 【準備期間】7.15~8.25

稲取でフリーマーケット開催！
 出店者募集！
よりみちノミのいち
 2025.3.29 @ 3.30 @ 13:00-17:00
 会場：よりみち135 (旧稲取幼稚園)

稲取でフリーマーケット開催！
 出店者募集！
よりみちノミのいち #2
 2025.5.18 @ 11:00-15:00
 会場：よりみち135 (旧稲取幼稚園)

町民文化祭
 令和7年11月8日(土)
 会場：稲取小学校体育館



参加イベント（ポスターデザイン）

こんにちは！よりみち135のインスタフォローよろです！



西伊豆町

【活動の様子を発信しているSNS】

https://www.instagram.com/iju_nishiizu

【メールアドレス】maruyama@nishi-iju.com

～ 西伊豆町に移住したい方へのサポート～

基本情報



【名前】丸山里奈
 【年代】20代
 【出身地】埼玉県さいたま市
 【転出元】埼玉県さいたま市
 【前職】中古不動産の買取営業
 【活動時期】R6.4～R9.

協力隊になったきっかけ（動機）

大学時代に西伊豆町でボランティア活動をしており、当時町民の人柄が素敵だなと思い、20代にうちに自然に囲まれた生活という夢もあり、西伊豆町に移住という決断をしました。

市町からのミッション

西伊豆町へ移住を検討している方、移住したい方への全般サポート業務、お試し移住住宅の対応・管理、空き家の掘り出し。移住や空き家相談会の実施。

移住先での暮らしの様子(よかった点、こまっていること等)

西伊豆町の町民の方は、地元愛がすごく一人ひとり個性がある面白い方々です。また、自然豊かな町なので、いい意味で時間の流れ方が変わりました。ただ、西伊豆の風物詩の西風に耐えられるように現在頑張っているところです。

現在の活動に対する想い(よかった点、がんばりたいこと等)

移住者サポートは、地元の方々の協力がなくてできない活動だと思っています。業種や年代問わず、色んな方々と接する時間ができたのはとても嬉しいです。そこから生まれるコミュニティや人脈と、これからの移住検討者がつながっていけばいいなと思いながら活動しています。

活動内容

●活動内容：移住イベントの参加・主催

日頃は、電話やメール、オンライン相談が多いですが、都内の移住イベントに参加したり、西伊豆町内のイベントに移住ブースを出店するなど、【移住相談窓口】を作るように心がけています。すべて合わせると、10回以上のイベントに参加、主催しています。



●活動内容：空き家掘り出し

移住を検討している方が一番悩まれることは、【不動産】がないこと。空き家情報バンクの循環を目的に、大家さん向けの空き家相談会の開催や、自分の足で歩き、実際に空き家の掘り出し活動を行っています。



●活動内容：SNS発信

Instagramで西伊豆町の町並み、制度や、行事を発信。また実際に移住した方へインタビューして、コラムを作っています。先輩移住者のリアルな声を読める短編記事になっているので、手軽に読める内容となっています。



メッセージ&意気込み

西伊豆町は、自然に囲まれる素敵すぎる町です。また地区によって色が違うところも魅力で、一日一日が出会いの町だと思います。また、1人1人が町を少しでも変えようと思う力が強く、私自身も毎日影響を受けています。退任後は、この活動を続けながらも副業のアクセサリ作家活動の販路を広げて行きたいです！

【活動の様子を発信しているSNS】

https://www.instagram.com/youhei_mikami?igsh=NWYybzd3a2RqYmU3&utm_source=qr



～「釣り」を観光の柱へ、国立公園を望む絶景で本格自然体験を～

基本情報



【名前】 三上 陽平
 【年代】 30代
 【出身地】 静岡県沼津市
 【転出元】 埼玉県さいたま市
 【前職】 電気工事士
 【活動時期】 R7.10～R10.10

協力隊になったきっかけ（動機）

「趣味が仕事になる」そんなライフスタイルを実現し同じ志の仲間を増やしたい。そのポテンシャルのある町だと感じ移住しました。その中で西伊豆町が力を入れる「海業振興」が私の経験から何かお力添えができるのではないかと感じました。

市町からのミッション

海産資源の豊富な西伊豆町ですが、人口減少で先人の文化が継承されず衰退する漁業。その流れに歯止めをかけるために「海業」という新たな視点から港に活気を取り戻す。「釣り」を基軸にした関係人口創出、移住相談、釣りのご案内、時には現場仕事まで。

移住先での暮らしの様子(よかった点、こまっていること等)

海と山の狭間に生活圏があり、自然と隣り合わせ。ネット環境は良くないですが自然に目をむける時間が多くなりました。人口減少の背景から移住者に対してとても親切で、高齢者が多いながらもフットワークが軽く次々に新たなプロジェクトが進んでいる印象です。

現在の活動に対する想い(よかった点、がんばりたいこと等)

正直、私は自分の夢を実現するステップだと思い活動をしていました。しかし活動していく中でそれは西伊豆のためだと後押ししてくれる方が多く、今は恩返しをしたいという思いでいっぱいです。私は業務内容以上に地域の方達とのコミュニケーションが最も重要な活動だと感じています。

活動内容

●西伊豆で釣りをレクチャー（陸）

西伊豆町には「海釣りGO」という漁港の釣り場管理システムがあります。管理されているため企業や学生等、団体様が安心して釣りをアクティビティとして体験していただける環境があり、初心者の釣り教室では私が講師を務めさせていただいております。地元小学校の課外授業でもご活用いただきました。未来の釣り人に基礎をレクチャーしています。



●西伊豆で釣りをレクチャー（船）

堤防釣りからのステップアップとして、より本格的な釣りを求める方を対象に指導させていただいております。「船釣りって勝手がわからないから不安」という方にもストレスなく楽しんでもらえるよう私が一緒に乗船しガイドをしています。釣りはもちろん魚の締め方、寝かせ方、美味しい料理法など帰ってからも楽しんでもらえるような内容も盛り込んでいます。



●K-MIX ROOTS RADIO in西伊豆町

私の活動を本格的に、より円滑に進めるために漁業組合員になりました。元来、組合員は家族の継承や、その地で長く生活した方が審査対象で移住者、地域おこし協力隊という立場での加入は稀ということもあり、活動1年目に「K-MIX ROOTS RADIO」にゲスト出演させていただき、組合員になるまでの経緯や、今後の夢についてお話をしました。メディア露出を増やし西伊豆を知ってもらおうきっかけになれば嬉しいです。



船長になるまでをSNSで発信中です！

陸からも船からも釣りを教えているお兄さんです！
 教えるからにはこの海を熟知しないと行かない。
 退職後は「釣り船の船長」になるために日々海に学ばせてもらっています。
 移住者が海の世界に飛び込んで船長になるまで、Instagramで発信しています！

～結局のところ“サステナブルツーリズム”ってなんだろう？～

【メールアドレス】 nishiizukawaguchi@gmail.com

基本情報



【名前】 川口 洋海
 【年代】 40代
 【出身地】 静岡県伊豆の国市
 【転出元】 静岡県伊豆の国市
 【前職】 雑貨メーカー、宿泊施設など
 【活動時期】 R6.7～

協力隊になったきっかけ（動機）

元々伊豆半島ジオパークの認定ガイドとして、西伊豆町のビジターセンター運営に携わっていました。もう一歩踏み込んで地域との関わりを築いていきたいと考えたからです。

市町からのミッション

サステナブルツーリズム推進ということで、ジオパークガイドの経験を活かし、来訪者だけでなく地域住民の方へも持続可能な観光の在り方を考えていただく取り組みを実施しています。

移住先での暮らしの様子(よかった点、こまっていること等)

交通アクセスの不便さは否めないと思いますが、暮らしに必要なものは町内で手に入るので問題ありません。ただ、産院が近くにないため、妻の妊婦健診や出産時に多少苦勞しました。子どもが生まれた後、地域の皆さんが我が子のように喜び可愛がってくれるのでありがたいです。

現在の活動に対する想い(よかった点、がんばりたいこと等)

活動開始当初は、ジオパーク学習をベースに小中高生の教育旅行、体験学習の誘致を考えていました。現在は、そういった需要もイメージしながら、今まさに西伊豆に訪れている方や暮らしている方(特に子どもたち)に向けた活動を心がけています。

活動内容

●ジオパークガイド団体の運営サポート

伊豆半島ジオパークの認定ジオガイドは180名程います。そのうちのおよそ100名が所属する「伊豆半島ジオガイド協会」の運営サポートをしています。自身も団体に所属する一ガイドとして、ガイド活動を行っています。



●伊豆半島ジオパーク 西伊豆ビジターセンターの活用

ジオパークの案内やガイドツアーの発着中継地のほか、小中学校の校外学習の場として利用しています。現状、“観光客向けの施設”という印象が強いので、地元の方の利用促進を強化し、地域住民と観光客の交流が生まれるようなイベントや仕掛けを準備しています。
 ※火山実験の常設実施、ガイドツアーの即日受付など



●次世代への継承 小中学校でのジオパーク学習

地形や地質等、各学年の教科単元内容を踏まえた郷土学習を実施しています。子どもたちが“自分も地元で活躍したい”と思えるよう、地域のキーパーソンと関わるようなカリキュラムに磨きあげていきたいと考えています。

※『夢を育み、ふるさとを語れる人づくり』
 (西伊豆町教育大綱より)



西伊豆(伊豆半島)に来るなら、まず私にお声掛けください！

みなさんは西伊豆(伊豆半島)にどんなイメージをお持ちですか？あなたがぼんやりと思い描いている伊豆のイメージを、ぜひ私にお聞かせください。そのイメージの解像度を“ちょっと”上げるお手伝いをいたします。それだけで、伊豆がより魅力的に感じられるはず。私の活動の本質はそこにあると考えています。観光で訪れる方はもちろん、お仕事でいらっしゃる方、移住先を検討している方など、みなさんお気軽にご連絡ください。

沼津市



～ 地域資源×サウナ体験の取り組み ～

基本情報



【名前】 高橋 建次
【年代】 30代
【出身地】
新潟県小千谷市
【転出元】
東京都品川区
【前職】
保険会社勤務
【活動時期】
R5.5～R8.3

協力隊になったきっかけ（動機）

前職のサラリーマンとしての働き方に疑問を持っていた際に、イベントにて地域おこし協力隊の存在を知り、かつての思い出の地の静岡県に住みたいと考えたため。

市町からのミッション

地域産品の商品開発・販路拡大・PR。
現在は沼津市の特産である西浦みかんを用いて、サウナと掛け合わせた取り組みを行っています。

移住先での暮らしの様子(よかった点、こまっていること等)

過去に経験したことのない、自身で一から取り組みを考え活動を作っていくという経験でき、地域の方・関連団体の方と出会えたことが良かったです。

現在の活動に対する想い(よかった点、がんばりたいこと等)

それまで地域になかった新しい価値を生み出すことを目的に活動をしてきました。地域外の団体とも関わりを持つことで、新しいものを生み出すきっかけにもなりました。
これまでの活動を通して生み出したものを、事業として残していきたいと思えます。

活動内容

●地域の景色・自然×サウナ

沼津市の三浦地区の、「駿河湾越しから富士山」の見える絶景と、「日本トップランクの水質」の海水浴場でサウナを行い、地域産品をサウナドリンク・サウナ飯として提供する取り組みを行いました。



●地域産品×サウナ

特産である西浦みかんからアロマ成分を抽出し、「地域を感じる香り」として柑橘サウナロウリュウウォーターを開発しました。
地域の温浴施設・静岡サウナ協議会様のイベント等にて使用させていただいています。



●地域産品×空間の香り

西浦みかんの柑橘アロマは空間の香りとしても使用いただけるようブレンド等を行い製品化しました。
地域の香りが感じる体験として、ヨガレッスン等に使用させていただいています。



サウナ・地域の香り 取り扱えます

サウナ好きな方、柑橘アロマのご使用に興味がある方がいらっしゃればお声がけください。
また、地域産品をサウナに絡めたい、ツアーにサウナに組み込みたいなどコラボ等もお待ちしております。
官公庁での柑橘アロマご使用依頼も受け付けております。(笑)

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
https://www.instagram.com/numazu_shunsuke/
 【メールアドレス】shunsuke.i@aquamarine-numazu.com

～地域産品を活用した新規事業の立ち上げ！～

基本情報



【名前】 今田隼輔
 【年代】 20代
 【出身地】
 愛知県名古屋市
 【転出元】
 愛知県幸田町
 【前職】
 会社員(製造業)
 【活動時期】
 R5.5～R8.3

協力隊になったきっかけ(動機)

駿河湾越しに富士山を望む景色に惹かれ、沼津への移住を決意。せっかくなら地域と深く関わりを持つことができる仕事がしたいと思い、地域おこし協力隊という選択肢を選びました。

市町からのミッション

ミッションは「地域産品を活用した商品開発・販路拡大」です。自由にやりたいことをやらせていただいています。沼津の魅力地域外にPRする、という想いで取り組んでいます。

移住先での暮らしの様子(よかった点、こまっていること等)

沼津は都会の利便性と田舎の自然がほどよく共存していて、とても過ごしやすいです。まちなかに住居を構えていれば、日常生活で困ることは全然ありません。未だに「今日は富士山見えるかな？」と毎日チェックしてます。

現在の活動に対する想い(よかった点、がんばりたいこと等)

地域おこし協力隊になって初めて、たくさんのプレーヤーが地域活性化のために動いていたんだ、ということに気づきました。昔は素通りしていた公園のマルシェひとつにも、プレーヤー1人1人の想いがある。自分も周りの先輩プレーヤーたちに負けない想いを持って、地域活性化の1ピースになりたいと思っています。

活動内容

●柑橘類を使ったドリンクの開発・販売

沼津は柑橘類の生産が盛ん！めちゃくちゃおいしい！個人的には沼津のイチオシポイントなのですが、三ヶ日みかんとかに比べると、あまり知られていない現状が…。1人でも多くの人に沼津の柑橘類のおいしさを届けたい、そんな想いで特産品の「西浦みかん」や「西浦レモネード」を使ったドリンクを開発しました。市内外のホテル・旅館やお土産店等への販路を開拓して、継続的に卸売を行っています。



●小規模ジュース加工施設の立ち上げ

地域おこし協力隊に着任後、上記のような商品開発に挑戦する中で、一番困ったのが「そもそも加工場がない」問題。なぜか静岡県は果物の加工施設が少なく、例えばジュースひとつ取っても、片道4～5時間かけて県外の加工場まで輸送しないと作ることができない。困り果てていたある日、ふと(ないなら自分で作っちゃえばいいのでは…?)と思い立ち、2年かけて自社の小規模ジュース加工施設を立ち上げました。自分と同じように、近隣に加工場がなく困っている人たちの助けになればと思い、自社ブランド商品だけでなく、委託加工も受け入れ可能な体制を整えています。物件探し、DIYリノベーション、設備投資の融資、営業許可の取得…すごく時間のかかるプロジェクトだったので、3年間という協力隊の任期と報償には助けられました…。



一緒に特産品の魅力をPRしていきましょう！

静岡県は海・山・川・湖なんでもあって、まさに特産品の宝庫。私は沼津の人間ですが、県内には魅力ある特産品がまだまだ眠っているんだろうな…と思っています。特産品の商品開発や、一次産業の事業承継などに取り組まれている方がいたら、ぜひつながりを広げていきたいです！また、ジュースやシロップなど、清涼飲料水関連の商品を作りたい方がいたら、お力になれることがあるんじゃないかと思っています！

熱海市

～” ディープ熱海 ” を発信 & 平日の宿泊者数を増やす ～

【Instagram】

熱海の日常発信中！お気軽にDMください！

Mail : t.mitsui.613t@gmail.com



基本情報



【名 前】 ミツ井 卓也
 【年 代】 30代
 【出身地】 埼玉県秩父市
 【転出元】 埼玉県秩父市
 【前 職】 公務員
 【活動時期】 R7.4～R10.3予定

協力隊になったきっかけ（動機）

住んだことが無い街で新たなものや人と出会いたいという気持ち、またその地域で頑張っている人の応援や、まだ気づかれていない魅力を発信していきたいと思い、協力隊に応募しました！

市町からのミッション

「平日の宿泊者数増加」を目指し、企業研修等のビジネス利用促進や観光コンテンツの掘り起こし、体験ツアー企画等を行うミッションです。

移住先での暮らしの様子(よかった点、こまっていること等)

海が近く、朝方に海辺をランニングしたり、バイクで海沿いを走るのがすごく気持ちいいです！熱海は干物も美味しく、常に冷凍庫にキープしています。一方、熱海は坂の街なので、普段の買い物や徒歩移動が結構大変です。

現在の活動に対する想い(よかった点、がんばりたいこと等)

普段の活動では、熱海の人たちの温かい人柄にいつも助けられています。数字を求めることももちろん必要ですが、少人数でも地域を理解して楽しんでくれるリピーターを作ることや、通常の観光では出会えない人に会う体験作りなどに力を入れています。

活動内容

●ビジネス利用促進『意外と熱海for Biz』

熱海市がJTBと連携して、ビジネス利用を推進している『意外と熱海 for Biz』のサポートをしています。HPへ掲載する店舗やコンテンツ探し、都内での熱海PRイベントの企画・調整・運営などを行っています。



●ATAMI Weekday～1泊2日のディープ熱海旅～

「通常の観光では出会えない人や体験」にご案内する体験ツアーを計画・実施しました。着任後、熱海市内の色々なスポットを見たり色々な方とお話して「ここ（この人）をツアーでお客様をご案内したら面白そう！？」という直感に従って企画してみました。“THE 観光コンテンツ”以外にも人が惹きつけられるものは地域にたくさん眠っていると思います！



●観光コンテンツ掘り起こし

レトロな街の裏通り、変わった建物、実は〇〇等の、いわゆる「熱海の定番」ではないコンテンツをいつも探しています。お客様をご案内した時に「へー！」「そうなんだ！」というコンテンツは心に残りやすく、また熱海を思い出してもらおうきっかけにもなると考えています。



熱海をアテンドします！視察orプライベートどちらでもOKです！

熱海歴はまだ短いですが、着任後視察やプライベートでのご案内を度々していますので「熱海に行ってみたい」という方いましたらお気軽にお声がけください！また元公務員でもあるので、自治体の視点での体験プラン作り、協力隊の視点での体験プラン作り両方経験して来ていますので、観光系ミッションの協力隊さんでお悩みの方がいらっしゃれば参考になるお話しができるかも！？ですのでお気軽にご連絡ください！

富士宮市



～ 若者と地域をつなぐ伴走支援 ～

基本情報



【名前】川上敦也
 【年代】20代
 【出身地】
 栃木県那須塩原市
 【転出元】
 岡山県岡山市
 【前職】
 市役所職員
 【活動時期】
 R7.2～R8.1

協力隊になったきっかけ(動機)

前職で行政の仕事に携わる中で、制度や仕組みを運用する立場だけでなく、実際に地域や人と関わりながら活動してみたいと感じるようになりました。富士宮市地域おこし協力隊インターンとして活動を行う中、「エキマエChallenge House CHILL IN(チリン)」で市内のZ世代と関わらせていただき、「もっと若い世代に富士宮を好きになってほしい」と思い、本隊員として活動することを決めました。

市町からのミッション

富士宮駅前の「エキマエChallenge House CHILL IN(チリン)」を拠点に、中学生・高校生の総合学習・探求学習の伴走支援を行っています。

また、地域の事業者や団体と連携し、地域のイベントに運営として参加したり、自身でもイベントを実施したりと、地域振興・関係人口の創出につなげていくことを目的としています。

移住先での暮らしの様子(よかった点、こまっていること等)

富士宮市は人との距離が近く、隊員として活動する中でも、多くの方に温かく、コミュニティに迎えていただいたり、助けていただいたことがありがたかったです。

教育の分野に携わるのは今回が初めての試みとなるため、若者へのアプローチの仕方に正解がないことが「どのように関わりや声かけをしたらいいのだろう」と不安になることもありますが、そこがやりがいや面白さにもなっていると感じています。

現在の活動に対する想い(よかった点、がんばりたいこと等)

地域の方をはじめ、学生や若者と一緒に関わり、イベントを行ったりと、前職のときでは想像できなかったようなアクティブな体験をさせていただけていることが、地域おこし協力隊に志望して良かったなと感じています。

今まで何度かイベントを実施してきましたが、今後も、イベントや交流が一度きりで終わらず、その後も継続していくような関わり方を大切にしていきたいと考えています。

活動内容

●若者・学生の探求学習やチャレンジの伴走支援

市内の中学・高校生が取り組む探求学習に関わり、テーマづくりや企画の整理、発表に向けた準備などを一緒に考えています。

生徒の興味や関心を大切にしながら、地域や人との出会いにつながるような支援を行っており、ワークショップの開催など、学校と地域、行政の円滑な連携に結びつけられるようなイベントを企画しています。



●若者チャレンジ支援施設の運営サポート・企画

若者チャレンジ支援施設「エキマエChallenge House CHILL IN(チリン)」を拠点に、日々の運営のサポートやイベントの企画を行っています。

飲食やワークショップなどの企画を通じて、若者が気軽に挑戦でき、地域の方も立ち寄りやすい場づくりを心がけています。



●地域事業者・団体との連携

地域の事業者・団体と連携し、イベントの準備や運営に携わっています。

イベントにスタッフとして参加し、会場設営や業務の補助を行ったり、ときには学童向け料理教室へ講師として参加するなど、地域の各団体と通じてまちのにぎわいづくりを支えています。



地域のご紹介・飲食に関するご相談承ります！

地域で面白かったり、魅力的な取組を行っている方とたくさん関わらせていただきました。そうした方々やまちの良さをご紹介したり、また、飲食を通じて若者とのつながりを広げたい思いから、食品衛生に関する資格や露店・飲食業に関わる資格を取得した経験から、開業やイベント出店についても、一緒に考えるお手伝いができればと思っています。

～アートを通して見る森林の未来～

基本情報



【名 前】 青木芽以
【年 代】 20代
【出身地】 静岡県富士宮市
【転出元】 千葉県松戸市
【前 職】 大学院生
【活動時期】 R8.2～R11.1

協力隊になったきっかけ（動機）

結婚を機に出身地である富士宮市にUターン移住を考えていたところ地域おこし協力隊の制度を知りました。以前から興味があった林業分野での活動を考えています。

市町からのミッション

- ・林業の担い手確保に向けた林業の魅力発信活動
- ・木材製品の利用促進
- ・森林に触れる機会の創出 など

移住先での暮らしの様子(よかった点、こまっていること等)

地元ではありませんが6年間離れてみて初めて気づいた魅力もたくさんあります。水や農産物の豊かさ、毎日違った面を見せる富士山の美しさ、個性豊かで面白い大人たち…冬の寒さは少し厳しいです。

現在の活動に対する想い(よかった点、がんばりたいこと等)

まだまだ始まったばかりですが地域の林業従事者の方々の目指す方向から大きくずれる事がないよう、しっかり耳を傾けながら活動していきたいです。林業の現状や魅力など、主に若年層に向けての発信ができればと思います。

連絡先

【活動の様子を発信しているSNS】
Instagram : fujinomiya_somabito

活動内容

● 広報活動

東京藝術大学で現代アートを学び、写真と小説で作品を作っていた経験を活かして森林に入り取材をしています。インタビューや林業関係のイベント情報などをSNSで投稿しています。また様々な年代の方々に見ただけのよう、地元の新聞でコラムを掲載していただくなどSNSのみにとどまらない広報をしています。



● 活動予定

アルバイトで4年間ほど幼児教育の講師をしていた経験もあるので、今後は林業と教育や福祉を繋いでいくお手伝いができたら良いな、と考えています。森林を場として利用したいと考え、アートイベントの開催やワークショップの開催などをしていきたいです。



個人の活動としては林業を舞台にした小説を書くなど活動を広げていきたいと思っています。

PR

Instagram : fujinomiya.okoshi
こちらで隊員やインターン生の活動報告をしています。

Instagram : Fujinomiya_somabito
こちらでは林業にフォーカスを当てた投稿をしています。

お気軽にフォローしていただけると嬉しいです！

普段は美術、林業だけでなくバイクに乗ったり、切り干し大根を作ったり、湧き水で珈琲を淹れたり、自然豊かな富士宮だからこそできる生活を楽しんでいます。

～ “空き家”を通して、地域の魅力と向き合う ～

基本情報



【名前】 高木 陽介
【年代】 30代
【出身地】 静岡県富士宮市
【転出元】 静岡県静岡市葵区
【前職】 まちづくり・事業づくり
【活動時期】 R8.2～R11.1

協力隊になったきっかけ（動機）

いつか富士宮の地域活性化に関わりたいと考えながらまちづくりの仕事をしていました。今回地元に戻ろうと思っていたタイミングで募集を知ることができ、強いご縁を感じています。

市町からのミッション

空き家の掘り起こし／利活用／地域活性化
移住・定住・関係人口の創出のために取り組んでいきます。

移住先での暮らしの様子(よかった点、こまっていること等)

地元ということもあり、色々な方が助けてくださる温かさに日々感謝しています。富士宮は、ヒト・モノ・コトがとても豊かな場所なので、もっと深く知れるように動いていきます。

現在の活動に対する想い(よかった点、がんばりたいこと等)

富士宮の魅力をもっと理解して伝えられるようにして、色々な方が関わりたくなるような、空き家の利活用・事業づくり・場づくりを、楽しんでやっていきます。

活動内容

●“金曜のまにまに”開催

富士宮エキマエで、金曜のおもむくままに、夢や想い、これから挑戦したいことをシェアしてみたり、新しいヒトやコトとつながってみたり。気軽に参加できて、“きっかけ”ができるコミュニティイベントを目指して、新しく立ち上げました。
「想いの“まにまに”、夢を語り合いませんか？」



●まずは、富士宮の皆さんと交流

イベントや交流会に参加させていただいたり、富士宮チリンで地域の方々とお話をさせていただくことを、まずは大切に活動をしています。
日々色々な発見をいただいているので、これからの活動に活かしていきます。



●先進地域への視察

空き家利活用に積極的に取り組まれている地域や、まちづくりを頑張っている地域に視察に行かせていただいています。
「まちづくりの中心には人がいる」「地域とどう向き合うか」という視点を、富士宮での取り組みにも活かしていきます。



ワクワクするモノ・コトを、一緒に作りましょう！

これまで、事業づくり・ブランドづくり・場づくりにたくさん関わらせていただきました。仲間と協力をして新しいことを始めることが大好きです。
なにか一緒にできることがありましたら、手を取り合って楽しくやりましょう！



～ 移住・定住の促進業務 ～

基本情報



【名前】 小田優斗
 【年代】 20代
 【出身地】 東京都足立区
 【転出元】 東京都足立区
 【前職】 フリーター
 【活動時期】 R4.8～R7.7

協力隊になったきっかけ（動機）

東京で働くイメージが湧かず、もやもやしていたなかで環境を変えたく移住を決意。その手段として地域おこし協力隊が移住準備のためにいいと思い応募。

市町からのミッション（協力隊時代）

移住定住の促進のため、オンラインやイベントなどでの移住相談対応。また地域住民に移住の理解を深め、地域で移住者の受け皿を作るサポート業務。

協力隊時代を振り返って（良かった点、困った点）

協力隊の立場があったことで行政職員から事業者、地域住民など多種多様な方と出会うことができたのは大きな価値がありました。私が富士宮市一期生となり、市の方も初めてだったのでお互い手探りで進めていく必要がありました。また近隣に協力隊がおらず相談がしづらい環境には困っていました。

県内で活動する現役協力隊員に向けて ひとこと

活動期間中にいかに定着の準備をしていけるかが大事だったと思っています。起業などの挑戦ももっと早く任期中のタイミングでより挑戦していればと反省しています。また東京が近いことをもっと活用して学びや繋がりの場を得ていくべきでした…

任期中の活動内容

●移住のための導線づくり

- ・移住相談業務を行い富士宮市を知ってもらう。
- ・移住体験ツアーを行うことで富士宮市へ来てもらうきっかけを作る。
- ・移住体験施設を作ることで、深い理解の場を作る、また家探しなど時間のかかる移住準備を進めやすくする。
- ・地域住民へ移住の理解を深め、受け皿を作っていく。



現在の活動内容

●活動内容タイトル

- ・移住定住促進業務の受託
移住相談や移住体験ツアーなどの業務を行う
- ・地域おこし協力隊サポート業務の受託
地域おこし協力隊の活動サポートやおためし地域おこし協力隊の受け入れ等を行う
- ・旅行業
インバウンド客を中心に市内のツアー企画を行う
- ・民泊
地域おこし協力隊や学生などを中心に、移住希望者やインバウンド客の受け入れを行う



皆様のご相談乗ります！

地域おこし協力隊として活動していた時から広域での活動を意識していました。特に移住などは人の取り合いをしても仕方がないなあ…とっていました。それだけでなく、地方には多くの魅力があり、連携できればなんでもできると考えています。移住だけでなく観光面でも、皆さんと連携できると嬉しいです！
 またしずおか地域おこし協力隊ネットワークの運営もしておりますので、ぜひお気軽にご連絡ください！

伊東市

伊東市 杉浦 学 OB

ある時は移住コーディネーター、またある時はドローン講師、気がつけばシーグラス作家と己書師範、そして波があれば…サーファー♪
これが今どきの「ス老ライフ」(※初老×スローライフ)

連絡先

Instagramアカウント

シーグラス:glassmans_style 己書:onoresho_kairaku

【活動の様子】: <https://ito-iju.jp/>

基本情報



【名前】 杉浦 学
【年代】 60代
【出身地】
愛知県安城市
【転出元】
愛知県豊田市
【前職】
密輸Gメン(税関職員)
【活動時期】
R4.6~R7.5

任期中の活動内容

●移住定住促進活動

- ・移住までのステップをお手伝い(現地ガイドや出張相談含む)
- ・各種移住支援制度の説明及び一部補助金を担当
- ・移住相談ツアーの企画及び運営
- ・移住定住サイトの運営
- ・FM番組にて移住者紹介コーナーを担当



現在の活動内容

●移住コーディネーター+「あんなことやこんなこと」!?

伊東市移住コーディネーターとして、引き続き移住定住の促進活動を行っており、協力隊時代に築いた人脈をフル活用のうえ、移住者交流会(ランチ会)等にも積極的に参加し、移住後の色々なお悩みデータを蓄積し、移住前の移住相談や移住後の定住相談にいかしています。

副業として、ある時はドローンスクール講師、またある時はシーグラス作家、さらに己書師範としても活動しています。



協力隊になったきっかけ(動機)

前職において、赴任した静岡県での暮らしが、私にとってとても居心地の良いものでした。その経験から「お世話になった静岡県に何か恩返しをしたい」と思うようになり、これまでの人生経験をいかせる移住相談業務に携わりたいと考え、地域おこし協力隊に応募し、移住支援に関わる道を選びました。

市町からのミッション(協力隊時代)

移住定住促進活動

協力隊時代を振り返って(良かった点、困った点)

所属課内のメンバーに恵まれ、自由に活動できるなど良い雰囲気の中で仕事をする事ができたが、活動当初は、知り合いが全くいない地域での人脈づくりにはとても苦労しました。

県内で活動する現役協力隊員に向けて ひとこと

任期3年は本当にあっという間なので、任期後に向けた活動は出来るだけ早めに動いた方がいいと思います。

あと、活動を円滑に進めるため、各種セミナーや地域おこし協力隊ネットワークを活用し、同じミッションの協力隊と繋がることも重要だと思います。

出会い…それは人生最大の財産です

移住は人生を変える大きな分岐点。その場面に関わらせていただけることは、とても幸せな仕事だと思います。まるで「幸せのお裾分け」をいただいているような気持ちです。

「無事に移住しました、色々とお世話になりました!」とお礼を言われた日の喜びといたら…胸が熱くなります。

今の時代、移住に関する情報はネット検索でもある程度は得られますが、移住コーディネーターを介することで、「満足度がワンランクアップ」するようなサポートができたらと考えています。移住先に相談できる「知り合い」がいるというのは、とても心強いものです。私でよければ、伊東に知り合いが一人できたと思っていただけたら幸いです。

「伊東暮らしが気になる方」や「そろそろ伊東に住もうかな」とお考えの皆さん、ぜひ伊東市移住コーディネーターに移住相談してみませんか?

◎追伸: ドローンの国家資格を取得したい方、海からの贈りもの「シーグラス作品」やルールのない自由な書「己書」に興味のある方など、気軽にお声がけください。

裾野市

【活動の様子を発信しているSNS】
 X (旧Twitter) @kobuta0601
 【メールアドレス】 kankou@city.susono.shizuoka.jp

～ 裾野の魅力で人を呼び込む！ ～

基本情報



【名 前】萩原歩美
 【年 代】30代
 【出身地】静岡県静岡市
 【転出元】東京都東村山市
 【前 職】スポーツ選手→営業職
 【活動時期】R6.1～R8.12

協力隊になったきっかけ（動機）

選手時代に築いた人脈や経験をいかせると感じ、協力隊になろう！と思いました。偶然にも協力隊となる前にイベントで裾野市を訪れており、街の雰囲気にも惹かれました。

市町からのミッション

- ・スポーツ合宿の誘致、調整
- ・スポーツイベントの誘致、企画、運営
- ・情報発信

移住先での暮らしの様子(よかった点、こまっていること等)

あたたかい街の方々、温暖な気候、都心までのアクセスの良さ、そしてそびえ立つ富士山に見守られて、充実した毎日を送ることができています！長崎県から移住してくれた旦那さんも大好きな場所になっているようです！！笑

現在の活動に対する想い(よかった点、がんばりたいこと等)

これまでの経験からアドバイスができたり、行政とスポーツチーム・行政と民間企業・行政と街の人々とを繋ぐ架け橋になれていると感じます！たくさんの良さがあるこの街へ、1人でも多くの方に訪れていただきたいです！

活動内容

●スポーツ合宿の誘致活動

陸上長距離選手として実業団チームに所属していた経験や人脈を活かして、大会やチーム拠点に市職員と共に出向いて、チームスタッフへ直接誘致させていただきます。元選手だからこその目線からもお話しできることは強みです！



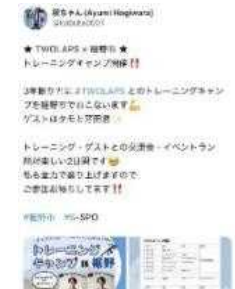
●イベントサポートと盛り上げ

市内スポーツイベントに打ち合わせから参加し、一緒に作り上げています。当日は準備・片付けはもちろんのこと『応援団長』として、イベントを盛り上げています！（富士山すそのみんなのランニングフェスタ→）



●日々の情報発信

トレーニング環境の紹介やイベント告知など、SNS (X・Instagram・Facebook) を中心に情報を発信しています。イベントの振り返りや今日の富士山の様子などを載せることで、裾野市への興味をひくような投稿も行っております。



富士山にも負けないパワーでっ！！

裾野市に移住して、たくさんの魅力がある大切な居場所となりました！この街のため、住んでいる方々のため、さらには私自身のためにこれからも全力で走っていきたいと思います！！



伊豆市

～ 笑顔と健康をつなぐ、自転車のある地域づくり ～

基本情報



【名前】 ファヴァロマルコ
【年代】 50代
【出身地】 イタリア、パドヴァ市
【転出元】 東京都世田谷区
【前職】 スポーツジャーナリスト
【活動時期】 R4.10～R7.10

協力隊になったきっかけ（動機）

自転車を活用した町づくりに興味があり、これまで培ってきた知識や経験を生かして、大好きな伊豆半島に貢献したいと考えたことがきっかけです。

市町からのミッション（協力隊時代）

伊豆市からのミッションは、自転車を活用した観光誘致を推進し、地域に根付く自転車文化を普及させることでした。

協力隊時代を振り返って（良かった点、困った点）

研修先を通じて新しいスキルを身につけることができた点が良かったです。特にサイクリングガイドやインバウンド誘致に関する知識・経験は大きな財産となりました。また、地域の祭りの運営に積極的に関わること、地元の方々と強い信頼関係を築くことができ、これは現在の仕事にも生かされています。

県内で活動する現役協力隊員に向けて ひとこと

新しい地域に移住することは、挑戦的で刺激的な一方、孤立感を覚えたり落ち込んだりすることもあると思います。そんな時こそ、地域の行事や活動に積極的に参加してみてください。人とつながり、地域に溶け込む大きなきっかけになります。

任期中の活動内容

●自転車を活用したまちづくり

研修先では、インバウンド客を意識したサイクリングルート
の造成やツアー案内の構築に携わりました。
また、国内外の旅行代理店に対して伊豆市および伊豆半島
の魅力を積極的に紹介しました。その結果、伊豆半島を
組み込んだツアーが増加し、地域の活性化に一定の貢献が
できたと考えています。



現在の活動内容

●サイクリングイベント、地域まつりPRは本格的に始動

現在は独立し、伊豆半島を舞台としたサイクリングイ
ベントの開催や地域まつりの企画・運営、広報・PR活動な
どを通じて、多方面から地域に貢献する活動を継続して
います。
国内外のサイクリング
ツアーの企画・実施の
ご依頼も受け付けています。



サイクリングの聖地！伊豆半島へ

年2回、伊豆半島を舞台にサイクリングイベント「Grande Izu
（グランデ伊豆）」を開催。上級者も初心者も楽しめる多彩な
コースを用意し、伊豆半島ならではの絶景を満喫できます。
自転車で走る、特別な伊豆の時間をぜひ体験してください。

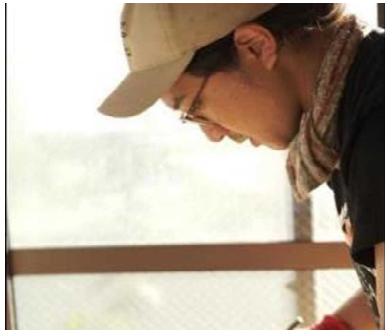


伊豆の国市



～伊豆長岡温泉をはじめとした地域ブランドや魅力を向上～

基本情報



【名前】 榑田 幸平
【年代】 20代
【出身地】
埼玉県本庄市
【転出元】
埼玉県本庄市
【前職】
観光業
【活動時期】
R5.6～R8.5

協力隊になったきっかけ（動機）

学生時代から観光学を通じて伊豆長岡の地域活動に携わってきました。そこで触れた、街づくりに励む方々の熱意に強く感銘を受け、自分もその一助になりたいと考え志望いたしました。

市町からのミッション

伊豆長岡温泉をはじめとした地域のブランドや魅力向上のためのイベントの企画・運営・情報発信等

移住先での暮らしの様子(よかった点、こまっていること等)

これまでの活動を通じて育んできた豊かなご縁が繋がり、開業に向けた準備においても、地域の皆様をはじめ多くの方々から多大なるお力添えをいただいております。

現在の活動に対する想い(よかった点、がんばりたいこと等)

私の配属先は民間のまちづくり会社ですが、自信のスキルや資格を大いに活かせる環境を提供していただいております。現在は会社の役員に加えていただき更なる責任と期待を背負いながら伊豆の国市のまちづくりを行っています。

活動内容

●宿泊施設「さかなやステイ」の運営

令和5年6月30日オープン。
“まちに泊る”がコンセプトの一棟貸しによる分散型ホテル「さかなやステイ」で宿泊業務全般とまた駐車場兼多目的スペースである「ミライ広場」にてイベントの企画・運営などを行っています。



●着地型旅行商品の企画・販売

- ・地域限定旅行業の登録
- ・伊豆の国市とそれに隣接する市町村の観光資源の発掘と調査
- ・さかなやステイを宿泊地としたツアーを企画販売し、伊豆の国市の交流人口、関係人口を増やす。
- ・企業向け・アーティスト向けツアー等



●地域密着のイベント

毎月第二日曜日に開催している最大50店舗の出店がある朝市「お散歩市」の企画運営や日常的な温泉場の活性化に向けた、毎週金曜日に開催しているビアガーデン「いずなかテーブル」を担当。



第二の故郷に

残り任期半年を残して宿泊施設の開業を目指し動んでいます。長岡温泉場のメインエリアで魅力的な空家をお貸しいただけることになり、セルリノベーション中。オープン後は退任後すぐを目標にしています。今回に限らず引き続き空き家活用を行いさまざまなコンセプトを持った宿・施設を増やしていきたいと思っています。この街に寝付けるようにまちづくりをはじめこの街のために貢献したです。

～ デジタル技術を活用した地域の周遊型観光の促進 ～

基本情報



【名 前】 春 奈依耶
 【年 代】 30代
 【出身地】 米国・アラスカ州
 【転出元】 兵庫県神戸市
 【前 職】 営業
 【活動時期】 R7.4～R10.4

協力隊になったきっかけ（動機）

写真やSNSを通して地域の魅力を伝えることに強い関心があり、また、外国人として地域を外からの視点で見ることで、地元の方が気づきにくい魅力を発見し、国内外の人々に発信できる点にも魅力を感じ、応募しました。

市町からのミッション

デジタル技術を活用した地域の周遊型観光の促進をミッションに活動しています。

移住先での暮らしの様子(よかった点、こまっていること等)

この地域の方々はとても温かく、私をすぐ受け入れてくださいました。特に高齢の方々との交流が多く、日々の会話の中で、この町ならではの昔話を教えていただいています。その方のおかげで、ガイドブックには載っていない地域の面白さや歴史を知ることができ、暮らしの中での学びにつながっています。

現在の活動に対する想い(よかった点、がんばりたいこと等)

地域の方々と一緒に考えながら、伊豆の国市の魅力をより多くの人に伝えられる発信を続けていきたいです。日常のあたたかさや人とのつながりを感じられるよう工夫し、地元の方にも観光で訪れる方にも「また来たい」と思ってもらえるきっかけをつくりたいと考えています。

活動内容

●地域の魅力発信（SNS・写真撮影）

伊豆長岡温泉エリアマネジメントというまちづくり会社に配置され、SNS担当としてInstagramやFacebookで発信しています。ミライ会議、お散歩市、いずなカマルシェ、さかなやステイの4つのアカウントを通して、地域の人々の活動や温泉場の魅力を紹介しています。

イベントの出店者や地域で協力してくださる方々を訪ね、撮影や取材を行い、発信につなげています。撮影の場では会話を通して地域の思いや魅力を聞き出し、それを丁寧に紹介することで、地域内外の人をつなぐことを目指しています。

また、地域おこし協力隊としてのアカウントも運営し、自分自身の視点から伊豆の国市での暮らしや日常の風景、活動を発信しています。エリアマネジメントと協力隊、それぞれの立場から発信することで、地域の魅力をより多くの人に届けることを目指しています。



●宿泊施設「さかなやステイ」での地域交流

“まちに泊る”がコンセプトの棟貸しによる分散型ホテル「さかなやステイ」の運営等を行っています。滞在中のお客さまと会話したり、地域の情報を案内したりする中で、伊豆の人々の魅力や町の雰囲気や町を直接伝えていきます。日々の交流を通して、観光と地域をつなぐ役割を大切にしています。



これから取り組みたい事

活動先の温泉場には、魅力溢れる旅館が並んでおり、その雰囲気はまるで物語の世界に入り込んだかのようです。私は、この場所が持つポテンシャルを活かし、新しい価値を生むための取り組みができないかと考えています。実現には多くの課題があると思いますが、それでも挑戦してみたいテーマの一つです。この温泉街の歴史や雰囲気など、ここでしか味わえない地域の魅力を住んでいる人にも、訪れる人にも知ってもらえるきっかけをつくっていききたいです。

基本情報



【名前】小山和志
【年代】30代
【出身地】神奈川県川崎市
【転出元】神奈川県川崎市
【前職】会社員（営業職）
【活動時期】R1.4～R4.3

協力隊になったきっかけ（動機）

若い頃22カ国を旅した経験から、「旅のきっかけとなる場所を自分の手でつくりたい」という想いを持つようになりました。地方移住を漠然と考えていた中で、協力隊の制度を知り、参加を決意しました。

市町からのミッション（協力隊時代）

観光につながる商材づくりを主なミッションとし、あわせて人手不足の協会主催イベントや各種作業のサポート、SNSを活用した情報発信に取り組みました。

協力隊時代を振り返って（良かった点、困った点）

地域の方と早い段階で関係を築けた点は良かったです。ゲストハウス開業を目的に移住していたため、活動費や補助金を活用できたことも大きな助けになりました。一方で、都市部とは異なる距離感や人間関係に最初は戸惑うこともあり、相談できる相手が少ない点は課題。

県内で活動する現役協力隊員に向けて ひとこと

「言うは易く行うは難し」、まずは手を動かし、コツコツ積み上げることが大切だと感じています。実践を重ねることで、少しずつ協力者も増えていきます。また、活動期間中から定住・定着の準備を進めることが重要です。3年目からでは遅いと実感しています。

任期中の活動内容

●コロナで観光業撃沈...その中で定住準備

- ・1年目 観光協会所属だったので、お祭りや地域イベントの手伝いなど、街を知る・理解を深める期間でした。
- ・2年目 コロナ禍だったので観光関連行事はほぼ0に。市内のテイクアウト専門メディアを立ち上げたり、地域の方とオンラインLIVE花火などを実施。
- ・3年目 定住に向けた、宿開業ためDIYリノベを進める。



現在の活動内容

●暮らしを創る家 soco（宿名）

協力隊卒業と同時に、民泊運営をスタート。移住当初は、ゲストハウス（相部屋や複数人で泊まる形態）を考えてましたが、市内に気に入った物件が見つかり購入、1日1組限定の民泊施設をオープンしました。

約4年宿運営をしており、現在は日本人はもちろんこと、世界中のお客様からご利用いただいております。移住希望のお客様も何組もお泊まりいただいて、実際に移住した方もいます。宿自体も少しずつアップデートを行い、バーベキューができるガレージや、今年からはサウナも始めました！



宿やりたい人いらっしゃい！

宿の売上は徐々に伸びていますが、改修費などもかかり、4年経った今も試行錯誤の毎日です。Webデザインの仕事もしているのでお仕事ください！
また、宿やりたい協力隊の方いましたら、相談乗りますよ～。活動費でうちに泊まってください！

マックスラボ <https://oyamax.work>

静岡市

～ ホームタウンチーム連携 スポーツでまちづくり ～

基本情報



【名前】 御厨 朋子
 【年代】 50代
 【出身地】 東京都中野区
 【転出元】 千葉県柏市
 【前職】
 グローバル大手企業向け戦略
 コンサルティング、
 ブランド戦略策定
 【活動時期】
 R6.9～R9.8

協力隊になったきっかけ（動機）

これまで世界の多くの国で仕事をし、日本の地域貢献についてやりたいという思いが募りました、以前から興味があった静岡にご縁をいただき移住を決意しました。

市町からのミッション

スポーツの振興をはじめ、地域独自の課題など様々な分野において、チームと地域・団体・企業・行政等とが連携し、地域・社会課題の解決や新たな価値の創造に取り組めるよう、イベント・講演・教室等の企画・運営等を実施。

移住先での暮らしの様子（よかった点、こまっていること等）

静岡は都市と自然のバランスが素晴らしく、温暖で歴史、文化なども豊富でとても住みやすいと感じます。海も山もあり食も豊か、穏やかな人柄で心地よく過ごせます。

現在の活動に対する想い（よかった点、がんばりたいこと等）

市民が本当にスポーツを生活の一部にしている静岡。行政、プロスポーツチーム、地域の企業の方々が連携することでより静岡らしい魅力あるまちづくり、静岡全体がONE TEAMと感じるような活動をしていきたいと思っています。

活動内容

Tリーグ運営支援

会場設営、運営支援、
 ファンサービス、広報活動
 地域貢献、社会貢献プロジェクトのPR
 ボランティアスタッフの管理、連携
 スポンサー企業様との連携
 Tリーグ認知度向上活動



ホームタウンチームの地域連携活動、まちづくりの支援

静岡ジェードの地域イベントの運営
 静岡ジェード広報活動
 スポンサー企業連携イベントの企画運営
 スポーツチームをとおしてのイベント運営支援
 スポーツチームと市、県の連携広報活動支援
 スポーツチームの社会貢献支援



スポーツを通して静岡らしいまちづくりによる新しい価値創造

スポーツを通じた地域、学生、行政、企業間交流の推進
 スポーツを通して静岡ならではの魅力を発掘
 スポーツを通じた新たな共創プロジェクトの企画、運営
 ホームタウンチームと市民の交流促進
 ホームタウンチーム連携のイベント企画、運営



ONE TEAM静岡、スポーツをきっかけに魅力を発信

静岡は東西文化の中心にあり、静岡ならではの独自文化を持っています。8チームのスポーツチームと行政が連携している地域も非常に珍しく、スポーツと生活の一部になっている静岡。スポーツを通じて静岡の魅力を発信していくことで、地域外に静岡のことを知っていただき、訪問していただくきっかけにしていきたいと思っています。静岡は触れていただければ人、食、文化、伝統さまざまなコンテンツがある場所なので、スポーツでone teamとなり、まずはきっかけづくりをしたいと考えています。

【活動の様子を発信しているSNS】
Instagram ID : wesauna_kyon
【メールアドレス】 k.takahama@wesauna.jp

～ サウナを観光資源とし、静岡市への観光誘客を創出する ～

基本情報



【名前】 高浜 京子
【年代】 30代
【出身地】
福岡県糸島市
【転出元】
東京都大田区
【前職】
施設関連業
【活動時期】
R7.4～

協力隊になったきっかけ（動機）

東京での仕事と暮らしを見直す中で、観光業の経験を活かし、観光を通じて地域の魅力を伝えたいと考えるようになり、地域おこし協力隊にたどり着きました。

市町からのミッション

サウナ関連施設や団体と連携し、静岡全体のサウナの魅力を観光として発信。イベントや誘客施策を通じて、観光客の増加と地域のにぎわい創出を目指しています。

移住先での暮らしの様子(よかった点、こまっていること等)

静岡県産の野菜や果物、鮮魚、お酒がとにかく美味しく、鮮度抜群で毎日の自炊が楽しい！水道水も柔らかいです。街歩きが楽しい静岡駅周辺と、少し車を走らせれば海も山もある距離感がちょうどいい。こまっていることは……ゴミ出しが不便です笑

現在の活動に対する想い(よかった点、がんばりたいこと等)

地域おこし協力隊という立場だからこそ、地域の方々の想いや声に触れ、心に残る出会いがたくさんありました。着任して実際に体験してきた静岡県のサウナの魅力と観光資源を掛け合わせ、様々な形で楽しく伝えながら、観光誘客につなげていきたいです。

活動内容

●静岡サウナ協議会からの依頼業務

協議会ホームページの更新や施設紹介ページの作成、テレビ番組「サ活のサ」の撮影同行、協議会主催イベントのスタッフなど、協議会の取り組みがより多くの人に伝わるようサポートしました。そのほか、協議会の会員向け活動レポート作成、クラウドファンディングの打合せなど、協議会の活動を幅広く支えています。



●静岡サウナ協議会の静岡県受託案件対応

静岡サウナ協議会の観光受託案件として、サウナ×朝活を組み合わせた「気軽に楽しめるサウナ観光」を企画しました。

御前崎では「早朝サーフィン×絶景サウナ×海鮮サ飯」、藤枝では「ログハウスサウナ×朝ラーメン×景色ティーテラス体験」のモニターツアーを実施。参加者の反応も良く、今後は協力施設での定着を目指して取り組んでいきたいです。



●水を主軸としたサウナ観光振興

静岡のサウナと全国のサウナを比較する中で、「静岡のサウナは水がいい」という特徴に着目し、水を主軸としたサウナ観光振興の企画を進めています。静岡市内のサウナ施設に加え、水の良さを感じられる食や観光スポットも掲載した「水風呂水質マップ」を制作中です。サウナ体験をきっかけに、静岡魅力を広く知ってもらおうことを目指しています。



静岡の良さを120%感じられるツアープランニングならお任せください！

美味しい旬の食、美しい自然景観、街歩き、アート鑑賞、大自然でのアクティビティ、そして、サウナと好きなことを、実際に、食べて、歩いて、「これすごく良い！」と思ったものを、そのまま伝えることが得意です。静岡に移住したからこそわかる静岡の良さを感じられるツアープランニングや企画をどんどん企画して、たくさんの人に伝えていきます。

【活動の様子を発信しているSNS】

https://www.instagram.com/mochimune_haru/

【メールアドレス】harukahoshino041@gmail.com

～静岡市と首都圏の二拠点居住の魅力を発信！～

基本情報



【名前】 星野晴香
 【年代】 20代
 【出身地】 東京都葛飾区
 【転出元】 東京都葛飾区
 【前職】 業務委託の掛け持ち
 【活動時期】 R5.9～R8.8

協力隊になったきっかけ（動機）

海外に行くことが多い20代前半でしたが、日本のことを聞かれても東京のことしか答えられず。このまま東京だけを知って日本人をするわけにいかない！と思い地方生活を志しました。

市町からのミッション

株式会社アドレスの市内拠点やコミュニティを活かしながら、移住検討者やリモートワーカーの誘致、ご案内をします。市内・首都圏の両方でイベントも多く開催しています。

移住先での暮らしの様子(よかった点、こまっていること等)

海がすぐそこ、という場所に住んでいるので移住したての頃は海辺を毎日散歩して、釣りもよく行きました。一次産業との距離の近さが地方の魅力だと思います。自分がいかに世の中に関して無知であるかもよくわかりました…

現在の活動に対する想い(よかった点、がんばりたいこと等)

どこの地域も人不足が嘆かれる時代ですが、そんな時代だからこそ一人一人の持つ強みや得意が最大限に掛け算される場所を作り出したいと日々思っています。イベントも、日々の活動も、せっかくやるのなら知ってもらいたいと思い発信PRは常に心がけています。

活動内容

●首都圏での移住系イベントへの登壇

静岡県や静岡市が主催する移住に関わるイベントに良く呼んでいただき、東京育ちから見た静岡市の魅力をお伝えしています。特に最近は二地域居住への関心の高まりを感じていて、都内での活動拠点の3×3Lab Future（所在地:大手町）ではよくトークイベントをさせていただいています！



●ADDRESS Meetup in Mochimune (コミュニティイベント)

多拠点コミュニティを提供する株式会社アドレスのサポートを受けて活動している関係で、1年4ヶ月の時期にイベントを開催しました。北海道から香川県まで、ADDRESSコミュニティの方が35名ほど用宗に大集合！土の人（地元の人）と風の人（ADDRESSの人）が混ざり合い、新しい風土が生まれるようにと設計。楽しかったです。



●清水クルーズ祭り(移住者コミュニティを巻き込んだイベント作り)

移住者コミュニティの方に声をかけてもらい始まったお祭りイベント。清水港に寄港するクルーズ客のインバウンドと静岡市民みんなが一緒になって櫓を囲みます！運営メンバーは8割移住者で、120人のボランティアとイベントを盛り上げました。のべ2万人が遊びに来てくれて、2回とも天気にも恵まれ唯一無二の光景に感動しました！



プレゼンや司会は、イベント盛り上げはお任せください！

協力隊になってから現時点で2年と4ヶ月。信じられないほどたくさんの人前に立つ機会をいただきました。そして気がついたのは…「私本当に人前で話すの得意！」ということ。笑 人は得手不得手あると思いますが、地方に来てより一層感じられるようになりました。ぜひ、皆さんの街でイベントがある時、司会が必要なときは呼んでください！！これからも、ADDRESSのコミュニティで学んだシェアの気持ちを大事に、一人一人の輝きが大きな灯火になるようなイベントをたくさん仕掛けていきたいと思っています！

【活動の様子を発信しているSNS】
https://www.instagram.com/tetsu_shizuoka/
 【メールアドレス】 tetukin166@gmail.com

～ しずおか移住&定住サポート ～

基本情報



【名前】 垣本鉄平
 【年代】 40代
 【出身地】 京都府京都市
 【転出元】 兵庫県西宮市
 【前職】 市役所行政職員
 【活動時期】 R6.9～R9.8

協力隊になったきっかけ（動機）

静岡を好きになってもらえるような仕事をしながら、コーヒー焙煎所兼カフェをする準備をしたいなあと考えていたところ、偶然知人が北海道で地域おこし協力隊になったことを思い出し、地域おこし協力隊の募集を調べたのがきっかけです。

市町からのミッション

「まち歩き案内」「お試し住宅」「移住相談」など行政の移住サービスのお手伝いをしながら、定住サポートとして移住者交流会を開催しています。

移住先での暮らしの様子(よかった点、こまっていること等)

静岡が好きになったきっかけでもあるサーフィンや登山に気軽に行けること、そして、活動をとおして静岡生まれの方、移住された又は移住を考えてる方と出会える毎日が新鮮です。

現在の活動に対する想い(よかった点、がんばりたいこと等)

活動2年目から、拠点を構えて移住相談、定期的に交流会を開催しています。移住者さんをふくむ街の方々にとって、気軽に行けるコミュニティの場になるようがんばります。

活動内容

●コーヒー屋で移住相談

ふんわりと移住を考えはじめた方、静岡に滞在できたとしても土日になってしまう方、移住者と話してみたい方向けに、事前予約不要で移住相談できる時間帯を設けています。



●コーヒー屋で移住者交流会

頻度多め&少人数で開催することで、いつでも気軽にこられるコミュニティの場となるよう、月1回ペースで10人程度の移住者さんをお招きしています。



●お試し住宅のアテンド

移住を具体的に検討している方向けに、2週間程度お試しで移住体験できる行政サービスのアテンドをしています。移住前後のギャップが少しでも小さくなるよう、生活をイメージしてもらえるよう心がけています。



自家焙煎カフェOPENしています！

基本的に週末（金-日）11-20時でコーヒー屋さんしています。移住相談と交流会をさせていただいてることもあり、移住者さんが来てくださることも多いです。静岡市の中心地なので、お気軽に立ち寄っていただくと嬉しいです！しずおか話しましょう！



【活動の様子を発信しているH P・SNS】
<https://sunpurakuichi.co.jp>
 【メールアドレス】kinopu@takamikan.jp

「特産品×デジタル」の力で静岡の地場産業振興に貢献

基本情報



【名前】 木下 佑作
 【年代】 40代
 【出身地】 京都府京都市
 【転出元】 東京都世田谷区
 【前職】 Webマーケティング
 【活動時期】 R6.9～

協力隊になったきっかけ（動機）

2018年から3年間、岩手県盛岡市地域おこし協力隊として地場産業振興に携わるも、コロナ渦により起業による定住を実現できず、退任後の再挑戦の機会を求め続けた結果

市町からのミッション

地場産品及び伝統工芸品の販路拡大・開拓、情報発信の強化（アスティ静岡で工芸・民芸・特産品を販売する「駿府楽市」と連携して、市内外での需要開拓、PR イベントの企画・実施などを通して、販路拡大・開拓を強化）

移住先での暮らしの様子（よかった点、こまっていること等）

中心市街地や活動拠点から近いため、活動しやすい環境にあると思います。

現在の活動に対する想い（よかった点、がんばりたいこと等）

駿府楽市様のデジタルスペースの利活用を促進させて、駿府楽市のウェブサイトアクセスすれば静岡市の地場産業のことがわかると言っていただけるように日々の活動に取り組んで参ります。

活動内容

駿府楽市ウェブサイトのリニューアル

- ・スマホ対応の実施
- ・運用スタイルの簡便化
- ・定期的な情報発信を積み重ねて検索流入増加を図る
- ・既存のコンテンツを引き継いだ「改装」だったため、任期中に全面刷新を予定

駿府楽市公式インスタグラムのフォローアップ支援

- ・フォロワー拡大のために、できることから少しずつ取り組み、着任当初300人あまりだったフォロワーを倍増

MEO対策

- ・これまでに店舗側で手が回りきらなかったYahoo!地図やGoogleMapへの店舗情報発信の強化により、店舗への問い合わせや来店者の増加につながった

静岡市「工芸品価値創造事業（地場産品販路拡張事業）」の一環で、市内の宿泊施設に伝統工芸品を設置。年度内のアンケート調査実施に向けて準備中。アンケート調査を通じて、伝統工芸品の知名度向上、販売促進につなげたい



「旅するコンサルタント」として、地方の地場産業支援に取り組みます。

「地方×デジタル×旅」の専門家として起業し、静岡市にとどまらず、他地域とも連携しながら事業に取り組みます。全国を旅しながら、観光・飲食・宿泊・体験など、地域に根ざした小さな事業者の課題解決をサポートして参ります。「無理なく続けられるICT導入・活用」や「地域の「らしさ」を言語化・見える化し、共感を生む地域ブランディングや発信」の伴走支援を通じて、地域の価値を高めるお手伝いをいたします。

【活動の様子を発信しているSNS】
https://www.instagram.com/aun_shimizu
 【メールアドレス】 shimizu.t.otsuka@gmail.com

～清水区中心市街地のシビックプライドを上げたい～

基本情報



【名前】 大塚達朗
 【年代】 40代
 【出身地】 静岡県静岡市
 【転出元】 東京都板橋区
 【前職】 商店街事業支援及び、同直営アンテナショップマネージャー（業務委託）
 【活動時期】 R6.6～R9.5

協力隊になったきっかけ（動機）

地元清水に新しくまちづくり会社が設立されたことも契機に、地元に戻り、まちづくりの仕事がしたいと思っていた折、本募集を知り、同社の支援ということもあり、Uターンを決め、志望いたしました

市町からのミッション

- ・空き店舗情報の収集・情報発信
- ・中心市街地でのイベント企画・運営
- ・中心市街地の魅力発掘・情報発信

移住先での暮らしの様子(よかった点、こまっていること等)

Uターンで戻ってきたこともあり、また、産まれて30年来住んでいた土地であるので、「溶け込む」という言葉までもなく、すぐ生活が始まり、知人も多いので困ったことはありません。改めて、日々富士山を望める風景に戻って来れて良かったです。

現在の活動に対する想い(よかった点、がんばりたいこと等)

全国的にも清水区としても高齢化の波と人口減少、中心市街地の活気などが気になっております。まちづくり会社とともに、清水の元気と魅力を、持続可能な社会の中で地元の方と創っていきたいです。

活動内容

●清水地区中心市街地での各種イベント企画・運営、支援など

清水区の中心市街地のイベントには、可能な限り支援や実行委員会に与するなどして、関わっております。また、自らも、清水駅前銀座商店街近隣を中心としたエリアで、インバウンドの方向けのおもてなし祭りや、静岡マラソン連携マルシェなどを企画立案・運営しております。インバウンドにちなんだ事業も担い、最近では、駅前銀座商店街の観光プログラム開発にも着手しております。（画像は、12月に開催された、ビーバップハイスクール40周年にちなんだイベントの実行委員会のものです）



●清水のまちづくり会社 アウンしみずの支援

現在は、清水駅西口遊び場実行委員会から委託を受け、同社が管理・運営している「ビバしみず」の事務管理面の側面支援を行うほか、同社のSNS発信一式、また、まちづくり会社が地域に根ざすための方策を一緒に考え、行動しています。



●地域資源を活かしたオリジナル土産

清水はインバウンド観光客も近年右肩上がり、また、Jリーグの観戦者、国内観光客も多く来訪される中、地域資源を活かした、「清水ならではの」オリジナルお土産を作れないかと思っており、また、自身もカプセルトイが好きなので、「しみずのあつまり」シリーズとして、先日、オリジナルカプセルトイをリリースしました。関係者とともにワクワクしながら第一弾を開発しました。（画像はそのカプセルトイの台紙です。）



清水のまちづくり会社 アウンしみずをこれからもよろしくお願ひします！

退任後も引き続き、アウンしみずが清水の皆さんと一緒にまちづくりをしていけるように、新しいこと、楽しいこと、続けていくことを考えて、実行していきます。

【Instagram】

<https://www.instagram.com/nakabayashizuoka/>

【メールアドレス】nakabayashizuoka@gmail.com



NAKABAYASHIZUOKA

～IT技術を活かしておまちエリアのさらなる魅力アップ～

基本情報



【名前】中林真希(まさき)
 【年代】50代
 【出身地】静岡県 静岡市
 【転出元】千葉県 浦安市
 【前職】ITスペシャリスト
 【活動時期】R5.9～R8.8

協力隊になったきっかけ（動機）

静岡市生まれ・静岡市育ちで大学進学を機に静岡を離れました。IT関連企業で働いた後、人生の後半は自分のスキルと経験を地元静岡の発展に活かしたいと考えていたところ、タイミングよく静岡市中心市街地での協力隊の募集があり即断即決しました。

市町からのミッション

静岡市中心市街地、通称「おまち」エリアの活性化を担う団体「I Loveしずおか協議会」と協業し、自らのIT技術を活かしてDX推進、情報発信等を通じて、おまちエリアの持続的な発展に寄与する。

移住先での暮らしの様子(よかった点、こまっていること等)

数十年ぶりに地元に戻ってみておまちが想像以上に発展していることに驚きました。おまちエリアに住んでいますが、いろいろなお店が揃い、にぎわいもあるけれど、混みすぎない、静けさもある、静岡ならではの「ちょうど良さ」を満喫しています。

現在の活動に対する想い(よかった点、がんばりたいこと等)

協力隊員ひとりで出来ることは限られているので、おまちの皆さんを巻き込んで魅力向上・発信の仕組みづくりや技術の継承、後継者づくり、組織化を考えていきたいと思っています。

活動内容

●にぎわい創出

静岡市をはじめ、I Loveしずおか協議会、静岡商工会議所、静岡市まちづくり公社、商店街の皆さんなどと協業しておまちなにぎわいを創出するイベントを実施・サポートしています。

例)「家康公あしあとめぐりデジタルスタンプラリー」「しずおか横断デジタルスタンプラリー」「プラモニュメントを巡るおまちデジタルスタンプラリー」「ハートを巡るおまちデジタルスタンプラリー」「おまちdeロゲイング」「七間町でスポーツを楽しむ日」「おまちde卓球」など



●商店街DX

商店街の皆さんのIT課題解決のためのサポートを行っています。更新が止まっていたホームページのリニューアルや運営代行、新たな情報発信サイトの構築、Windows11へのバージョンアップ作業、IT関連見積りの妥当性検証まで、IT関連の困りごとは何でも相談に乗ります。

空き店舗情報発信サイトでは360度カメラを駆使して、物件の中を歩き回れるようなページを作っています。



●情報発信

おまちエリアで行われるイベントだけを発信するI Loveしずおか協議会公式LINE「おまちイベントガイド」の開発・運営を行っています。また、同協議会のパンフレットやホームページに掲載される写真や動画の撮影も行っています。

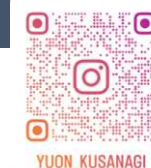
協力隊個人のInstagramではイベント告知や報告だけではなく、おまちの魅力のアピールに重点を置き、ちょっとしたトリビアを含めた投稿を心がけています。



おまちなことなら何でも！

- ・おまちで行われるイベント情報を発信するI Loveしずおか公式LINE「おまちイベントガイド」の開発・運営を行っています。[友だち登録] →
- ・2025年4月静岡市地域おこし協力隊ネットワークの運営を始めました。他地域との交流・協業も進めて行きたいので、よろしくお願いします！





～ 草薙エリアのまちづくり、学生含めた交流人口拡大 ～

基本情報



【名前】 大森遊音
【年代】 30代
【出身地】
広島県尾道市
【転出元】
東京都北区
【前職】
地方公務員
【活動時期】
R7.3～R10.2

協力隊になったきっかけ（動機）

「地方移住したい」「いろんな人と関わりたい」そう考えていた際に、移住コーディネーターの方からおすすめしてもらいました。その後先輩協力隊員に出会い魅力的な活動だと感じ、自分も挑戦してみたいと思いました。

市町からのミッション

公共空間を活用した賑わいづくり、学生のまちづくり活動へのコーディネート、福祉事業の立ち上げ、SNSを活用した草薙エリアの魅力発信事業

移住先での暮らしの様子(よかった点、こまっていること等)

草薙は静岡と清水の中間に位置し、さらにJRの「草薙駅」と静岡鉄道の「草薙駅」が近くにあるという立地・アクセスともに抜群な場所です。また、周辺に大学2校を含めた学校が多くあり、活気がありながら自然の多い場所でゆとりのある生活が送れています。

現在の活動に対する想い(よかった点、がんばりたいこと等)

活動を通じて、地域の方や学生と顔の見える関係が少しずつできてきたことを嬉しく感じています。今後は芝生広場や高架下での取り組みを一過性にせず、自分の特徴でもあるサッカーをはじめとしたスポーツの要素も取り入れながら、継続的に人が関わり続けられる仕組みづくりに力を入れていきたいです。

活動内容

●地元イベントへの協力、出店

草薙の夏祭りにおいて、イベントのボランティアスタッフとして運営をサポートするとともに、自身でも出店を行いました。出店内容は輪投げにバランス感覚を取り入れた、子どもが体を動かしながら楽しめる企画とし、スポーツ要素を気軽に体験できる場をつくりました。地域イベントに関わることで、住民の方や他の出店者とのつながりが生まれ、日常的な関係作りにつながりました。



●サッカーイベントの開催

草薙駅北口芝生広場にて、子ども向けのサッカーイベントを開催しました。夏場の暑さを考慮し、「水」と「サッカー」を掛け合わせた内容にすることで、安全に配慮しながら思い切り体を動かして楽しめる企画としました。スポーツを通じて、普段芝生広場を利用しない層にも足を運んでもらうきっかけとなり、公共空間の新たな使い方を提案する機会となりました。



●高架下活用における学生との協働

まちとして進めている新幹線高架下の活用事業に参画し、地元の学生とともに企画段階から検討を行っています。現地でのアンケートなど小規模な実証事業を通じて、高架下の使われ方や可能性を探っています。学生が主体的に地域と関わりながら考え、実践する機会をつくることで、将来的な人材育成や継続的なまちづくりにつなげていくことを目指しています。



スポーツと協力で広がる、つながりづくり

サッカーをはじめとしたスポーツを切り口に、人と人が自然に関われる場作りに取り組んでいます。地域イベントへの協力や、公共空間を活用した企画、学生との協働など、「一緒にやる」ことを大切にしながら活動しています。今後は、スポーツや遊びを取り入れた企画をさらに広げていきたいと考えています。同じように地域で挑戦している県内の協力隊の皆さんとも、情報交換や協力をしながら取り組みを広げていけたら嬉しいです。



～子供向けイベント提供により地域を元気に～

基本情報



【名前】 乙部 冨
 【年代】 20代
 【出身地】 愛知県 幸田町
 【転出元】 愛知県 幸田町
 【前職】 保育士
 【活動時期】 R6.5～R9.4

協力隊になったきっかけ（動機）

オクシズ大川で行われていた子供向けイベントにスタッフとして参加した際、大川という自然環境と川遊びの内容に惹かれ自分もこんなイベントがやってみたいと思ったからです。

市町からのミッション

- ・子どもを対象とした自然を生かした体験の提供
- ・子ども達との交流、自然体験教室などのイベントの企画運営
- ・キャンプ場を活用した誘客活動

移住先での暮らしの様子(よかった点、こまっていること等)

山、川の大自然に囲まれ、新鮮な空気に包まれ清々しい気持ちで暮らすことができます。野生動物を初めて見かけたときは驚きましたが、それにも慣れました。ただ、畑がたまに被害にあっていたりするのがちょっと、...

現在の活動に対する想い(よかった点、がんばりたいこと等)

2年目から本格的に親子イベントを開催できるようになってきました。ありがたいことにたくさんの方に大川を知ってもらえることができました。さらに多くの新しい方達にも知ってもらえるよう集客をしていきたい。

活動内容

●キャンプ場周辺で親子イベント

キャンプ場周辺で季節に合った自然体験親子イベントを年間で8回開催しました。川遊びや大川自然ウォークラリー、野菜の収穫体験なども行っています。お昼はわいわいBBQや大川のおばさん特製弁当！午前は親子で活動をし、午後からは保護者はキャンプ場でのんびり、子ども達はスタッフと自然の中でアクティブに遊んでいます。



●収穫体験に向けて畑作業

親子イベントで参加者に野菜の収穫体験を行ってもらうために様々な野菜を畑で育てています。最近挑戦したのが、ジャガイモ、ナス、ピーマン、キュウリ、スイカ、サツマイモ、ダイコン、ハクサイ、ブロッコリー、赤かぶです。春、夏、秋は成功しましたが冬野菜がほとんどできなかった為、今後の課題になりました。



●近隣小学校での体操教室

大川小中学校と近隣の中藁科小学校の放課後子ども教室“やまゆり”、“いちようっ子広場”に足を運び、月に1度体操教室をさせていただいています。近隣地域の子ども達とも関わりを持ち、子ども達を明るい笑顔にできるように体をたくさん動かして遊んでいます。



親子イベント随時開催中！！！！

親子で自然体験ができるイベントをたくさん行っています。公式LINEからイベント情報を発信しているのでまずはご登録よろしくお願ひします。



Instagram



メールアドレス



～静岡市をストリートシアターの街にする～

基本情報



【名前】 山田ひさ枝
 【年代】 40代
 【出身地】
 愛知県名古屋市
 【転出元】
 東京都国立市
 【前職】
 劇場運営
 【活動時期】
 R7.8～R10.7

協力隊になったきっかけ（動機）

静岡市内で劇場経営をしながら俳優と制作の仕事をしていましたが、劇場閉鎖をきっかけに拠点を関東に移しました。が、静岡市を演劇で盛り上げたい気持ちがあり、戻ってきました。

市町からのミッション

ストリートシアターを通じて、静岡市を魅力的な街にすること、また、まだ日本では馴染みの薄い「ストリートシアター」というものが何か、どんな魅力があるのかを広めること。

移住先での暮らしの様子（よかった点、こまっていること等）

静岡市は長く大道芸ワールドカップをやっているのでも、屋外でのパフォーマンスにすごく寛容なところはとても良いところです。が、何をやっていても屋外だと「大道芸」だと思われてしまうところが大きな問題です。。。

現在の活動に対する想い（よかった点、がんばりたいこと等）

元々関わっていたストレンジシード静岡とも絡めて、大好きなアーティストをGW以外の静岡市に呼んでいろいろな人にストリートシアターの面白さを知ってもらいたい。

活動内容

●ゼロコ船越堤公園での野外公演の実施

船越堤公園内の2会場で、ゼロコ『ベンチ』というストリートシアター作品を上演。200名以上のお客様にご来場いただきました。ステージではなく、公園にいつもある「ベンチ」を使っての作品で、ストリートシアターの醍醐味を味わえました。



●YPAMでプレゼンテーションの実施

横浜で行われたYPAM(横浜国際舞台芸術ミーティング)に参加、「日英ストリートシアター上演の可能性と取り組み」、「ストリートシアター グローバル人材育成プロジェクト“STRANGE Lab.”作品紹介」という二つのミーティングを実施しました。まだ日本ではあまり馴染みのないストリートシアターについて、プレゼンしました。



●ストレンジシード静岡2026

今年で11回目となる、ストリートシアターフェス「ストレンジシード静岡」の実施が決定！現在アーティストとの調整や、プログラムの決定、ベニュー(ステージ)の選定等を行なっています。静岡市で行われる大きなイベントの一つとしての認知度アップ、フェスのさらなる発展を目指します！



イベントへのパフォーマー・MC派遣、ご相談ください！

ストレンジシード静岡の育成アーティストはもちろん、静岡市にはさまざまなパフォーマーがいて、屋外のパフォーマンスが得意な人も大勢います！劇場を運営していた頃のつながりや、静岡市のまち劇パフォーマー、それからストレンジシード静岡に出演したアーティストまで、幅広くお声がけできると思います。それぞれのイベントの規模や雰囲気にあったアーティスト、パフォーマーにイベントの盛り上げをぜひお手伝いさせてください！MC・司会等も可能な人もたくさん！

～ 中山間地への移住促進とわさびの育苗 ～

基本情報



【名前】 酒井友規
 【年代】 30代
 【出身地】
 静岡県静岡市
 【転出元】
 御前崎市
 【前職】
 パリスタ
 【活動時期】
 R7.4月～R7.9.4月

協力隊になったきっかけ（動機）

前職では街で人と人を繋げ、たくさんの人と繋がりを得られました。次のステップとして街と田舎を繋げる、そんな仕事を探している時に協力隊の募集を見つけ志願しました。

市町からのミッション

- ・中山間地での移住促進
- ・わさびの育苗活動

移住先での暮らしの様子(よかった点、こまっていること等)

とても静かで、穏やかな土地です。なのに街まで車で1時間以内で行けて田舎で暮らしながら街の便利さも体感できるハイブリッドな生活が魅力です。とは言え、田舎ならではのコミュニティがあり、溶け込むのに苦労しました。

現在の活動に対する想い(よかった点、がんばりたいこと等)

前職で培ったコミュニケーション能力を活かし、移住者と地域の人たちをストレスなく繋がられるように情報収集や発信をしていきたいです。また、わさびの後継者問題にも取り組み、伝統と文化を引き継いでいきたいです。

活動内容

●移住促進委員会発足

静岡市の中山間地にある大河内地区は、7つの部落から成り立っています。どの部落でも人口流出が進み、それぞれが将来への不安を抱えていました。そこで、部落ごとの問題としてではなく、大河内全体の共通の課題として向き合うため、各部落から志願者が集まり「大河内移住促進委員会」を立ち上げました。



●空き家対策

大河内では、人口が減るにつれて空き家も増えています。人が住まなくなった家は、倒壊の危険や害獣被害、犯罪の不安につながることもあります。そこで地域の皆さんと一緒に空き家調査を行い、イベントに使ったり、新たな移住者を迎え入れたりと、空き家を活かす方法を考えています。



●活動内容タイトル3

現在、中山間地には約100軒のわさび農家があります。ですが、わさびの苗を育てる農家が年々減っており、このままではわさび農家も続けることが難しくなってしまいます。大切な文化と伝統を守るため、地域と協力して次の世代を育てる取り組みをしています。



PR

地域に密着したイベントなどをサポートしていますので、田舎でこんなことしたい、田舎に興味があります！などありましたら、いつでもご相談に乗ります！

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
https://www.instagram.com/japanese_tea_shizuoka/
 【メールアドレス】tacma.tea@gmail.com

～ 静岡市の有機茶を高級ブランドに、世界に ～

基本情報



【名前】 小倉 拓馬
 【年代】 30代
 【出身地】 東京都 北区
 【転出元】 神奈川県藤沢市
 【前職】 金融関連の営業
 【活動時期】 R7.9～

協力隊になったきっかけ（動機）

前職で働く中で、自分の人生の目的、夢について改めて定義している最中にそれらと近いベクトルをミッションとした地域おこし協力隊が募集されているという話を聞いたこと。

市町からのミッション

有機茶のPR及び販売促進、生産支援を通して静岡市産の有機茶の販路拡大と消費拡大を図ること。

移住先での暮らしの様子(よかった点、こまっていること等)

移住先では自然が傍にあり、流れる時間の早さや資本主義のプレッシャーが少ない等の理由から、思考を広げる・深める等に適した環境であることが良かった点。こまっていることは移住先周辺の平均年齢が高いこともあってか、人生最大のモチ期が来たものの、モチモチこまっている。

現在の活動に対する想い(よかった点、がんばりたいこと等)

静岡市産の有機茶にはお茶そのものの品質だけでなく、文化や環境等の面でもかなり潜在的なポテンシャルを感じているため、本気で頑張ろうと思えるモノに出会えたことがよかった点。がんばりたいことは、3年間で静岡市産の有機茶を高級ブランドとして確立させることと、それを国内外に認知させること。

活動内容

●営業活動

首都圏を中心に静岡市産の有機茶の販路を開拓しています。潜在ニーズについて考え、実際にそれを基に業種を問わず営業をし、振り返り、改良してまた営業をする、というサイクルを繰り返します。ブランド確立と認知度向上、農家さんへのリターンという3本の柱を軸に置いて「持続的な産地」を目指して日々活動しています。



●農家さんとのコミュニケーション

自己の利益を考える必要がない立場であるため、生産、販売、消費の三者それぞれの立場で物事を見てその最適解を探します。それには三者の意見を正確に把握する必要があります。上記の営業活動によって販売、消費のニーズを把握し、生産のニーズは、実際に生産者さんにお話をお伺いして、生産にも実際に携わることなるべく同じ立場からニーズを把握するよう努めます。



●触媒としての地域おこし協力隊

生産者と消費者の両者にとってWin-Winになるような理想を現実に落とし込む「動く仕組み」を作ることが私の仕事です。①お茶の現場感②行政との接点③前職の経験④利益を求めない、が共存する立場を活かして様々な人を巻き込みながら人と人との触媒として、さながら坂本龍馬の「船中八策」のような「動く仕組み」をたくさん作っていきます。



お茶とコラボしませんか！

日本有数のお茶どころ静岡市、その中でも環境にやさしい「有機栽培」という付加価値があります。お茶の味、風味、香り、色、ブレンド、花、枝、木、葉、お茶農家、茶畑、流通、お茶の文化、体験、温かい空間作り、ギフト、、、お茶は主張が強くない一方で雰囲気や邪魔しないので、様々なジャンルでコラボができる可能性があります。なにか一緒にできるかも、と興味を少しでも持たれた協力隊、企業、団体、個人の方々と繋がりたいです！お気軽に上記連絡先にご連絡ください！(^^)／

～協力隊で築いた人との繋がりで生まれる、仕事と商品作り～

【活動の様子を発信しているSNS】
https://www.instagram.com/mitsumi_kimpara/
https://x.com/ikawa_foodbunka
 【メールアドレス】 ikawafoodculture@gmail.com

基本情報



【名前】 金原みつみ
 【年代】 40代
 【出身地】 静岡県藤枝市
 【転出元】 東京都狛江市
 【前職】 飲食店（キッチンカー経営）
 【活動時期】 R3.09～R7.01（R6.01～R6.04まで産前産後休業）

任期中の活動内容

●食で地域を盛り上げる

商品開発、飲食店サポート、食材研究、SNSでの情報発信、講演活動など。地域のお母さんたちの「在来作物を使った商品を作って井川のお土産にしたい」という声があり、井川の落花生を使ったクッキーと一緒に開発したことが地域おこし協力隊としては1番のトピックです。今では、お母さんたちが自発的に生産・販売しています。そのほか、食以外のことで本当にたくさんの経験を、井川に関わる方々とさせていただきました。



●地域行事に参加する

トレランイベント運営に関わったり、子どもたちに向けた料理教室、地域のお祭りに参加するなど、普段の生活の中でも地域住民との交流を深めてきました。何につけても、人との関わりが大切です。

協力隊になったきっかけ（動機）

特色のある地域で、地域性を活かした仕事をしたいなと思っていたところ、たまたまテレビ番組で地域おこし協力隊という存在を知って、私もチャレンジしてみようと思ったのがきっかけです。

市町からのミッション（協力隊時代）

静岡市の中山間地域にある「井川」地区では、人里離れた地域ならではの食文化があり、それらを活かして地域振興することがミッションでした。

協力隊時代を振り返って（良かった点、困った点）

食に関する仕事だけでなく、イベント運営（トレラン大会）や地域行事などもみっちり関わってきたことが、任期終了後の事業に活かされました。生活面でも、妊娠出産時は大変なことも多かったのですが、ご近所さんの助けが大きな支えになりました。東京に住んでいた夫も井川に移住し、子どもも生まれ、井川に家族を増やすことでも地域貢献できたと思います。

県内で活動する現役協力隊員に向けて ひとこと

地域おこし協力隊というのは、「着任地域で活動することで自分の人生がいきいきする」ことがいちばんいいなと思います。県内他地域の協力隊員と繋がりも、任期中・後に生きることがありますので、ぜひ着任地の外にも目を向けた仲間作りもしてみてください。

現在の活動内容

●井川だからできる仕事 任期中、常に考えていたのは「任期後に何かできるか？」

井川で作られているけど、あまり使われていない山椒などの食材を使ってミックススパイスを製造・販売しています。また、任期中から井川蒸溜所さんと商品開発をしていたフレコンパックのアップサイクル製品を商品化することができました。両商品とも更なる増産をし、井川のお土産の主力になることを目指します。

南アルプスの保全・活用をしている地元企業さんとかねてから話し合いを続け、山小屋の料理人のお仕事をいただきました。井川で生産されている駿河シャモやあまご、在来作物などを使い、さらに井川のお菓子屋さんにも協力してもらって前菜からメイン、デザートを仕立てました。お客さまには食材や井川の食文化の話をし、食を通じて井川を知ってもらうことができました。

井川の食べものの本を執筆中です。任期中に聞いたお話、食べたもの、作ったものを記録として残す、伝えることが、地域貢献の一環になればと思います。



FOOD and LIFE

制作中の表紙です



地域おこし協力隊になりたい人、現役の方へ

「地域貢献にチャレンジしながら仕事をしていく（生きていく）上で、しっかりとお金をいただけるにはどうしたら良いか」を念頭に生きることが出来る3年間をもらえるというのは他にはない機会です。地域おこし協力隊制度の最大のメリットです。協力してくれた人たちへの感謝を忘れずに、任期中の時間と経験を活かして人生を豊かにしましょう！井川のことや地域おこしに関する事など、私にできそうなことがあればなんでもご相談ください。

島田市

～ 観光地としての島田の魅力を全国へ発信します ～

基本情報



【名前】 中澤 緑
 【年代】 20代
 【出身地】
 静岡県島田市
 【転出元】
 静岡県掛川市
 【前職】
 会社員
 【活動時期】
 R5.4～R8.3

協力隊になったきっかけ（動機）

就職を契機に地元を離れたが、一度離れたことで改めて地元の良さに気づくことが出来た。この経験を活かし地域の魅力をアピールすることで、地域貢献をしたいと考えたため。

市町からのミッション

SNSや観光情報サイトを活用した、プロモーションの展開
 グーグル・ビジネス・プロフィールを活用した情報発信の地域
 事業者支援

移住先での暮らしの様子(よかった点、こまっていること等)

大井川鐵道のSLが走るこの地域では、SLを見ると自然と手を振る人がたくさんいます。長年愛されてきたSLだからこそ生まれた、この土地の温かなおもてなし。そんな光景に、ここに住んでよかったと感じる人が多い地域だと思います。

現在の活動に対する想い(よかった点、がんばりたいこと等)

活動を通して、これまで知らなかった島田市の歴史に気づかされることが多くあります。そうした魅力を大切にしながら、より多くの方に島田市の良さを伝えられるPR活動に取り組んでいきたいと考えています。

活動内容

●観光資源等のPR活動

<https://oi-river-trip.com/the-best-of-things-to-do/sample-travel-plan-in-ooigawa/>
<https://oi-river-trip.com/the-best-of-things-to-do/shimada-uonaka/>
<https://oi-river-trip.com/the-best-of-things-to-do/wonderful-ooigawa/>



●各種イベント開催支援

- ・大井川大花火大会運営支援
- ・島田大祭運営支援
- ・しまだ大井川マラソン運営支援



●来訪客調査

・イベントやお祭り等にお越しいただいたお客様を対象にアンケート調査を実施し、来訪者の属性・満足度・消費額などについて把握に努め、調査結果を分析することにより、次回開催の満足度向上などに役立てている。



島田にお越しの際は「旅する大井川」をご覧ください！

観光情報WEBサイト「旅する大井川」にて、大井川流域の魅力を伝えるPR記事を作成しています。自然豊かな大井川の景色を眺めながら楽しむパラグライダー体験や、地域の歴史・文化に触れられるスポット紹介など、島田市を訪れてみたい内容を掲載していますので、ぜひご覧ください。
<https://oi-river-trip.com/>



【活動の様子を発信しているSNS】
https://www.instagram.com/shimada_info/
 【メールアドレス】fu1mi22ya5@gmail.com

～島田の人、町の風景、その空気感ごと魅力発信！～

基本情報



【名前】 高橋 郁弥
 【年代】 30代
 【出身地】 埼玉県狭山市
 【転出元】 埼玉県狭山市
 【前職】 アパレル店員
 【活動時期】 R7.10～R10.9

協力隊になったきっかけ（動機）

アパレル業に従事する一方で、事業者PRに携わっていました。自身のキャリアを見つめ直す中で、個人の裁量性と、新たな環境で挑戦できる点に魅力を感じ、協力隊員になりました。

市町からのミッション

【島田市中心市街地活性化】

SNS等を活用し、地域の魅力等を発信する活動
 地域のまちづくり人材の発掘及び連携強化

移住先での暮らしの様子(よかった点、こまっていること等)

自然に囲まれ、普段歩いているだけでも癒される。落ち着いた環境の中で活動ができています。その反面、隊員活動に活かせるインプットが少ないので、市外に出向いて新たな発見や情報収集を行っています。

現在の活動に対する想い(よかった点、がんばりたいこと等)

着任から常に「今の自分にできること」を考え行動してきました。目の前のことを真剣に取り組むことで、周囲の方も親身に対応してくださっていると感じます。今後は、町の人々が喜ぶ、時に「アッ！」と驚くような発信、人が交わる機会を創出していきたいです。

活動内容

●人から始まる島田の魅力発信

市内の事業者さんにインタビューし、その内容を記事化。事業者の方は、想いがあり、起業をしている。そして、島田の町に魅力を感じているはず。インタビュー記事の発信を通して、人との出会いを作り、また次の人を呼んで、何かが生まれる。そして、町は少しずつ前に進んでいく。この循環を信じて魅力発信をしています。



●自然・歴史文化の魅力発信

島田市には緑豊かな自然に、300年以上続く「帯祭り(おびまつり)」、ギネス記録に登録されている「蓬莱橋(ほうらいばし)」など、見どころが目白押し。それら資産を写真や動画をSNSで発信することも私のミッション。四季折々で変わる風景を国内旅行者・インバウンドの方に伝わる作品を今後撮影・投稿します。



●移住者交流会への参加

島田市に移住してきた人、事業者さんなどあらゆる人たちが参加している交流会にも参加しています。暮らしの悩みや事業に関する困りごとをみんなで共有。ここでの出会いが新たな事業発展に繋がっています。移住先輩者の方から、移住当初の気持ちを聞ける場であり、町の情報収集をするのもとても大事な場所です。



写真撮影・映像撮影のご協力から、とにかく人手が欲しいときに！

着任してまだ3か月の時に記載しています(笑)今後、どのような展開になるか自分でも楽しみです。島田市の魅力発信をしていく中で、市内外の方を街中に呼び込むイベントをしていきたいと思っています。また、隊員同士の情報共有、人手が欲しい場面が市町の大きさ、ミッション内容によっては時に必要かと思えます！ご協力できる場所は、連携していきたいです。上記連絡先、インスタグラムからメッセージいただくと嬉しいです！

烧津市

【Instagram】@yaizu_kankou @achicochi_yaizu
 【メールアドレス】misaiwasaki.info@gmail.com

～地域資源を活かした観光の新たな可能性を作る！～

基本情報



【名前】 岩崎美沙
 【年代】 20代
 【出身地】 京都府京都市
 【転出元】 京都府京都市
 【前職】 Webマーケティング会社勤務を経て独立
 【活動時期】 R6.8～R9.7

協力隊になったきっかけ（動機）

福岡のWebマーケティング会社勤務を経て独立後フリーランスとして国外問わずノマドワーカーとして全国にクライアントをもって活動していました。ビジネスイベントで焼津市職員と出会い、焼津市のワーケーションに参加しました。以前からドラマのロケ地として焼津を知っており、海や食、人の温かさに惹かれて協力隊制度を知り、移住を決意しました。

市町からのミッション

焼津市商工観光課に所属し、観光協会と連携しながらSNSやWebを活用した情報発信、観光コンテンツの企画・実施、既存イベントのブラッシュアップを通じて交流人口の創出・拡大に取り組みます。観光に限らず、市内事業者と関わり、地域産業の魅力発信や支援にもつなげていきます。

移住先での暮らしの様子(よかった点、こまっていること等)

海や山などの自然が身近にあり、港町ならではの景観や食文化を日常的に楽しんでいます。サーフィンや釣りなど新しい趣味にも挑戦するようになりました。友人が遊びに来てくれることも多く、京都や東京へのアクセスが良い点や空港に近い点も魅力です。また、市役所前の足湯など、暮らしの中で自然と会話が生まれ、人の温かさを感じながら過ごしています。

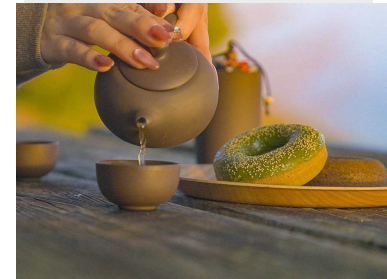
現在の活動に対する想い(よかった点、がんばりたいこと等)

観光協会と連携した情報発信に加え、市内事業者と直接関わり、現場の声を聞きながらコンテンツづくりができる点にやりがいを感じています。Webマーケティングの視点や、ノマドワーカーとして国内外さまざまな場所を見てきた経験を生かし、焼津の方にとって当たり前になっている魅力を発見・発信していきたいです。今後は観光に限らず、事業者の取り組みを後押しし、地域全体の活性化につなげていきたいと考えています。

活動内容

●景色と味わう、焼津ならではの観光コンテンツの企画・運営

焼津の自然と静岡茶を楽しめる茶器レンタルサービス「achicocha yaizu」を企画・運営。茶器や茶葉を手ぶらでレンタルし、焼津の海や山、歴史ある里山で本格的なお茶ピクニックを楽しめます。観光客だけでなく、地元の方のおもてなしにも活用できる、新しい観光体験の創出に取り組んでいます。



●個人事業を生かした「写真の街」プロジェクト

レトロな商店街や港、海岸など多彩な撮影スポットを持つ焼津を「写真の街」として発信。観光体験コンテンツを組み合わせたフォトツアーを企画し、個人で運営するポートレートモデル事務所の経験や人脈を活かして、民間企業と連携したイベントも実施予定です。撮影マナーの啓発や環境づくりにも取り組んでいます。



●SNSを活用した情報発信・講演活動

SNSでの観光情報発信や投稿デザイン改善、隣町との連携による桜マップのデジタル化など、観光分野のDXに取り組んでいます。大学やJICA等での講演では、過去・現在の活動や地方創生に関する知見を紹介。講演を契機に受講学生がインターンに参加するなど、継続的な関係構築にもつなげています。



PR：茶器レンタルサービスachicochi yaizuぜひ体験してみてくださいね^^

今後は観光企画に加え、これまでの個人活動を経験を生かし、インバウンド対策や地元企業のマーケティング支援などにも挑戦し、静岡焼津に還元していきたいと考えています。
 企画した茶器レンタルサービス「achicochi yaizu」では、石津浜公園や満観峰、花沢の里などで、富士山や駿河湾の景色とともに静岡茶と地元菓子を気軽に楽しめます。ぜひ体験してみてください！



▲公式サイト

https://www.instagram.com/ai_miumiura

<https://clarimare.com/>

【メールアドレス】emeraldseabluesky06@gmail.com

基本情報



【名前】 三浦 愛
【年代】 30代
【出身地】 埼玉県川口市
【転出元】 埼玉県川口市
【前職】 釣具屋店員
【活動時期】 H29.10～R2.9

協力隊になったきっかけ（動機）

イタリア留学から帰国してやる事を探していた時、たまたま焼津に釣りに遊びにいきました。その時に知り合った方々のツテを辿り協力隊の担当者と話したことがきっかけ。

市町からのミッション（協力隊時代）

観光課に属し、情報発信、イベントの企画実行など。市外の関係人口の構築。初代なのでざっくりとした目標しかありませんでした。（それがよかったかも）

協力隊時代を振り返って（良かった点、困った点）

貴重な3年間でした。自分次第で如何様にも頑張れる環境が自分にとっても合っていました。何よりも人に恵まれたと思います。任期終了後も地域と関わるような業務を頂けたりとがむしやりに駆け抜けてよかったと思います。

県内で活動する現役協力隊員に向けて ひとこと

行動あるのみです。良くも悪くも自分次第。せっかくの3年間なのでその後の糧になるような活動が出来よう応援しています。

任期中の活動内容

●初心者船釣り教室

3-83歳まで対応。大会なども企画し3年で1,000名以上の参加者を集めた。

●SNS発信

Instagramは個人、協力隊アカウント共にフォロワー1万人突破しました。



現在の活動内容

●書籍出版

・しずおか釣り旅のススメ（静岡新聞出版）
静岡県内の釣りスポット紹介や釣りテクニック、釣った魚のさばき方・簡単レシピまでを、釣り旅の視点で紹介した1冊。入門者にもわかりやすい実用的な釣り本です。

・とれたて魚で簡単ごちそうレシピ（つり人社）
実際に釣った魚を使った多彩な料理レシピが120以上掲載された本。魚の基本的な捌き方や生態・釣り方の情報も網羅しており、「釣って→料理して→食べる」楽しさを広げる実用書。

●イベント、講演等（講師として業務委託）
子供、中高生、大学生向けの魚捌き教室などの講師や船釣教室講師など



なんでもPR

もう一度出来るなら協力隊やりたいくらい楽しかったです！皆さんも楽しんで。



基本情報



【名前】 鈴木銀次郎
【年代】 30代
【出身地】 静岡県焼津市
【転出元】 熊本県熊本市
【前職】 ゲストハウス雇われ店長
【活動時期】 R2.7～R6.3

協力隊になったきっかけ（動機）

宿泊施設であるゲストハウスを地元焼津に作りたいと考え活動していた。焼津へのUターンを考えていた時に地域おこし協力隊の募集を見つけ、地域の人たちや企業団体との繋がりを作る期間にしたいと考えて応募する。

市町からのミッション（協力隊時代）

移住定住の促進としてオンライン、オフライン問わずの移住相談の受け入れや首都圏での移住イベントへの参加など。

協力隊時代を振り返って（良かった点、困った点）

色んな人たちと関わりを持ち、一緒にイベントを立ち上げたり市内外多くの方が焼津に関心を持つきっかけとなったように感じる。行政職員との関わり方として、はじめは行政との関わり方がわからず悩むことも多かった。

県内で活動する現役協力隊員に向けて ひとつ

行政の仕組みを理解した上で、相手の立場になりながらも、自分で考えて行動することが一番重要だと思います。どんなに地域のために良いことを構想しても、行政がOK出さなければ協力隊としての活動にはならず、意味がありません。行政の立場、市民の立場、色んな人の立場を考えて行動できるよう応援しています。

任期中の活動内容

●移住定住支援

移住定住支援として、移住相談を受けるため首都圏で行われる移住フェアに参加したり、オンライン移住相談を開催。移住相談者が市内の案内を希望すれば、焼津市民の目線で市内案内を実施するなど「生活」に落とし込んだ移住支援を行った。SNSを活用した魅力発信を行うことで焼津に関心を持つきっかけ作りにも力を注いだ。



現在の活動内容

●けん玉先生+体操・体幹の先生+SNS発信のハイブリッドな活動

現在の活動として、自身が運営するけん玉教室や講師依頼、業務委託で受けている体操教室（市外）の運営、正規雇用で受けている体操体幹教室のトレーナー（市内）、地域の情報を発信するSNS運用代行業業など、様々な活動を収入の柱として生活している。

その全てが“独立した事業”として考えるのではなく、すべての活動が繋がり、どこか一つが伸びれば他のことも相対的に伸びていくような活動になれたらと考えながら活動。

また、それ以外でも依頼があれば基本的にどんなことでも受ける「何でも屋」として、ひとつの仕事に縛られない働き方を体現している。



ご依頼お待ちしております

地域のお祭りや子どもたちへのお楽しみ会、高齢者向け講座など、どんなことでもやります。SNSに関する質問や、「こんなことできませんか？」の問い合わせもいつでも待っています。

藤枝市

【活動の様子を発信しているSNS】

<https://www.instagram.com/shimojohakira1997/>【メールアドレス】 shimojo.akira@fa.geidai.ac.jp

～ 藤枝市の粘土資源を用いた制作研究～

基本情報



【名前】 下城 爽
 【年代】 20代
 【出身地】 神奈川県秦野市
 【転出元】 神奈川県逗子市
 【前職】
 東京藝術大学 テクニカル
 インストラクター
 【活動時期】
 R7.8～R10.7

協力隊になったきっかけ（動機）

東京藝大での勤務期間に藤枝市陶芸村構想について知り、任期後の制作研究の場として藤枝市に興味を持ちました。

市町からのミッション

- ・藤枝市での作家活動
- ・東京藝大と藤枝市が進める事業への協力

移住先での暮らしの様子(よかった点、こまっていること等)

地元の方々に温かく迎えていただき、とてもありがたく感じています。また、市街地は商業施設も充実している一方で山間部には豊かな自然が残っており、生活も制作もしやすい環境として魅力を感じています。

現在の活動に対する想い(よかった点、がんばりたいこと等)

藤枝市の粘土資源の多様さ、窯業地としての歴史的資料の豊富さに驚いています。今後は藤枝市の粘土を用いた研究制作を中心に、古代の技術から学びながら、その再現に留まらない新しいやきものを模索します。

活動内容

● 藤枝市の粘土資源を用いた研究制作

藤枝市で採集できる粘土を用い、下城の作家としての強みである急須制作を中心に、藤枝市の粘土資源の新たな活用の形を研究制作し発信していきます。



● 古窯の調査と再現

藤枝市にかつて存在した一大窯業地の歴史的資料から学び、その当時の窯の再現、須恵器と呼ばれる古代のやきものの再現から始め、古代の技術に学びながら、再現に留まらず現在と未来を見据えた新しいやきものの姿を目指します。



PR

・藤枝市内のやきものの歴史に興味を持っています。田畑を耕作中に土器片や陶片が出てきたことがある、もしくは粘土が出てきたことがあるなど、情報がありましたらぜひ教えてください！また、助宗古窯群に見られる須恵器と呼ばれるやきものの再現研究に興味のある方もぜひご連絡ください。

・任期後はやきもの作家としての制作発信を続けながら、自分の製作した器を使ってもらえる小さな飲食店の開業を夢見ております。

～ 旅するような毎日を ～

基本情報



【名前】 古澤光徳
 【年代】 40代
 【出身地】 宮崎県日南市
 【転出元】 東京都世田谷区
 【前職】 俳優
 【活動時期】 R5.4～R8.3

協力隊になったきっかけ（動機）

ワークショップなどで何度か藤枝市を訪れていて、田舎すぎずほどよく栄えている所が心に残り、コロナなどを経て「豊かさ」を実感できる生活をしたいと思い移住に至りました。

市町からのミッション

- ・日本遺産や地域資源の情報発信・PR活動
- ・東海道の宿場連携に関する活動
- ・藤枝市の歴史・文化を発信

移住先での暮らしの様子(よかった点、こまっていること等)

- ・温泉が近い！
- ・行列で入れないことがない！
- ・精神的に余裕ができた

現在の活動に対する想い(よかった点、がんばりたいこと等)

観光情報を多言語で発信するサイトや、ふるさと納税に出展したり色々な事をやらせて頂いていますが、結果・成果よりもその過程での人との出会いが、おそらく何より価値あるものだと考えています。その部分は大切にしたいです。

連絡先

【運営サイト：Life&Tripふじえだ】
<https://fujieda-life-trip.com/>

活動内容

●観光情報発信サイト「Life&Tripふじえだ」の運営

運営するサイト「Life & Tripふじえだ」にて藤枝の魅力を日本語、英語、韓国語、中国語にて発信しています。

藤枝市の魅力を記事で発信してくれる人を募集しています～



●家康にちなんだグッズ制作と販売

藤枝市の白子にゆかりのある「小川孫三」と「徳川家康」のキャラクターをキーホルダーとTシャツにしました。また徳川家康ゆかり城(寺)を御朱印に見立てた石版「藤枝御照印」を制作。石版はふるさと納税にも出展中です。



●藤枝市制70周年の市民劇の運営

藤枝市政70周年サッカーの街100周年の記念事業で観光協会企画「みんなでつくる演劇」の運営に参加。



藤枝ノ演劇祭5 (2026/2/28.3/1)

毎年藤枝ノ演劇祭を開催しています。次回で5回目！毎回色々なカンパニーが藤枝に来て魅力あるパフォーマンスを披露しています。

<https://theatre-fujieda.net/>

2026年4月頃よりホームページ制作・Webシステム構築の事業を立ち上げます。ご依頼お待ちしております～

<https://nexa-web.jp/>

【活動の様子を発信しているSNS】Facebook:Toshiaki Matsugae
【メールアドレス】t.matsugae@gmail.com

～蹴球都市藤枝市をスポーツツーリズムでもっと賑わせたい～

基本情報



【名前】松ヶ枝利昭
【年代】70代
【出身地】香川県高松市
【転出元】千葉県船橋市
【前職】
①東京海上日動45年間
②障害者支援機構3年間
【活動時期】R5.4～R8.3

協力隊になったきっかけ（動機）

70才になり人生が終活年代に入りました。残された健康余命は10年。生き甲斐をもって、世の為・人の為＝自分の為に、精一杯生きたいと考えてやりたいこと・やれることを探したらこの制度と出会いチャレンジしました。

市町からのミッション

- ①スポーツツーリズムによる賑わいの創出
- ②スポーツを活かした地域間交流活動
- ③市観光協会との連携及び地域イベント企画・運営

移住先での暮らしの様子(よかった点、こまっていること等)

藤枝市の人口は約14万人、まさに「程よい都会で程よい田舎」という表現がぴったりの町です。物質面文化面での不足不満は全くありません。海はありませんが河川と丘等の自然と気候にはとても恵まれています。暮らすには、ほぼベストと満足しています。単身赴任なので不便さと寂しさはありますが自ら選んだ暮らしなのでたっぷり楽しんでます。

現在の活動に対する想い(よかった点、がんばりたいこと等)

まちの活性化に「よそもの」「ばかもの」「わかもの」の3要素が欠かせないとされます。始めは新鮮に歓迎して受け入れてくれても、いざ改革となって權益を侵される心配がしたら拒否反応がでます。世の常ですね。行政の覚悟とやる気と愛情ある伴走が隊員を育てまちを良くします。残り3か月頑張ります。

活動内容

【目的】観光×スポーツで藤枝を盛り上げる!!
【スローガン】「サッカーのまち100周年」その誇りを未来へ藤枝MYFCと共に!
【戦略】日本中のサッカーファンに、サッカーのまち100周年の藤枝市に関心をもっていただき「訪れたいまち・巡りたいまち」となる!!

①蹴球都市藤枝の核「J2藤枝MYFC」支援で藤枝市をより賑わす

- ・ホームタウン、クラブ、市、サッカー協会、商工業者との関係推進
- ・地域住民から更に親しまれるためのPR活動
- ・桜、藤まつり等でのMYFC応援ブースの企画・運営
- ・ホーム・アウェイの集客推進
- ・ホームサポーター支援

②観光協会支援

- ・ホームゲーム開催時後の駅前通りでの相手チーム応援の幟旗設置等のおもてなし
- ・駅前商店街やホテル等の誘客支援

③アウェイツーリズムの推進

- ・アウェイスタジアムに向いての藤枝でのゲーム時の宿泊補助等PRチラシの手交と誘客活動
- ・おもてなしSNSの発信
- ・アウェイチームサポーターとの交流
- ・ホームゲーム時のビジターゲートでのおもてなしチラシの手交

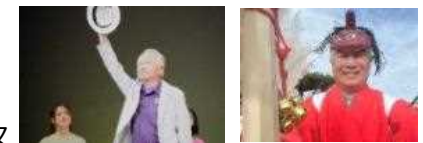
④蹴球都市藤枝市を盛り上げる会

- ・市の産官学民の関係者有志に集まっていただき、情報交換と意見交換による関係強化



その他のホームタウン活動(自称:何でも盛り上げ隊)

- ・夢拾い活動(駅前のゴミ拾い) ・市制70周年市民劇出演
- ・玉露の里を守ろう活動 ・川根本町ギネス耐久サッカー支援
- ・藤枝に田んぼアートを創ろう活動
- ・藤枝のキャンプ場を盛り上げよう活動 ・天狗行列参加 等々



【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
 Instagram : @go.go.tamayura
 【メールアドレス】 y0candy39@gmail.com

～ たまゆらの魅力をたくさんのひとへ ～

基本情報



【名 前】 杉本 結
 【年 代】 20代
 【出身地】
 静岡県静岡市
 【転出元】
 静岡県静岡市
 【前 職】
 製造業
 【活動時期】
 R7.12～R10.12

協力隊になったきっかけ（動機）

信用金庫に勤めていた時、営業で岡部地区を担当になりました。その時に朝比奈や玉取を知り、自然豊かでとても過ごしやすい地域だと感じました。また、住んでいる方々もとても優しく穏やかなかたが多く、もっとたくさんの人にこの場所を知ってほしいと思い応募しました。

市町からのミッション

朝比奈活性化施設「たまゆら」
 及び玉取地区の活性化

移住先での暮らしの様子(よかった点、こまっていること等)

まだ移住して1か月も経っていないため、正直わかりません。

現在の活動に対する想い(よかった点、がんばりたいこと等)

複数の隊員さんと交流できて、一緒にイベントを計画して実行したり、地域の方との交流だったりとても楽しいと感じています。もっと主体的に動き多くの人を巻き込みたくさんの笑顔がたまゆらを中心にあふれるようにしていきたいです。

活動内容

●パンフレット作成

たまゆらの旧パンフレットを新パンフレットに作成し、たくさんの人に知ってもらえるようにする。配ることやお店においてもらうように活動をする。

●「たまゆら」の活性化

「たまゆら」には、大ホールや和室、調理室などの設備が整っており、市内の方はもちろん、市外・県外の方にも気軽に利用していただける交流施設としての可能性があります。様々なイベントや体験型の取り組みを通して、人が集い、つながりが生まれる場として、継続的な活性化を目指します。



PR

現在バスケットをしています。
 スポーツが好きなので是非いろんなスポーツやりたいです。お声掛けください！
 銀行にいたこともあり、資産運用のことなど得意分野です。

たまゆらでもいろいろなイベントを開催したいと思っています。一緒にイベントやってくれる方やこんなイベントやりたいなどお声掛けください。



～地域の資源を耕す、リノベーションまちづくり～

基本情報



【名前】 古川 竜翔
【年代】 20代
【出身地】
静岡県藤枝市
【転出元】
静岡県浜松市
【前職】
大学生
【活動時期】
R7.10.06～R10.10.05

協力隊になったきっかけ（動機）

大学で建築について学び、ゼミ活動を通してまちづくりについて興味を持ちました。学んできた経験と行動力でぜひまちの力になれたらと思い志願いたしました。

市町からのミッション

リノベーションによるまちづくりの推進
新規イベントや中心市街地の活性化に資する事業の企画・立案
SNSによる情報発信

移住先での暮らしの様子(よかった点、こまっていること等)

事業者、地域住民、同じ地域おこし協力隊の方々など多くの方々とお会いことができ、日々刺激をもらっています。藤枝市は多くの隊員が任期中であることから、わからないことがあれば様々な助言をいただけるので助かっています。

現在の活動に対する想い(よかった点、がんばりたいこと等)

地域おこし協力隊としての活動を通して、多くのことを「自分ごと化」していくとともに、普段まちの中に潜んでいる魅力を多くの方々に見つけてもらえるような活動ができるよう心がけていきたいです。そして、まちづくりの一端を担えるように精進していきます。

活動内容

●中心市街地におけるイベントの参加

まちづくり会社が関係するイベントへ一緒に参加させていただき、支援の一環として運営の手伝い・出店をしています。また、DIYワークショップなどリノベーションに関するイベントにも参加しています。現在では多くのイベントを経験し、私自身が主催をするイベントの企画を立てている段階です。



●街歩き

街を歩き地域の方々とコミュニケーションを取っています。また、直接目で見ることで地域の資源を見つけられています。右の写真は、廃棄予定だった本屋の什器です。こういった資源などを使ったまちづくりに資する計画も構想中です。



●リノベーションまちづくり

日々多くのことを体験する中で、リノベーションまちづくりの先進地に足を運ぶことがあります。地域の特性を活かしたまちづくり、一人ひとりが様々なことを仕掛けるまちづくりなどいろいろな種類があり、藤枝市で行うリノベーションまちづくりを日々模索中です。



多くの方々に関わっていただけたいと思います！ぜひ気軽に声をかけてください！

現在、地域おこし協力隊になって3か月。様々なタイミングが重なり、貴重な経験をいただいています。活動内容に記載させていただいた通り、多くのことを企画し、構想を立てている段階です。しかし、ひとつひとつが疎かにならないように、活動を行ってよかったと多くの方々に思ってもらえるようなまちづくりを目指していきます。また、県内の地域おこし協力隊の方々との壁を越えた活動ができたらと思っています。ぜひ気軽に声をかけてください！

【メールアドレス】
ryh.tsuji@gmail.com

～藤枝市の魅力を発信し、移住者を増やす～

基本情報



【名前】 辻 良平
 【年代】 30代
 【出身地】 滋賀県大津市
 【転出元】 東京都豊島区
 【前職】 営業
 【活動時期】 R5.3～R8.2

協力隊になったきっかけ（動機）

結婚・出産を機に自然が近くて一定の交通の便があるとことを検討している中で友人が藤枝市の地域おこし協力隊をやっていることがわかり、話をきいてやってみたいと思いました！

市町からのミッション

藤枝市の魅力をオンライン・オフライン問わず様々なチャネルを活用して発信して興味を持ってもらい、特にファミリー層の移住者数を増やすことがミッションです。

移住先での暮らしの様子(よかった点、こまっていること等)

藤枝市は静岡県中部の真ん中に位置しているため、藤枝だけでなく周りの市町の海も川も山も街も新幹線も飛行機も全部活用できるのが非常に便利で楽しませてもらっています。ビンなどのゴミを簡単に捨てられないのが唯一の困りごとです笑

現在の活動に対する想い(よかった点、がんばりたいこと等)

任期終了まで残り僅かではありますが、活動を通じて市町と移住検討者それぞれの立場から「移住」をいうものをたくさん知ることができました。移住者を増やすということ簡単ではないですがやり甲斐は非常に大きかったと思っています。

活動内容

●オンライン移住相談

市役所への問い合わせ対応や移住スカウトサービスを使った記事投稿、スカウティングなどから個別のオンライン移住相談会を実施しています。イベントの告知だけでなく藤枝の魅力を発信したり、オンライン会議以外にもテキストや電話での個別相談を実施しています。



●移住イベント

主に東京有楽町のふるさと回帰センターで実施されている、しずおかぐらし相談会やしずおかまるごと移住フェアへの参加をしています。事前に参加者が増えるように各種チャネルで告知をしたり、これまで接点のある人へ参加を促したりしています。参加後はフォローの対応も実施しています。



●移住体験バスツアー

年に2回、藤枝市独自の約半日をかけた移住体験バスツアーの企画と実行をしています。蓮華寺池公園などの観光スポットから空き家リノベ物件の紹介、先輩移住者との交流やさらに転職コーディネーターのご紹介など、一気に移住検討に必要な材料を提供しています。検討の温度感が高い人が多いので移住実績も出ています。



ITやビジネスに関わることならお手伝いできます

これまでの社会人経験としてIT企業での期間が長くかつエンジニアの経験も少しあるので、いわゆるDXとかAI活用とかそういったこと全般ご相談に乗ることが可能です。また事業会社での就業経験がメインになるため、既存事業のグロースや新規事業創出、数人～数十人までのマネジメントなど、バックヤード系以外の仕事は色々経験してきました。ITとかAIを活用して何か効率化したい、独立したいけどビジネスの相談相手がほしい、などあればいつでもご連絡ください。

～ 食と農を活かした仮宿エリアのまちづくり ～

基本情報



【名 前】 藤本裕介
 【年 代】 40代
 【出身地】 静岡県焼津市
 【転出元】 静岡県静岡市
 【前 職】 地元放送局
 【活動時期】 R6.10～R9.9

協力隊になったきっかけ（動機）

地元放送局に19年務める中で、大型イベントの企画や運営・地域課題解決型コミュニティの運営等を経験。これまで培ったスキルを活かして地方創生に関する仕事に取り組みたいと考え、地域おこし協力隊を志しました。

市町からのミッション

- ・農作物を活用した6次産業化の推進
- ・地域の魅力を活かした事業の企画・実施による交流人口の拡大
- ・多様な層に向けて、仮宿から本市の魅力を発信(PR)

移住先での暮らしの様子(よかった点、こまっていること等)

藤枝市は豊かな食や自然が溢れ、とても質の高い生活を送れる場所です。一方、まだまだ魅力の発信が足りていないとも感じています。この地の魅力をもっともっと発信して、活気あふれる地域づくりに貢献したいと思っています。

現在の活動に対する想い(よかった点、がんばりたいこと等)

とても魅力的な資源を持つエリアである反面、まだまだ地域の魅力の発信が足りていないと感じています。イベントや情報発信を通じて、より多くの方にこの地域の魅力を体感していただきたいです。

活動内容

●6次産業化事業化の推進

仮宿地区を中心に市内の農作物を活用し、6次産業化による新たな商品の企画・開発を今後進めていく予定です。



●交流人口の拡大

仮宿地区の飲食店や農作物生産者、地元のオリーブ協議会、大学研究フィールド、オリーブ園運営者と協力し、イベント等の交流事業の企画・運営を今後行っていく予定です。

(イベント実績)

- ・オリーブ畑内でテントサウナ&バレルサウナ体験



●仮宿地区のPR

前職時代の人脈やSNS、その他情報発信媒体を活用し、上記の活動の発信を行い、仮宿地区のPRをしていきます。

笑顔あふれる場づくりが得意です！

得意分野はイベントの企画や運営です。

イベントに参加してくれた方々の笑顔を見ることが大好きで、これまでいくつかのイベントの企画、運営、サポートをしてきました。

お困りごとの相談も大歓迎。これまでの経験やネットワークを活かして、解決に向けたアドバイス、サポートにももっと取り組んでいきたいと思っています。

藤枝のことではなにかお困りごとがあれば、お気軽にお声がけください。

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
Instagram @phyto_ami_lab0

～てあみ・ハーブ・アロマを通じた、地域交流の場づくり～

基本情報



【名前】 木原亮子
【年代】 50代
【出身地】 群馬県前橋市
【転出元】 神奈川県横浜市
【前職】 臨床検査技師
【活動時期】 R5.7～R8.7

協力隊になったきっかけ（動機）

ハーブ栽培を行うための移住先として藤枝市を選びました。移住を検討する中で地域おこし協力隊の募集を知り、自分の得意分野である手編みやハーブ・アロマを通じて、人と人をつなぐ活動ができたかと思えました。

市町からのミッション

中心市街地の活性化

移住先での暮らしの様子(よかった点、こまっていること等)

地域の方々が温かく声をかけてくださる機会が多いです。活動を通じて顔見知りが増え、少しずつですが、地域に溶け込んでいると感じます。また、ハーブ栽培にも適した環境だと思えます。

現在の活動に対する想い(よかった点、がんばりたいこと等)

特別な知識や経験がなくても参加でき、ものづくりを通して人と人のつながりが生まれ、手編みやアロマをきっかけに会話が広がっていく様子を見られることが、大きなやりがいです。今後は地域の店舗などと連携し、継続的に人の流れが生まれる仕組みづくりに取り組みたいです。

活動内容

●てあみらば

これまでに3回（各回約1か月）開催しました。駅南図書館に所蔵されている手あみに関する本の中から作品を選び、実際に製作した作品を貸出し本とともに展示し、手あみに興味を持つきっかけづくりを行いました。あわせて手あみ講座も開催し、初心者から経験者まで幅広い世代の参加がありました。



●ハーブ・アロマのワークショップ

駅周辺の店舗をお借りし、ハーブ・アロマのワークショップを開催しました。参加者が好みの香りを選び、アロマオイルをブレンドして、スプレーやバーム、バスソルトなどを作りました。また、自分で栽培・収穫し、乾燥させたドライハーブを使って、オリジナルのブレンドハーブティーを作るワークショップも実施しました。



●マルシェ

藤枝に移住してから知り合った仲間とともに、マルシェを2回開催しました。当日は多くの方に立ち寄っていただき、会話や交流を楽しんでいただく場となりました。会場では手編み作品の販売や、私作のブレンドハーブティーの試飲を行い、香りや味を通じてハーブの魅力を知ってもらう機会となりました。



任期終了後も藤枝に残ります

任期終了まで残り約7か月となりました。退任後も藤枝に住み続け、これまで築いてきたご縁を大切にしながら、ハーブ栽培を中心にのんびりとした暮らしを続けていきたいと考えています。

～ 文化芸能で人がつながる商店街を ～

基本情報



【名前】 松浦伸考
 【年代】 40代
 【出身地】 神奈川県横浜市
 【転出元】 東京都渋谷区
 【前職】 鍼灸マッサージ師
 【活動時期】 R5.10～R8.9

協力隊になったきっかけ (動機)

鍼灸マッサージ師をしている中で、心身の健康には人とのつながりも大切と思う様になりました。その後、東京で地域活動をしていたところ、今回のご縁に繋がりました。

市町からのミッション

商店街の活性化

移住先での暮らしの様子(よかった点、こまっていること等)

まちにゆとりがあり生活しやすいです。しかし、活動に注力し過ぎていてあまり暮らしを楽しめていないことに最近気がつきました。また心に余裕を持っていきたいところです。

現在の活動に対する想い(よかった点、がんばりたいこと等)

文化芸能を中心に人がつながる商店街ができていたら面白くなると思います。幸いにも一部商店街では、劇場や音楽施設、新しいお店ができてきています。楽しく繋がる居場所が増えれば自然と人が集まるようになり、商店街も活気づいてくるものと思います。その支援がきるよう活動しています。

活動内容

● イベント企画・主催・補助

商店街で行われるイベントのお手伝いをしたり、約2ヶ月に一度イベントを主催したりしています。主催の際は、商店街の空き地をお借りして、飲食、ワークショップ、癒しの露店が集うマルシェを行い、商店街に足を運んでもらうよう試みしています。



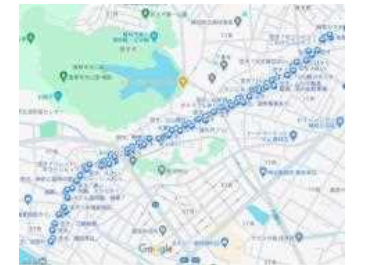
● 情報発信

商店街の店舗を取材してコラムを作成。他隊員と運営するホームページに情報を掲載して、店舗の魅力を発信しています。
 Life&Tripふじえだ (<https://fujieda-life-trip.com/>)



● 空き店舗調査・御用聞き

- ・ 空き店舗再活用に向けた空き店舗の調査を行っています。
- ・ 商店街の店舗の困りごと等を伺い、店舗の魅力向上に繋がるお手伝いをしています。



退任後に向けて

健康には、頭で考えることと同じくらい身体で感じる事が大切になると思います。その身体感覚がついてくる文化芸能がまちにあることで、生活に豊かさと健やかさをもたらしてくれるように思います。退任後は、また個人として、個々の身体感覚を育む活動をしていきたいです。そのことでまちや人に貢献していけたらと思います。

～ “サッカーを核としたまちづくり” の推進 ～

基本情報

【名前】 神尾 彩乃
 【年代】 20代
 【出身地】 静岡県三島市
 【転出元】 静岡県静岡市
 【前職】 放課後等児童デイサービス
 【活動時期】 R6.4～R9.3



協力隊になったきっかけ（動機）

幼少期より始めたサッカーの経験を活かし、幅広い視野で業務に取り組んでいきたいと思い、協力隊を希望しました。

市町からのミッション

- ①藤枝独自の女子サッカーの環境づくりに関すること
- ②藤枝MYFCとの協働による地域活性化に関すること
- ③その他、サッカーを核としたまちづくりに関すること

移住先での暮らしの様子(よかった点、こまっていること等)

サッカーのまちとして100年歴史がある藤枝では、サッカー専用スタジアムがあり、週末はJリーグに関わらず、子どもから大人まで様々なカテゴリーの試合が週末必ず行われており、週末はたくさんの方がサッカー観戦をするのが日課になっています

現在の活動に対する想い(よかった点、がんばりたいこと等)

サッカーは年齢や立場を超えて人と人を繋いでいく力があり、その力を活かしていけば、もっと多くの方がサッカーを好きになっていき、地域を活性化していけると感じています。21年間のサッカー経験やイベントや企画を通して、藤枝市や静岡県をもっと盛り上げていきたいです。

活動内容

●藤枝なでしこ広場

毎月第1・3土曜日 8時00分～9時00分 女性対象のサッカー教室を開催しています。女子サッカーの普及を目的とし、きっかけづくりや誰でも楽しく身体を動かせるメニューを考え活動しています。



●藤枝なでしこアカデミー

毎月第1木曜日の夜にサッカー経験のある小学校4年生～中学校3年生の女子選手を対象として開催しています。自分で考え、行動し、女性アスリートとして活動できる選手の育成を目的としています。基礎技術の向上や体力の向上だけでなく、育成年代に欠かせない食事トレーニング、仲間との関わりや人としての成長も大切にして取り組んでいます。



●スタジアムフォトサービス

スタジアムのある街ならではの魅力を活かし、結婚式や成人式の前撮り撮影をスタジアムでできるサービスを立ち上げました。スタジアムの新しい価値を生み出すとともに、サッカーファンが“サッカーと共に歩む人生”を記録し、残していける場所を目指しています。



“サッカーを好きになる入口づくり”をお手伝い！

サッカーを通して人と地域が繋がる企画や体験づくりに挑戦しています！スタジアムフォトサービスをはじめ、撮影・企画・講和・イベントなど、“サッカーを好きになる入口づくり”をお手伝いしています！

Instagramでは、サッカーの魅力や活動の様子を発信中です！フォローしていただけましたら嬉しいです！☆

【活動の様子を発信しているSNS】
https://www.instagram.com/fujieda_kaorin2525/
 【メールアドレス】chankao1218@gmail.com

～ “サッカーを核としたまちづくり” の推進 ～

基本情報



【名前】 土屋 香緒里
 【年代】 20代
 【出身地】 静岡県沼津市
 【転出元】 静岡県静岡市
 【前職】 保育士
 【活動時期】 R5.4～R8.3

協力隊になったきっかけ（動機）

幼少期よりサッカーを始め、サッカーや保育士の経験を活かし、幅広い視野で業務に取り組んでいきたいと思い、協力隊を希望しました。

市町からのミッション

- ①藤枝独自の女子サッカーの環境づくりに関する事
- ②藤枝MYFCとの協働による地域活性化に関する事
- ③その他、サッカーを核としたまちづくりに関する事

移住先での暮らしの様子(よかった点、こまっていること等)

程よい田舎感があり、なじみやすく暮らしやすい。また、飲食店も豊富で、自然にも囲まれていて住みやすい。
 困るほどではないが自家用車がないと不便…

現在の活動に対する想い(よかった点、がんばりたいこと等)

自分の武器である“サッカー”経験を活かし、普及や育成を中心に活動し、指導実践する機会が多かったことで、より自身のキャリアアップにも繋がった。また、サッカーを通して様々なカテゴリーの選手や他国の方とも交流ができて良かった。

活動内容

●藤枝なでしこ広場

毎月第1・3土曜日 8時00分～9時00分
 (藤枝総合運動公園人工芝広場)
 女性対象のサッカー教室を開催しています。女子サッカーの普及を目的とし、きっかけづくりや誰でも楽しく身体を動かせるメニューを考え活動しています。



●藤枝なでしこアカデミー

毎月第1木曜日 19:00～20:00
 (藤枝総合運動公園サッカー場)
 小学校4年生～中学校3年生の女子選手を対象のサッカー教室を開催しています。自分で考え、行動し、女性アスリートとして活動できる選手の育成を目的とし、スキルアップだけでなく、育成年代に必要な食事トレーニングも行っています。



●巡回広場

藤枝市内の幼稚園・保育園・こども園に伺い、園の保育時間にサッカーの楽しさを伝えたり、サッカーを体験できる場を設け、サッカーを始めるきっかけ作りを行っている。



3年間の学びを活かして様々なことにチャレンジします！

2024年と2025年の約2年間では、保育士経験を活かし、藤枝MYFCのホームゲーム時に託児室を設置し、運営。小さなお子さんがいる方でも気軽にスタジアムへ足を運び現地でのサッカー体験を楽しめるような環境作りを行いました。
 任期中には新たな資格も取得でき、また3年間で学んだ知識や経験を活かして、任期後も“自分らしく”様々なことにチャレンジし頑張っていきます！

【活動の様子を発信しているSNS】

<https://www.instagram.com/yukkoshimamura/>

～ “サッカーを核としたまちづくり” の推進 ～

基本情報



【名前】 島村 友妃子
 【年代】 20代
 【出身地】 静岡県藤枝市
 【転出元】 静岡県静岡市
 【前職】 不動産会社勤務
 【活動時期】 R7.5～R10.3

協力隊になったきっかけ（動機）

幼少期より始めたサッカーの経験と様々な業種で培ったコミュニケーション能力を生かし、サッカーで地域貢献をしたいと考え、協力隊を志しました。

市町からのミッション

- ①藤枝独自の女子サッカーの環境づくりに関する事
- ②藤枝MYFCとの協働による地域活性化に関する事
- ③その他、サッカーを核としたまちづくりに関する事

移住先での暮らしの様子(よかった点、こまっていること等)

藤枝市での暮らしは人の温かさを日々感じられる毎日です。また、"サッカーのまち藤枝"ならではの魅力として、大好きなサッカーを身近に感じられることも、この地域で暮らす楽しみのひとつです。試合やイベントを通して人とのつながりが生まれ、日常の中にサッカーがある暮らしを実感しています。自然も豊かで空気が美味しく、心地よい環境の中で穏やかな暮らしを送ることができています。

現在の活動に対する想い(よかった点、がんばりたいこと等)

活動を通して、子どもから大人まで幅広い世代の方々とサッカーを通じてつながれることに大きなやりがいを感じています。今後は、今よりもっと多くの人にサッカーやスポーツの楽しさを知ってもらい、藤枝市の「蹴球都市」としての魅力を上げていきたいです。また、女子サッカーの魅力も大切にしながら、誰もが気軽に関われる、明るく楽しいスポーツの輪を広げていけたらと思っています。

活動内容

●藤枝なでしこ広場

毎月第1・3土曜日 8時00分～9時00分 女性対象のサッカー教室を開催しています。女子サッカーの普及を目的とし、きっかけづくりや誰でも楽しく身体を動かせるメニューを考え活動しています。



●藤枝なでしこアカデミー

毎月第1木曜日の夜にサッカー経験のある小学校4年生～中学校3年生の女子選手を対象として開催しています。自分で考え、行動し、女性アスリートとして活動できる選手の育成を目的としています。基礎技術の向上や体力の向上だけでなく、育成年代に欠かせない食事トレーニング、仲間との関わりや人としての成長も大切にして取り組んでいます。



●巡回広場

市内の幼稚園・保育園・こども園を訪問し、子どもたちがサッカーに親しむ機会をつくる訪問型サッカー教室です。ボールに触れ、体を動かす楽しさを感じながら、サッカーを身近に感じてもらうことを目的としています。経験の有無にかかわらず、誰でも安心して参加でき、遊びを中心とした内容で実施しています。



サッカーイベント開催してます！

藤枝市内で、サッカーイベントを企画し開催しています。サッカーをやったことがない子も、サッカーが大好きな子も、みんなで一緒に楽しくボールを蹴りましょう！ぜひ気軽に参加して、サッカーの楽しさを体感してみてください！詳しくは、私のInstagram (@yukkoshimamura_) や藤枝なでしこシャインプロジェクトInstagram (@fujieda_nadeshiko) をチェックしてみてください！

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
<https://www.instagram.com/tom1sbs/>
 【メールアドレス】Tomiyama.htm1@gmail.com

～ スポーツの力と新しい視点で、藤枝の魅力を再発見 ～

基本情報



【名前】 富山 瞳
 【年代】 30代
 【出身地】
 神奈川県横浜市
 【転出元】
 静岡県静岡市
 【前職】
 販売員
 【活動時期】
 R7.4～R10.3

協力隊になったきっかけ（動機）

4歳からサッカーを始め、日本・スペインリーグで競技に打ち込んできました。指導者として静岡へ移住後、活動の幅を広げたいと考えていた際に協力隊の募集に出会いました。自身の経験を活かし、新たな挑戦をしたく応募を決めました。

市町からのミッション

メインミッションは【観光振興】単なる名所案内ではなく、サッカーの知見を活かしたスポーツツーリズムの推進や、SNSを活用したプロモーション、そして地域の皆さんと一緒に新しい「体験コンテンツ」を掘り起こしていきます。

移住先での暮らしの様子（よかった点、こまっていること等）

高校時代過ごした場所ですが、改めて住んでみると中心街の利便性と、少し車を走らせれば出会える豊かな自然の近さが藤枝の魅力に気づきます。元サッカー選手であることを伝えるとすぐに打ち解けられるのが「サッカーのまち」ならではの良さだと実感しています。

現在の活動に対する想い（よかった点、がんばりたいこと等）

「観光」とは遠くへ行くことだけではないと考えています。市内に住む方が休日に中山間地域へ行くことも立派な観光です。まだ知られていない藤枝の「日常の中の非日常」を掘り起こし地域の方々と交流しながら、市民の皆さんが地元の魅力を再発見できるような流れを作りたいです。

活動内容

● SNSによるアウェイツーリズムの推進

藤枝市観光協会のX運用を担当し、藤枝MYFCの試合に訪れるアウェイサポーターへ向けた情報を戦略的に発信しました。特に「朝ラー」や「サッカーエース最中」などの地元名物を掛け合わせて紹介することで、市内消費の促進と店舗の売上向上、サポーターの満足度向上を同時に実現しました。



● 体験型コンテンツの開発と発掘

夏に実施された「旅するブカツ」ではサッカーエース最中の「館詰め体験」を企画。子供だけでなく保護者の方にも大変好評で、地元の食文化が持つ体験コンテンツとしての可能性を確認しました。現在は、藤枝にまだ眠っている未知の地域資源を発掘し、新たな体験メニューの開発に取り組んでいます。



● アスリートインレジデンスの構想と拠点づくり

スポーツ版アーティストインレジデンスとして、アスリートを藤枝に誘致し、地域住民や子どもたちと交流する仕組みを構想中。そのための「箱」として中山間地域の古民家再生・宿泊施設化も検討中。スポーツで繋がる暖かい輪を広げ、次世代の夢を育む拠点づくりを目指します。



できない理由より、どうやるか。アスリート思考で挑む地域おこし

活動1年目。元プロサッカー選手として、今の自分にしかできない「地域おこし」を模索中です。正解があるわけではないけれど持ち前の「逆境に負けない力」と「行動力」を活かして、まずは何事も全力でこの街の日常を味わい、向き合うことから始めています。現在は、スポーツや古民家を通じて人が繋がれる場所づくりが目標です。一人で考えるより、誰かの「やってみたい」が混ざり合う瞬間にワクワクします。皆さんと一緒に面白い仕掛けを形にしていけたら嬉しいです！

基本情報



【年 齢】
32歳
【出身地】
岩手県奥州市
【転出元】
神奈川県座間市
【前 職】
柔道整復師、保育士
放課後児童支援員
【活動時期】
R7.1～R9.12

協力隊に応募したきっかけ

藤枝市の山間地域は新鮮なお水と澄んだ空気、山々に囲まれた景観が故郷に似ており、足を運ぶ度に魅了されました。「ほどよく、都会。ほどよく、田舎。」である藤枝市は子どもを育てていく中でとても環境が良く、静岡県内でも屈指の有機農業先進市です。このような素晴らしい取り組みを行っている市をさらに盛り上げていきたいと思い、この度応募させていただきました。

今後の抱負・任期後の目標

私が毎日楽しく隊員活動できているのは、地域の方の温かい支えにより、充実した活動ができているからです。3年間という短い活動期間ではありますが、地元の方に恩返しできるように、日々の活動に一生懸命取り組んで参りたいです。任期後は、柔道整復師の資格を活かして地域に根差した接骨院を開業し、地域の方々が元気に健康でいきいきと毎日を過ごせるよう、地域に貢献して参りたいです。

活動内容

●朝比奈地区の活性化

朝比奈地域には、非常に多くの特産品や伝統行事、地域資源があります。魅力あふれる地域資源を一人でも多くの方々に知っていただけるよう、農山村活性化施設である「たまゆら」で自然体験型イベントを開催しました。また、朝比奈は日本三大玉露の産地です。朝比奈玉露を後世へ承継し、たくさんの方々に知ってもらえるよう玉露テラスを活用したイベントを企画して参りたいです。



●朝比奈ちまきの新商品開発

朝比奈ちまきは、全国に2つしかない献上ちまきの1つです。朝比奈に居を構えていた今川家の家臣である朝比奈一族が戦の度にちまきを作って出陣し、全戦全勝であったとされている縁起物。全国的に珍しいこのちまきを後世に継承し、藤枝市が誇るお土産品として全国に広く知っていただけるよう新商品開発をして参りたいです。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(メールアドレス(個人)) syogo.tamate@gmail.com
(電話番号(個人)) 090-7067-1492

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
<https://www.instagram.com/tamate.syogo?igsh=Mm94NTQya3N3cnRv>

基本情報



【年齢】
64歳
【出身地】
東京都台東区根岸
【転出元】
神奈川県三浦郡葉山町一色
【前職】
広告クリエイティブ
エージェンシー経営
【活動時期】
R6.4～R9.3

協力隊に応募したきっかけ

静岡移住フェアで、地域おこし協力隊の存在を知り、藤枝市の陶芸村構想のミッションに出会いました。

今後の抱負・任期後の目標

地域ブランドづくりをテーマとする非営利団体を立ち上げ10年越しにブランド構築をアシストしてゆきます。

活動内容

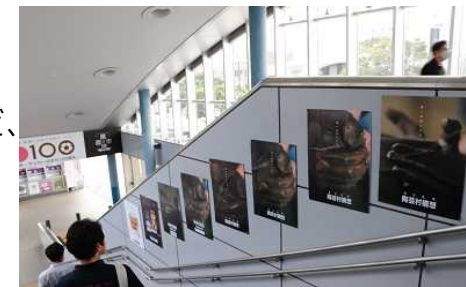
「ふじえだ陶芸村構想」のブランド構築

藤枝市が推進している「ふじえだ陶芸村構想」に基づき「新しい創作」の地域ブランド確立に向けて、コンセプト案の構築やターゲットリサーチに取り組んでいます。



「ふじえだ陶芸村構想」のブランドコミュニケーション

陶芸村構想の認知向上を図るため、これまでの職務経験を活かし、ポスターによる駅ジャックなど、広告・宣伝活動を行っています。また、転出元の葉山町で展開している葉山女子旅とリンクさせて、ブランドPR活動を展開していきます。



アートプロジェクトの推進

「アートの力を活かした地域づくり」に対する地域理解を深めると同時に、新たな変化を受け入れる 地域土壌をつくるため、アーティスト・イン・レジデンスを実施しています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(メールアドレス) rebelad3@gmail.com (個人)
(電話番号) 090-3232-5079 (携帯)

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

Instagram : burgmantagata

X : TgatataTomoyuki

Facebook : tomoyuki.tagata3

基本情報



【名前】 田形 友幸
 【年代】 50代
 【出身地】 静岡県牧之原市
 【転出元】 東京都西東京市
 【前職】 デザイン業
 【活動時期】 R元.9～R4.
 R元.9～R4.

協力隊になったきっかけ（動機）

藤枝市には実家もあり、青春時代を過ごした思い出深いまちです。子どもの教育面などからもUターンを考えていたこともあり、迷わず応募させていただきました。

市町からのミッション（協力隊時代）

「藤枝駅前の賑わい創出」がメインミッションで、駅前イベントの企画運営、飲食店と連携したメニュー開発、シェアサイクルツアーの企画、イベントポスターデザインなどを行いました。

協力隊時代を振り返って（良かった点、困った点）

協力隊の肩書は「興味ある人材に会えるフリーパス」。日々、ご縁の拡大を実感する中、出会いにより活動の選択肢が増え、自身のスキルアップにつながりました。行政の仕組みや考え方を理解できるまでは大変でしたが、今となっては、官民それぞれの立場からの視線が養え、よかったです。

県内で活動する現役協力隊員に向けて ひとこと

個人でできることには限界があり、地域の皆さんの応援は協力隊活動に必須。応援いただくためにも、自身の「キャラクター」をアピールすることが大切です。あなたの個性や武器をわかりやすく発信し続けましょう。

任期中の活動内容

●「ハンバーグの専門家」として自分にしかできない取り組みを「Fujieda Burg Innovation～新しいハンバーグのカタチ」、通称「FBI」と題し、藤枝市内の飲食店と個性的なハンバーグの開発や、魅力的なハンバーグの発掘に取り組み、お店の方とのメディア出演や商品開発、イベントに取り組みました。イベントについては、企画やメニュー開発はもちろん、ポスターやチラシのデザイン、掲示、配布、当日の進行まですべてを手掛けました。



現在の活動内容

●引き続き、「藤枝ファースト」で

藤枝駅前のコワーキングスペース「フジキチ」に個人事業主として「バーグマンCOMMUNICATIONS」を設立。デザインやメディアPRのスキルを生かしたコンサルティングやイベント企画、ハンバーグの専門家としてのメディア出演などに取り組んでいます。

現役時代は中心市街地活性化推進課にお世話になりましたが、現在は自身のオリジナルキャラクター「ハンバーグマのグーグー」を活用する形で、消費生活センターや環境政策課、保健センターなど、様々な課の啓発ポスターの作成やイベントの協業なども行っています。藤枝市の協力隊OBOGによる現役支援団体の会長や、藤枝地域活性化推進協議会(フジエボ)副会長も務め、地域イベントの運営にも携わっています。



ハンバーグ仲間募集中！

総務省発表の「ハンバーグ購入額」の日本一は静岡市！第2位は浜松市なんです(2025年2月発表データ)。2009年よりハンバーグによる地域活性化に取り組んできましたが、ようやく数字が伴って来ました。現在、「静岡ハンバーグ王国プロジェクト」のリーダーとして、県内各地の食材を用いたハンバーグやソースの開発にも取り組んでいます。ご興味ある方！ぜひお気軽にお声掛けください！

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

<https://ayumi-miracle.com>

insta:247ayumi Facebook:ayumi247 X:ayumi_nishina

基本情報



【名前】 仁科亜弓
【年代】 40代
【出身地】 静岡県静岡市
【転出元】 東京都港区
【前職】 作曲家
【活動時期】 R3.10～R5.9

協力隊になったきっかけ（動機）

大学時代から静岡と東京を行き来し、コロナ禍で関係が薄れたことを機に、音楽家の視点で地域貢献をしたいと考え、協力隊を志しました。

市町からのミッション（協力隊時代）

観光交流政策課と連携し、対話と交流を軸に、地域内外の人をつなぐ仕組みづくりや、関係人口の創出・ネットワーク形成に取り組ましました。

協力隊時代を振り返って（良かった点、困った点）

協力隊活動を通じ、分野や手法にとらわれない多様な試みに挑戦できたことは、大きな成果でした。地域の方一人ひとりの声に耳を傾け、交流を重ねる中で、多様な価値観や思いに触れ、地域の奥行きを実感する貴重な経験となりました。

県内で活動する現役協力隊員に向けて ひとこと

地域ごとに環境や役割は異なりますが、悩みや迷いも含め、対話を重ねることで次の一步は見えてきます。さまざまなつながりを力に、アイデアをつなぎ、受け止めあえる関係を育みながら、それぞれの活動を深めていってください。

任期中の活動内容

●音楽家の感性でつなぐ、地域と人、社会課題

文化芸術活動支援を軸に、さまざまな企画運営に携わりました。インスタレーション「草の上のピアノ」、クリエイターワークショップ、自治体PR動画制作、若手芸術家支援「シンガーソングライター養成講座」、子育て支援員コミュニティ「みんなで遊べばいいじゃ～ん」、藤枝クラフトビールまつり、買い物支援「お気持ち自転車」、旧車ミーティング、藤枝市地域おこし協力隊交流会の運営など、分野横断的な企画に携わりました。



現在の活動内容

●協力隊OBOGによる支援体制構築と地域活性化への取り組み

現役時代に立ち上げた事業に継続的に関与するとともに、藤枝市協力隊OBOGによる現役支援団体「HOME」および、しずおか地域おこし協力隊ネットワーク「しずく」の設立・運営を主導しています。ネットワーク事業においては、協力隊の活動支援や担当行政への支援、協力隊制度の認知向上および理解促進に取り組むほか、サポートデスクの運営、研修・フィールドワークの実施を通じて、現役隊員・OBOG・自治体をつなぐ関係構築を目指しています。あわせて、K-MIX主催SHIZUOKA LIVE UNITED 審査員として表現支援に携わるほか、「藤枝市旧市街地活性化にぎわい創出事業」の企画・運営を通じ、地域の持続的な活性化に取り組んでいます。



いつでも どこからでも

基本的には音楽家ですが、いまは話を聞くことが仕事になっています。最近では、しゃべっている時間の方が長めで、企画をデザインすることを楽しんでいます。刺激的なことも、おだやかなことも、どちらもバランスよく大好き。なんでもいいので、話しましょう。いつでも、どこからでも、声をかけてください。

牧之原市

<https://www.youtube.com/watch?v=PpTZQw30tiA>
<https://www.youtube.com/watch?v=z97Kmv0rqPc>
<https://www.city.makinohara.shizuoka.jp/site/tokyo2020/58622.html>
<https://www.moorealoha.com/events/2025-maps>
<https://surfmedia.jp/2026/01/27/kei-kobayashi-shizunami-surfcamp/>
https://www.instagram.com/p/DTo-TkcFA24/?img_index=8

～ 五輪レガシーを礎に米日交流推進・米国投資促進 ～

基本情報



【名 前】 ジョン・オオモリ・カーク
 【年 代】 60代
 【出身地・国籍】 米国カリフォルニア州ロサンゼルス日系アメリカ人3世
 【転出元】 東京都港区
 【前 職】 ウィブル証券(株) 代表取締役社長
 【活動時期】 R7.4～R10.3

協力隊になったきっかけ（動機）

2018年、東京五輪の準備でUSOPC(米国オリパラ委員会)代表駐在員として来日。本来の任務を超え、内閣官房のUSAホストタウン事業における調整を多数担う。牧之原市とUSAサーフィンの調印も立ち会い、大会後に杉本市長が掲げた『米日交流の五輪レガシー』に感銘を受け、外資金融機関勤務30年の人脈を活かし、米日を様々なアプローチで繋ぐ役目を運命と悟り、牧之原市の協力隊任務に手を上げた。

市町からのミッション

- ・海外アスリート(チームUSA等マリンスポーツ等)招聘等による沿岸部の賑わい創出
- ・まきのはらジュニアズアクションスポーツクラブの管理・運営(北海道インターナショナルスクール・東京アメリカンクラブとの教育/文化交流)
- ・金メダリストカリッサ・ムーア並びにムーア・アロハ財団等との青少年国際交流
- ・人脈ネットワークを活用し、牧之原茶業等の米国・海外販路拡大
- ・市内地域資源を活用した海外投資家からの融資の呼び込み

移住先での暮らしの様子（よかった点、こままっていること等）

【よかった点】毎朝、富士山と海から昇る太陽で目覚める洗練された環境。食材が新鮮で豊富、且つ手頃な値段。まさに食の「宝庫」である牧之原市。【こままっていること】国際基準のスピード感で動く私と、地域の穏やかな流れで進む感覚に温度差を感じる。そのような場合の選択と、どう最適に還元すべきなのかを度々悩む。

現在の活動に対する想い（よかった点、がんばりたいこと等）

【よかった点】市長のご教示をはじめ、『チーム牧之原』の協力が継続的にあり、信頼と尊敬の関係が守られていること。【がんばりたいこと】全てのミッション。

活動内容

●【東京アメリカンクラブで異文化国内国際交流】

2025年6月、まきのはらジュニアズアクションスポーツクラブの子供たちを、国内屈指の国際社交場『東京アメリカンクラブ麻布台』に招待した。様々な施設を備えた特別な国際空間で、クラブ館内の公用語は全て英語なので、様々な異文化の感覚に触れ、国内で国際的なソーシャル体験の機会を調整した。
 【公開情報参照】



●【第3回 金メダリスト交流キャンプ IN ハワイ】

2025年8月19日～23日の3泊5日「まきのはらジュニアズアクションスポーツクラブ」女子メンバー4名は、職員1名と私が引率しハワイ州ホノルル市へ渡航した。一行は、東京五輪金メダリストのカリッサ・ムーア選手が運営する「ムーア・アロハ財団」の女子ミニキャンプに参加し、年次の国際交流を行った。
 【公開情報参照】



●【Kei Kobayashi & Jon Omori コーチングキャンプ】

2026年1月16日から17日、ロスから Kei Kobayashi 選手を招致し、静波サーフスタジアムとサーボにて世界レベルのトレーニングキャンプを開催した。「まきのはらジュニアズアクションスポーツクラブ」のメンバーと下田中サーフィン部の計約 20名が参加し、単なるスポーツ指導を超え、LA 28に直結する様なプログラムを構築し参加メンバーに体験させた。
 【公開情報参照】



令和8年度活動予定メニュー

- 4月：北海道インターナショナルスクール Sir Schlosser と 杉本市長 MOU 締結式（国際教育連携 / NY staff Masa 渡日）
- 7月：東京アメリカンクラブでアメリカ独立記念日 July 4th 祝イベントに参加
- 8月：東京アメリカンクラブサマーキャンプ地として牧之原市でクラブメンバーとスポーツ文化交流
- 11月：第4回 ムーア・アロハ財団との国際交流キャンプ IN 牧之原
- 年度：牧之原茶の全米輸出：ハワイチャーター便立案、ホノルル拠点に全米へ流通させるスキームの構築。

川根本町

～水と森の番人の町 川根本町のエコツーリズムの推進～

基本情報



【名前】 藤田 昌永
 【年代】 30代
 【出身地】 静岡県榛原郡吉田町
 【転出元】 静岡県島田市
 【前職】 自営業（製造業）
 【活動時期】 R6.4～ 2年目

協力隊になったきっかけ（動機）

結婚、出産を経て「自然の広がる環境で生活、生計を立てていきたい」「山や川の自然環境を整える仕事に従事したい」そして「魅力ある人達が大勢集まっているこの町で一緒に活動していきたい」という気持ちから地域おこし協力隊に応募しました。

市町からのミッション

エコツーリズムの推進、体験型観光の提供や実施、地域散策等のガイド、SNSを使った情報発信

移住先での暮らしの様子（よかった点、こまっていること等）

25年の5月から古民家に住みはじめ、木の温もり、畳のい草の匂い、また満点の星空を眺められることが良かったです。また、知り合いの方からお裾分けの野菜などをいただける環境が有難いです。

現在の活動に対する想い（よかった点、がんばりたいこと等）

散策やカヤックガイドなどを通して、観光客として町を訪れている方々と直接触れ合い、満足されてお礼をいただけることはやりがいに繋がっています。来期は体験型観光のコンテンツ開発、運営に力を注いでいきます。

活動内容

●自然ガイド

エコツーリズムを推進する「エコティかわね」にて地域ガイドをしています。旅行会社から依頼のあった散策ガイドをはじめ、接岨湖を利用したカヤックやSUP体験のガイドを務めています。お客さんが楽しむことはもちろん、町民がその様子を見て町の魅力を再認識してもらえたらと思います。



●イベント運営の補佐

エコティかわね主催のエコツーリズムに関するイベントの運営補佐を行っています。南アルプスの麓に位置する町として、ハイキングや動植物の観察、保全活動・啓発活動などを実施しています。また、地域の伝統文化や歴史を、町内外の人に知ってもらったり、体験してもらおうイベントも行っています。



●自主イベント運営

地域の賑わいづくりを目的に自主イベントを開催しました。「発酵」に関する映画上映を行い、食に関する発酵だけでなく、人や地域が発酵することに関して話し合う座談会も行いました。最後に映画に登場する盆踊りを皆で踊り、町内外様々な世代が混ざり合ったイベントとなりました。



今後の展望

川根本町は、本州唯一の大井川源流部（原生自然環境保全地域）や日本百名山・光岳、希少な動植物（ハイマツ、ライチョウ等）が生息する、森林が9割以上を占める豊かな自然の宝庫です。その魅力を活かし、森林環境教育講座や地元山の会等と連携し、来訪者が町の自然を満喫できる取り組みを行ってまいります。



【活動の様子を発信しているSNS】

<https://x.com/chikiokoshi>

【メールアドレス】 kagerou.studiokatz@gmail.com

～ 映像作品ロケ誘致とロケ対応に奮闘中 ～

基本情報



【名前】 芦沢博稔
 【年代】 30代
 【出身地】
 静岡県 川根本町
 【転出元】
 京都府 京都市
 【前職】
 映像制作
 【活動時期】
 R7.1～

協力隊になったきっかけ（動機）

大学卒業後は地元の川根本町で「地域おこしの何か」をしたいという想いがありました。京都に移り住んでから、川根本町のことはWeb等で確認するようにしていたのですが、たまたま「ロケツーリズムに関する活動」という募集を見つけ興味を惹かれ、応募をした結果、今に至ります。

市町からのミッション

【ロケツーリズム】に関する活動として関係協議会、他団体との意見交換会への参加、ロケ誘致からロケ対応、ロケ実績活用の為の権利交渉、ロケ実績の広報などを担当しています。

移住先での暮らしの様子(よかった点、こまっていること等)

Uターン移住となるため居心地は良い反面、過去と比べての町の変化に一喜一憂することが多いです。良くも悪くも色々な面が見えすぎて脳疲労感に憑きまとわれています。幸いなことに自然環境や温泉施設が近い為、公私とも絶妙なバランスです。

現在の活動に対する想い(よかった点、がんばりたいこと等)

「ロケ誘致」というものはあくまでもシティプロモーションの一つの手段なので今後は本質的な部分での町の価値、魅力を再認識、再編集、再構築していく必要性を感じています。多様な町民との対話をとおして共通の価値感や新たな可能性を模索できればと思います。

活動内容

●町内ロケーションハンティング（ロケハン）

町内の景観、建物など「映画」「ドラマ」「MV」等映像作品で活用できそうな場所を探します。魅力を感じた場所は写真撮影を行い、場所の所有者、使用許諾先などを確認しリスト化。ロケ候補地マップを作成します。



●ロケ誘致からロケ対応

映像制作会社の案件内容から町内で活用できそうなロケ地を紹介しロケの提案を行います。マッチングした場合はその後ロケ当日までの準備、ロケ地の許諾確認、スタッフの町内宿泊先や食事の手配等、各所の調整や交渉を担います。



●町内ロケ作品の紹介

町内でロケが行われた作品に関して、制作会社と情報公開範囲を協議し、町内外向けに作品の広報・宣伝等を行います。



個人的にディープでマニアックな観光案内も対応可能です。

「ロケ誘致」の為の「場所探し」「食探し」「ネタ探し」が功を奏したのか、個人的に町内のディープな観光案内ができるようになりました。民話、伝説、歴史からおすすめの食事処、カフェ、多彩で多才な町民の紹介、町の小ネタなどなど、ちょっと変わった川根本町をご案内いたします。

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

<https://www.instagram.com/kawane1089/>

【メールアドレス】 yukiho.matsuyama@gmail.com

～ 温泉・サウナに関する地域おこし ～

基本情報



【名前】 松山征帆
 【年代】 20代
 【出身地】 神奈川県相模原市
 【転出元】 茨城県取手市
 【前職】 ユニクロ店舗スタッフ
 【活動時期】 R7.4～

協力隊になったきっかけ（動機）

幼少期に川根本町で暮らした経験があり、この町は今も自分にとって心の拠り所です。大人になってから再び訪れる中で、今度は自分が関わる側として町の力になりたいと考え、協力隊に応募しました。

市町からのミッション

- ・温泉地としてのPR活動及び温泉の利活用検討
- ・サウナツーリズムの推進
- ・地域一体となって取り組むための連携強化
- ・地域イベント及び川根本町の魅力に関するSNS等を使った情報発信

移住先での暮らしの様子(よかった点、こまっていること等)

幼少期にお世話になった方や同級生が声をかけてくださり、懐かしさを感じるとともに、応援してもらえることを心強く感じています。一方で、地域おこし協力隊の活動については、まだ十分に理解されていないと感じる場面もあります。

現在の活動に対する想い(よかった点、がんばりたいこと等)

先日、初めてテントサウナイベントの企画・運営を行いました。私の広告を見て来場して下さった方がいたことで、主催者としての手応えを感じました。一方で、運営面では改善点も明確になったため、今後は良い企画づくりに取り組んでいきたいと考えています。

活動内容

●テントサウナイベント

川根本町には、茶畑・山・川など、豊かな自然資源が数多く存在します。これらを活かした新たな体験づくりを模索する中で、場所を選ばず設置できるテントサウナに着目しました。これまでに、ダム湖の目の前で期間限定のサウナイベントを実施し、来場者から多くのフィードバックを得ることができました。今後はその経験を活かし、大井川鐵道や廃坑、温泉（冷鉱泉）など、地域の特色ある資源と組み合わせた企画にも挑戦したいと考えています。



●温泉体験

町内には個性豊かな5つの源泉があり、特に川根本町の温泉はpH値が高く、ぬるぬるとした肌触りが特徴で、「美肌の湯」として知られています。こうした魅力を多くの方に知っていただくため、温泉を活用した体験型イベントや「効き温泉」企画を実施しています。また、源泉温度が低い傾向があるため、加温せずに楽しめる「冷鉱泉」としての魅力も発信していきたいと考えています。



●情報発信

主に協力隊公式のInstagramやFacebookを活用し、町内のさまざまなスポットやグルメ、イベントなどを自ら体験しながら発信しています。360度カメラを使った臨場感ある映像や英語字幕をつけた投稿など、幅広い層に川根本町の魅力が届くよう工夫しています。オーストラリアでのワーキングホリデー経験を活かし、海外の方にも安心して訪れてもらえるような情報発信を心がけています。



私の今後について

退任後は、現在少しずつ取り組んでいるデザイナーとしての活動（チラシ・ポスター制作、イラスト制作など）を広げていきたいと考えています。あわせて、ピアノの講師として音楽に関わる活動にも挑戦したいと思っています。今後の活動や挑戦については、このInstagram (https://www.instagram.com/onsen_matsuyama/) で発信していく予定です。



【活動の様子を発信しているSNS】
<https://www.instagram.com/kawane1089/>

～ 人の視線を大地から夜空へむけたい～

基本情報

【名 前】 高田 大暉
 【年 代】 30代
 【出身地】 静岡県御殿場市
 【転出元】 静岡県御殿場市
 【前 職】 無職
 【活動時期】 R7.5～R9.3

協力隊になったきっかけ（動機）

大学の研究の一環として、当町を訪れたことが一番のきっかけです。調査で滞在する中で出会ったのは、澄んだ空に広がる満天の星々でした。その美しさに心を動かされ、この町が持つ星空の魅力をもっと多くの人に知ってもらいたいと感じました。星空は町民にとっては日常の風景でありながら、訪れる人にとっては忘れられない特別な体験となります。星関係の事業にも関わった経験から、そうした魅力を伝える活動に関わることが、できるのでないかと考えたことがきっかけです。

市町からのミッション

観光コンテンツ（星・星空）を活かした活動
 1) 星空のPR活動 2) 三ツ星天文台を活用した活動
 3) 星空列車等現行の星空コンテンツの更なる推進

移住先での暮らしの様子（よかった点、こまっていること等）

川根本町は、大きな山と大きな川そして吊り橋と、昔話に出てきそうな雰囲気の中、夏は涼しく冬は暖かい気候でのんびり過ごしてます。困っていることはコンビニが遠いことです。

現在の活動に対する想い（よかった点、がんばりたいこと等）

町民の皆さまには学びや交流の場を、観光客の方々には忘れられない体験を提供できるよう努めていきたいと考えています。

活動内容

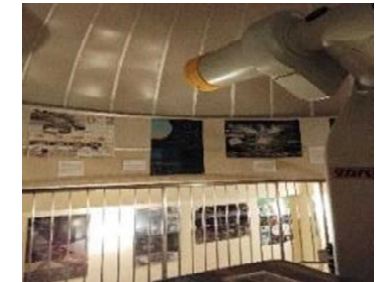
●星空案内

星空列車等の既存事業に加え、自主事業として天体観測や星座の案内を行っています。澄んだ空に広がる満天の星を眺めながら、星座や天体の魅力を紹介し、この町ならではの特別な夜のひとときをお届けしています。訪れる方にとって、忘れられない思い出となるよう心を込めてご案内しています。



●展示イベントの開催

町営天文台等の既存施設を活用し、町民や観光客のに向けた展示を開催しています。展示では星や宇宙に関する資料や解説を通じて、身近に星空をられる内容とし、本町の自然資源を活かした魅力発信等を図ることで、町民の学びの機会を広げるとともに、観光客の視線を夜空に向けられるよう取り組んでいます。



●地域ガイド

エコツーリズムを推進する「エコティかわね」にて地域ガイドを目指しています。サップやカヌー体験、吊り橋散策など、自然を満喫できるアクティビティを楽しみに来てくださった方々に、夜はぜひ空を見上げて、この町ならではの美しい星々にも目を向けていただけるようご案内しています。

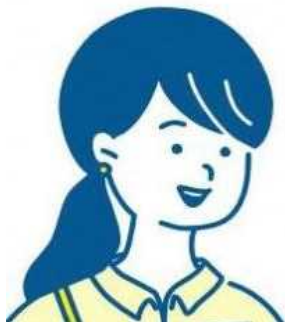


なんでもPR

川根本町の星空は、済んだ星空全国2位になったこともある星空です。そのため、星空は地域の誇りであり、人と人をつなぐ大切な資源です。新しい企画や取り組みにも挑戦し、この町ならではの星空文化をさらに広げていくことを目指しイベント等を企画中です。都会に疲れた方、星空が好きな方、少しでも興味がある方はぜひ、川根本町に遊びにきてください。また、イベント情報はSNSに掲載しますので、チェックよろしくお願いします。ご来町の際には、星空案内いたします。

～ 地域の魅力を発信する ～

基本情報



【名前】 渡辺実優
 【年代】 20代
 【出身地】 静岡県牧之原市
 【転出元】 静岡県浜松市
 【前職】 静岡文化芸術大学 学生
 【活動時期】 R3.6～R7.3

協力隊になったきっかけ（動機）

大学生3年生のときにゼミの関係で川根本町と関わりました。住民の人柄や、若者がやりたいことを応援してくれる姿勢をみて、この町で自分の好きなことを仕事にしたいと思うようになりました。もともと田舎が好きだったこと、学生時代に学んだデザインを活かせると思ったことから移住を決意しました。

市町からのミッション（協力隊時代）

地域、観光の情報発信・PR

協力隊時代を振り返って（良かった点、困った点）

協力隊では地域への思いやエネルギーのある方々と一緒に活動することができるため、より活動地域への愛着がわきました。自分の力不足を感じることもありましたが、できない分野は地域の専門家に頼りながら解決しました。

県内で活動する現役協力隊員に向けて ひとつ

協力隊は任期のある仕事のため、活動期間が終わったときに地域に何が残るのか、何が続いていくのかを考えながら活動してほしいと思います。

任期中の活動内容

- 狩猟ツアー
自然や昔ながらの生活スタイルに興味のある方へ向けて、手軽に始められる狩猟文化の体験ツアー。
- Canvaのデザイン教室
- 千頭はしご酒のサポート
- 広報チラシ等の作成



現在の活動内容

●川根本町移住コーディネーター

川根本町の少子高齢化は深刻で、このままでは町がなくなってしまうのではないかと危惧しています。そこで、地域に人を増やしてこれから何十年も安心して過ごせる町にしたいと考え、令和6年5月から移住コーディネーターとして活動しています。町の移住促進業務のほかにSNSでの情報発信や、定住促進のための若者交流会などを企画したいと考えています。

●デザインの仕事

細々とですが、デザインの仕事も受けています



川根本町の好きなところ

川根本町の魅力は「人」です。移住コーディネーターとして、地域の人のよさを伝えられるよう頑張りたいと思います。

滨松市

https://www.instagram.com/taiyo_takasaka?igsh=Y2o2dzF4MHNvZWZWRu
 【メール】chiikiokosi.hamamatsu@gmail.com

～ 子どもから大人まで誰もが住みやすいまちづくりを目指す ～

基本情報



【名前】高坂フランチェスコ太陽
 【年代】30代
 【出身地】イタリア、フィレンツェ
 【転出元】大阪府富田林市
 【前職】出版事務、警備業務
 【活動時期】R5.2～R8.2

協力隊になったきっかけ（動機）

以前から中山間地域での暮らしに関心がありました。海外生活で培ったコミュニケーション力や国際感覚、社会人としての営業経験を活かしたいと思い、協力隊への参加を決めました。

市町からのミッション

地域の安全で暮らしやすい環境づくりをミッションに、狩猟免許を取得して鳥獣被害対策に取り組み、あわせて街の美化活動や山道の整備を行っています。

移住先での暮らしの様子（よかった点、こまっていること等）

地元猟師さんがふるまってくれた猪汁は都会では決して味わえない、滋味深い一杯でした。水産の飲食店では鹿肉そばやパスタや鹿肉カレーなど、ジビエメニューが少しずつ増えてきています。もっとアピールしていきたいです。

現在の活動に対する想い（よかった点、がんばりたいこと等）

活動を通じて地域の皆さんに受け入れていただけたことが、何よりの喜びです。少人数ながら友達のように気軽に接する関係性も生まれました。今後はこうした人とのつながりを大切にしながら、「人が集い、ほっと心が休まる拠点」の実現を目標に取り組んでいきます。

活動内容

●鳥獣被害対策

狩猟免許を取得し、地域の鳥獣被害対策に取り組んでいます。有害となる鹿やイノシシを捕獲することで、地域住民が安心して暮らせる環境づくりを進めています。捕獲した獣の肉は、近隣のジビエ肉解体場へ提供する体制を整えております。さらに、副産物である獣の革や骨についても商品化に取り組み、命を無駄にしない循環型の地域づくりを目指しています。



●山道整備&町の美化

地域団体と連携しながら山道整備に取り組み、観光客が安全で快適に山登りを楽しめる環境づくりを進めています。適切に整備された山道は満足度の向上につながり、リピーターの増加や口コミによる新たな観光需要の創出が期待されます。また、町の美化活動は地域住民との交流を深める大切な機会でもあり、感謝の言葉を直接いただくことも多く、活動への大きな励みとなっています。



●イベント

イベントの企画・参加を通じて、水産地域のPR活動に取り組んでいます。特に、鳥獣被害対策や、ジビエ料理をテーマにしたイベントを企画し、地域の認知度向上に力を入れています。中でも、ジビエ肉の解体施設での解体見学イベントや、ジビエ料理教室、猟師から直接学ぶ「命の授業」などは、現場の声を交えた内容となっており、食や自然、命について考える社会学習の機会を提供しています。



一緒に地域をPRしませんか？

地域をアピールするイベントやワークショップの企画をはじめ、地域資源を活かした商品開発やブランディングにも協力出来ます。地域の魅力を一緒に発掘しませんか？ご感心のある方は、お気軽にお声掛けください。



～ 地域課題から地域資源へ～

基本情報



【名 前】 中谷友亮
【年 代】 30代
【出身地】
静岡県浜松市
【転出元】
東京都目黒区
【前 職】
広告代理店(イベント企画)
【活動時期】
R5.9～R.8.8

協力隊になったきっかけ (動機)

大学から東京で就職し仕事をしておりましたが、帰省する際に地元浜松市の中山間地域の役に立ちたいと思いがあり、応募をすることとなりました。

市町からのミッション

浜松市はフリーミッション型です。活動をする中で地域課題を見つけ、設定し解決、改善をすることとなっております。

移住先での暮らしの様子(よかった点、こまっていること等)

自然に恵まれ、都会ではできないような挑戦する余地がいまだに多く残っている点です。良い意味でも悪い意味でも何を見つけ行動し、形にするかは自分次第だと思います。

現在の活動に対する想い(よかった点、がんばりたいこと等)

私の活動する地域には多くの課題がある一方で可能性に秘めた資源が複数あります。それらをすべてにフォーカスを当てることは難しかったですが、それら課題を持つ方々の理解を得て一つに注力することができました。その思いを大切に、残りの活動の中で結果を残したいです。

活動内容

●春野茶のブランディング(地域経済)

私の大きな活動は地域資源である【春野茶】のブランディング活動と生産支援です。隊員になってから半年ほど経ったタイミングでお手伝いさせていただいた茶は、農家さんの技術力の結晶であり品質が高くとても美味しいのに知名度が低く、収穫、生産、加工現場の高齢化も問題となっております。それらに手を加えられないかということで、外部人材の力を借りて農家さんたちと一緒にお茶の商品を制作しました。今後も多くの方々に協力をいただけるように活動を進める方針です。



●放課後児童保育(教育支援)

隊員になってから絶えず続けてきている大切な活動です。中山間地域ということもあり、親御さんが仕事を市内に出かけることも多く、多数の子供達を預かっています。隊員当時は幼稚園の年長さんだった子供達が今では掛け算をしている姿を見ると一層活動を頑張らなくてはと思います。



●地域団体の支援(コミュニティ支援)

春野町では劇団限界集落という地域の方々と結成した小学校1年生から定年を迎えた方々までが活動する劇団があります。団員みんな仲良しで中山間地域ならではの笑いが絶えない家族のようなコミュニティです。私は照明として手伝わせてもらっており、こういった地域の方々が主体となった活動の素晴らしさを近くで体感させていただいております。



春野町のお茶をぜひ飲み比べてみてください

春野町のお茶を多くの方々の協力を得て制作しました。お茶の出店等、いつでもご協力できますのでお声がけください。

また、前職で野外シアターの設計、企画をしていましたのでこちらもお手伝いできます。



～ 農業を通じて持続可能な地域づくりを目指す ～

基本情報



【名前】 石川 愛実
 【年代】 20代
 【出身地】
 愛知県名古屋市
 【転出元】
 神奈川県川崎市
 【前職】
 営業職
 【活動時期】
 R7.8～R10.7

協力隊になったきっかけ（動機）

農業に興味を持ち、農業インターンに通う中で、現場が抱える課題を実感しました。地域の魅力を伝えながら、その課題解決に関わりたいと考え、協力隊への参加を決めました。

市町からのミッション

浜松市はフリーミッション型で、現在は耕作放棄地の活用を中心に活動しています。地域の方と連携しながら、農業を通じた地域の循環づくりを目指しています。

移住先での暮らしの様子(よかった点、こまっていること等)

満員電車での通勤から解放され、時間や気持ちに余裕が生まれました。夜は星がとても綺麗で、帰り道に空を見上げるのが日常になっています。

現在の活動に対する想い(よかった点、がんばりたいこと等)

実際に移住して活動することで、地域のくらしや考え方により近い距離で関われるようになりました。外から来た立場だからこそ見える視点と、長く住む地域の方から見える視点の両方を意識しながら今後も活動していきたいと思っています。

活動内容

●耕作放棄地の活用

移住先で耕作放棄されていた農地を活用し、野菜の栽培を行っています。草刈りや土づくりから始め、少しずつ作付け面積を広げながら、農地を使われる場所に戻していけるよう活動を進めています。また、獣害対策についても、竹を活用するなど、地域資源を生かした方法で行っています。



●イベント出展

自分で育てた野菜を使い、イベントでおでんとして販売しました。農地の再生から販売までを一連の流れとして行ったことで、地域の中で農業が果たす役割を考えるようになりました。



●直売所の支援

地域の直売所での販売支援を行ったり、収穫時期に人手不足で困っている農家さんの収穫作業を手伝ったりしています。現場に入ることによって、農家さんの悩みや工夫を直接知る機会にもなっています。



PR

私はこの活動を通して『個人農家がきちんと収益を上げられる仕組み』をつくることを目標にしています。現在は野菜スイーツの開発を進めており、来年は出展イベントを増やしていく予定ですので、どこかでお会いできたら嬉しいです！Instagramやメール等にてお気軽にご連絡ください。

～『この地域で育ってよかった』を増やしたい～

基本情報



【名前】 保泉 雄貴
 【年代】 20代
 【出身地】 群馬県佐波郡玉村町
 【転出元】 群馬県伊勢崎市
 【前職】 建設業・プログラミングスクール講師
 【活動時期】 R7.3～R10.2

協力隊になったきっかけ（動機）

息子が2人おり、自然が豊かで人とのつながりを感じられる環境で子育てをしたいと考え、移住をしました。まちづくりや子育て支援に強い関心があり、地域の一員として暮らしながら、地域を良くしていくという協力隊の活動に共感し、応募しました。

市町からのミッション

浜松市はフリーミッションです。
 地域のNPO法人とのイベント企画や運営などです。

移住先での暮らしの様子(よかった点、こまっていること等)

息子たちがノビノビと育っている実感があります。率先して大きな声で挨拶するようになったし、元気に外で遊ぶようになりました。地域の方々にも歓迎していただき、野菜やお肉など色々なものをいただけます。困っていることは家が寒いこと。笑

現在の活動に対する想い(よかった点、がんばりたいこと等)

地域の子どもたちと日常的に関わる中で、大きなやりがいと元気をもらっています。また、自然と触れ合う時間が増え、心身ともに健康的になったと感じています。今後は、子育て世代が安心して暮らし続けられる地域づくりに取り組んでいきたいと考えています。

活動内容

●子育て世代支援

低迷していた地域の放課後こども教室の運営・管理を担っています。支援員の高齢化や人手不足、預かり時間が短いといった課題があったため、体制の見直しや運営方法の改善に取り組んできました。また、地域の子どもたちが「この地域で育ってよかった」と感じられるような体験の場をつくることを目的に、夏休み期間中に一日預かりのイベントを実施しました。



●鳥獣害対策

協力隊着任後すぐに狩猟免許を取得しました。活動地域ではシカやイノシシによる農作物被害が深刻であり、猟友会のメンバーも高齢化が進んでいます。若さと行動力を活かし、先輩猟師から技術を学びながら実践経験を積み、地域の鳥獣害対策を担う人材となることを目指しています。



●お茶農家での栽培技術習得

静岡といえばお茶の産地として全国的に知られていますが、近年は生産量の減少が課題となっています。もともとお茶が好きだったこともあり、お茶農家のもとで栽培技術を学ぶ機会を得られたことをうれしく感じています。将来的には、自らお茶畑を管理し、地域農業の一端を担える存在になりたいと考えています。



友だち募集

子育て中の隊員さんと繋がることができたら嬉しいです！
 身体を動かしたいので誰か一緒にスポーツしませんか？
 どんなスポーツでもいいですよ！

～日本三大人工美林の森で木のおもちゃの魅力を伝える～

Instagram @tenryu100nokoto
【メール】 kumoyume@i.softbank.jp

基本情報



【名前】 平野 健寿
【年代】 30代
【出身地】
静岡県 浜松市
【転出元】
千葉県 佐倉市
【前職】
木のおもちゃ販売
【活動時期】
R6.4～R9.3

協力隊になったきっかけ（動機）

学生時代から首都圏で過ごしていましたが、いつか出身地である、静岡県浜松市に戻りたいという気持ちを持ちながら過ごしていました。そんな時に浜松市の人口減少率のニュースを目にしました。育つ子どもがいなくなるということは、「育った地域を思い返す人も減る」ということだと考え、自分の得意なことや経験を浜松市に還して、ほんの少しでも変化のきっかけを作りたいと考えました。

市町からのミッション

浜松市の活動は【フリーミッション】
子育て支援・地域支援・移住支援を中心に
地域のためになる事は、なんでも行なっています。

移住先での暮らしの様子(よかった点、こままっていること等)

浜松市は、海、川、森、歴史、文化、自然が全て揃う魅力的な場所です。日本のほぼ中心に位置しており、東西南北どの方面へもアクセスが便利です。地元の人々は、穏やかでのんびりとした性格の中に、「やらまいか精神」（やってみよう精神）が強く根付いています。

現在の活動に対する想い(よかった点、がんばりたいこと等)

地域おこし協力隊の活動を通して、常に地域や街のことを考えるようになりました。普段何気なく過ごしていた日常の中にも、多くの人々が関わり、まちづくりが進んでいることを知るようになりました。自分の活動がその一端を担い、地域の発展につながる可能性があることに、大きなやりがいを感じています。

活動内容

・木のおもちゃ広場 子育て講座 木のおもちゃ展

所有している500種類以上の木のおもちゃやボードゲームを活用して、子どもからシニアまで学びながら楽しめる遊び場や講座を開催しています。保育士としての視点、おもちゃコンサルタントとしての視点、父親としての視点から、木と森のまち浜松市天竜区で木のおもちゃの魅力を伝えています。



・日本三大人工美林 天竜材を利用した木のおもちゃ作り

木の温もりを感じられる天竜材の積み木や誰もが遊べる指けん玉など木のおもちゃを作り届ける活動もしています。天竜材を利用した地域のおもちゃブランドを作れるように、試行錯誤を重ねています。木のおもちゃの販売が出来る店舗や移動販売のおもちゃトラックを作りたいです！



・地域名産のパワーフードを目指して開発 【天竜焼き】

浜松市天竜区の食材を包んで焼き上げる【天竜焼き】もちもちの生地の中に旬の食材と焼きそばなど地域の魅力を詰め込みます。道の駅とコラボした限定の【鹿肉みそ味】など餃子や遠州焼きに並べるような地域の名産品を目指しています。浜松市のイベントやお祭りにて限定出店しています。



木のおもちゃ広場出張します！地域案内できます！

木のおもちゃ広場や子育て支援イベントを得意としています。イベントにキッズスペースを作りたい場合などご相談ください。また実際に足を運んで感じてもらいたい、浜松市天竜区の魅力。興味や活動に合わせた、地域案内の依頼も大歓迎です。



磐田市

基本情報



【名前】 安江 成美
【年代】 30代
【出身地】 岐阜県美濃加茂市
【転出元】 千葉県船橋市
【前職】 サービス業
【活動時期】 R7.1～

協力隊になったきっかけ（動機）

企業雇用型として協力隊をやっています。
コロナ禍以降、多様な働き方に憧れを持つようになり今の会社の求人と出会いました。

市町からのミッション

磐田市のシティプロモーションの一環として、人にスポットを当てた動画・記事コンテンツの企画・制作を、本社と連携しておこなっております

移住先での暮らしの様子(よかった点、こまっていること等)

出身地と似た雰囲気を感じながらも、都心へのアクセスも良いので移住としてのハードルが低いと思います！
都会ほどのゴミゴミした雰囲気はないですが、程よくコミュニティやネットワークがある環境が良いと思います◎

現在の活動に対する想い(よかった点、がんばりたいこと等)

現地に住んでいるからこそその発信をしたいと思っています。
インタビューにご協力いただいている方々の想いをより良く発信できるように、理解をきちんとしつつ第三者の目線でコンテンツ制作をしていきたいです！

活動内容

●ヒト・モノ・コトにフォーカスをしたインタビュー

自社のHP・YouTubeチャンネルに掲載する磐田市のコンテンツを作成。
磐田市で叶うちょっといい自分＝「#いいわたし」をテーマに地域で活躍されている方、たまたま磐田に縁ができた方、これから何かを始める人などの取材をしています。
移住者目線で気になったイベントや場（コト）や、地域で注目されているモノに焦点をあて、そこに「込められた想い」などの観点から磐田市の認知度アップやファンづくりが出来るようなコンテンツづくりを目指しています。
ジャンル問わず、地域のいろいろな職業や活動の方と関わることが出来るのが魅力的です。



●磐田での体験や取材のこぼれ話で記事執筆

磐田でのリアルな暮らしを「ローカルディレクターのひとりごと」として執筆中。
移住者目線での体験や感じたことをよりリアルにお届けできるように執筆しています。



記事や動画を通して磐田のヒト・モノ・コトを知っていただけるように発信中です

自社HP・YouTubeチャンネルを活用し、磐田市のヒト・モノ・コトを伝えるコンテンツを企画・制作

<https://oftokyo.jp/citylife/iwata/>

たくさん地域の方のご協力をいただきながら活動させてもらっています。
素敵な磐田の#いいわたしをより多くの方に知っていただけるように、そしてコンテンツを通しての新たな動きやモノ・コトが生まれる循環ができれば嬉しいなと思っています。
自分の周りでも、そんな循環が生まれるように活動したいです！

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
<https://www.instagram.com/yamam.iwata/>
 【メールアドレス】yamamiwata@gmail.com

基本情報



【名前】 山本真由美
 【年代】 40代
 【出身地】 静岡県浜松市
 【転出元】 静岡県浜松市
 【前職】 保育士
 【活動時期】 R5.5～

協力隊になったきっかけ（動機）

保育士として仕事をする中で、自然の中で遊ぶ子どもたちの姿が輝いていたため、自然の中で保育をしていきたいと考えようになりました。今までの人脈や経験を活かしながら、自然に対する知識を学ぶとともに、専門家と繋がりを作り、新たな活動ができたらと思い応募しました。

市町からのミッション

中山間地域における農林業

移住先での暮らしの様子(よかった点、こまっていること等)

山が近く自然が多いので、のんびりと散歩を楽しめます。優しい人も多いのですが、地元の方のコミュニティに入っていくのは一人だと難しいと感じています。人と人をつなぐ人や場所の重要性を感じました。

現在の活動に対する想い(よかった点、がんばりたいこと等)

磐田市第一号の隊員ということで、手探り状態のままの活動でした。地域おこし協力隊とは？と、ずっと悩んでいたように思います。市役所との距離も遠く、コミュニケーション不足だったので、もっと対話ができればよかったと思っています。

活動内容

●収穫体験イベント

畑で野菜作りをしているので、収穫体験イベントを開催しています。収穫だけではなく、虫取りなどの畑遊びや料理体験なども組み合わせ、野菜だけではなく花も虫も人も育つ畑を目指しています。また、じゃがいもやさつまいもは、植え付けから収穫までを体験できるような連続イベントとして開催しました。



●自然体験イベント

いわたおんぱくにおいて、小学生親子を対象とした自然観察とネイチャークラフトのプログラムを提供しました。参加者は、私の活動エリアである磐田市豊岡地区にはあまり来たことのない親子がほとんどで、少しでも豊岡地区と自然の魅力が伝えられたかな？と思っています。



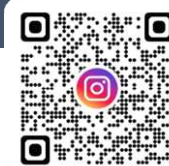
●スマートフォン相談会

スマートフォンのちょっとした困りごとを相談できる場所として始めましたが、私にとっては地元の方との交流ができる貴重な場所になりました。この相談会を通じて知り合った地元の方に、イベントのお手伝いをお願いしたり、地元の情報を教えてもらったりと、スマートフォンとは関係ない話で盛り上がることもある会です。



なんでもPR

退職後も、同じようなイベントを開催していきたいです。森のようちえん、体験農園など、やってみたいことはたくさんありますが、仲間さがしと拠点さがしに苦戦しています。いろいろな人とつながる楽しさと難しさを感じているので、この輪を広げていきたいです。



～ 空き家の利活用や移住定住の促進 ～

基本情報



【名前】 秋山 拓哉
【年代】 20代
【出身地】
神奈川県平塚市
【転出元】
神奈川県平塚市
【前職】
エンジニア
【活動時期】
R7.4～

協力隊になったきっかけ（動機）

仕事や趣味を通じて空き家と関わる機会が多くなる中で、地方での暮らしに対する関心が次第に高まりました。そうした折に、磐田市の地域おこし協力隊の募集を知り、応募しました。

市町からのミッション

空き家の利活用や移住定住の促進のため、空き家所有者や活用希望者との相談や対話を通じて、空き家活用につながるきっかけを作ること。

移住先での暮らしの様子（よかった点、こまっていること等）

スポーツのまちとして知られる磐田で、ジュビロ磐田の応援を日常の楽しみとしながら暮らしています。海・川・山が近く、歴史も感じられる環境に加え、アクセス面や街の規模感も自分に合っており、移住後も生活に困ることなく過ごせています。

現在の活動に対する想い（よかった点、がんばりたいこと等）

活動を始めてまだ1年未満ですが、行政職員や地域の方々など、多くの人と関わる中で、まちづくりがさまざまな立場の人の協力によって進められていることを実感しています。日々刺激を受け、学びの多い環境に身を置けていることをありがたく感じています。今後は、これまでに築いた関係性を大切にしながら、地域にとって必要とされる活動を丁寧に続けていきたいです。

活動内容

●旧津倉家住宅を拠点とした空き家の相談窓口の設置

登録有形文化財である旧津倉家住宅を活用し、空き家に関する活動の拠点として「かけラボ」を開設しました。空き家所有者や利活用を検討する方が気軽に立ち寄り、相談や情報交換ができる場とすることで、空き家の利活用につながるきっかけづくりに取り組んでいます。



●空き家や地域資源をテーマとしたワークショップの開催

空き家や地域資源をテーマにしたワークショップを企画・開催しています。住民、事業者、カフェ開業希望者など多様な立場の参加者が集い、対話を通じて空き家活用のアイデアや地域での関わり方を考える場を設けています。空き家を個人の問題から地域で考えるテーマへと広げることを目的としています。



●野外音楽フェスティバルでの協力隊活動の周知

磐田市沿岸部で開催された野外音楽フェスティバル「Iwata Seaside DREAM Fes 2025」において、西部地域おこし協力隊の合同ブースを設置しました。来場者に対して協力隊の活動内容を紹介し、認知向上を図るとともに、近隣地域の地域おこし協力隊との横のつながりを強化しました。



今後の展望

2年目以降は、自ら空き家を活用・改修し、空き家利活用のモデルケースをつくることに挑戦したいと考えています。実践を通じて得た経験を共有することで、空き家所有者や活用希望者が行動を考えるきっかけになればと考えています。

～家と人の縁を結ぶ仲人やってます～

基本情報



【名前】 川邊正人
 【年代】 50代
 【出身地】 新潟県新潟市
 【転出元】 新潟県新潟市
 【前職】 宿泊施設経営、大学生
 【活動時期】 R7.6～

協力隊になったきっかけ（動機）

ラグビーワールドカップで2か月間フランスに滞在したことをきっかけにラグビーのホームタウンに住みたいと思っておりまして磐田市のWEBサイトを拝見したところ協力隊の募集が目に入りました。空き家や空き店舗を活用した事業の経験がありましたので磐田市の空き家コーディネーターに応募しました。

市町からのミッション

空き家の所有者と空き家の利活用希望者をマッチングすることがミッションです。ほかにもワークショップを開いて空き家対策の周知・啓発をしています。

移住先での暮らしの様子(よかった点、こまっていること等)

静岡市、浜松市で育ったので知ってはいたのですが雪が降らないこと、冬でもずっと晴れていることは自分にとって大きなメリットです。新潟と比べて物価は少し高いと感じますが、それを上回る気候の良さでとにかく住みやすいです。

現在の活動に対する想い(よかった点、がんばりたいこと等)

磐田市の掛塚地区にかけラボという拠点を構え、空き家の所有者、利活用希望者の相談を受けております。ワークショップなどを通じて街の熱意を感じました。

活動内容

●かけラボの設置と相談対応

磐田市掛塚地区にある市の重要文化財、津倉邸にかけラボ（かけつかからはじめる空き家の魅力発信ラボ）を設置。毎週月・火・水曜日に常駐し空き家の所有者や利活用希望者に対して相談対応をしています。



●ワークショップの開催

掛塚まちづくりワークショップを開催し、住民から空き家活用や地域活性化のアイデア（カフェやマルシェ等）を引き出し、具体策を検討。また、チラシ作成やSNSによる広報活動、空き家相談の窓口対応も行い、地域資源の価値再発見と、住民・関係人口を巻き込んだ持続可能な体制づくりに尽力しました。



●各種イベント出展

Iwata Seaside DREAM Fesや住宅関連などさまざまなイベントに出展し多くの方々に地域の魅力を広くPRしました。



これができる、これをやりたい

長く海外に住んでいた経験から外国人向けの宿屋を経営しておりました。外国人とのコミュニケーションに不安がないので民泊などの外国人と関わる仕事をしたいと考えております。また本職がWEB関係で現在大学でAIを勉強しています。いずれは国内外の移住に関するWEBサイトやアプリを開発したいと思っています。

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
instagram: @fujitar_1111
【メールアドレス】ryo.taiin25@gmail.com

～ 空き家から始める、私たちのまちづくり ～

基本情報



【名前】 藤田亮太郎
【年代】 20代
【出身地】 静岡県浜松市
【転出元】 静岡県浜松市
【前職】 自営業
【活動時期】 R7.10～

協力隊になったきっかけ（動機）

もともと同じようなミッションを掲げ、自営業を行なっていましたが、もっと深く、もっと視野を広げるために協力隊を志しました。

市町からのミッション

- ・空き家の所有者と購入希望者のマッチング
- ・市民への啓発行動

移住先での暮らしの様子(よかった点、こまっていること等)

磐田市は北から南まで合併により大きな市となりましたが、各地域でさまざま特徴があり、地元愛が強い方もたくさんいます。このまちだから、この人たちだから出来る！そんなワクワクがたくさんあります。

現在の活動に対する想い(よかった点、がんばりたいこと等)

協力隊となり、数ヶ月。たくさんの人と出会えました。自分ひとりでは解決できない問題もみなさんと協力してなら出来ると思います。そんな、人との出会いを大切にこれからも取り組んでいこうと思います。

活動したい内容

●空き家お片付け、空き家フリーマーケット

「空き家を貸せない、手放せない」というお声をよく聞きます。その理由の一つに残置物があると。“空き家”という代名詞がついていますが、元々は〇〇さんが実際に住んでいて、思い出が詰まっている大切なものがたくさんあると思います。「でもお片付けはしたい」そんな思いを丁寧にくみ取り、お片付けのお手伝いをします。その思い出は未来に繋がっていくかもPJです！



●だれでも第一歩、チャレンジショップ

自分自身『やってみたい』と強い思いを持ち、協力隊になる前、自営業をはじめてみました。もちろんうまくいかないこともあります。その壁にぶつかって、考えて、行動して、また考えて、自分自身でその壁を乗り越えていく。ものすごい達成感と楽しさがあります。1人で始めるにはハードルが高いかもしれないけど、まずは試してみたい！やってみたい！を一緒にやっちゃおうPJです、



●みんなでBEFORE AFTER 空き家改修PJ

建物の改修がめちゃくちゃ楽しい！その一言に尽きます。材料をノコギリで切って（※電動です）、釘を打って（※電動です）、仕上げをして（※手動です笑）、新たな姿になっていく。これをまちのみんなとやって愛される建物をつくろうPJです！



小さな一歩を踏み始めました！

協力隊となり、まだまだ期間が短いこともあり、上には活動したい内容を書いてみました。実際に始動中のPJもあるため、ぜひ楽しみにしていて下さい！3年後、磐田市がどんな姿になっているか自分自身とても楽しみです。みんなで磐田市を盛り上げていきましょう！



～ いわたおんぱくを通じて、人と体験をつなぐ～

基本情報



【名 前】 上村奈央子
 【年 代】 40代
 【出身地】 山口県萩市
 【転出元】 福岡県福岡市
 【前 職】
 カウンセラー、
 グラフィックデザイナー
 【活動時期】
 R7.8～

協力隊になったきっかけ（動機）

静岡の土地の空気や人のあたたかさに惹かれ、移住を決意しました。磐田市の自然や暮らしやすさに魅力を感じ、これまでの経験を活かして地域の魅力を伝えたいと思い応募しました。

市町からのミッション

- ・ いわたおんぱくの開催支援
- ・ 磐田市の観光資源を発掘・再発見し、効果的に発信すること
- ・ 関係交流人口拡大に繋がる活動

移住先での暮らしの様子(よかった点、こまっていること等)

自然が豊かで人が温かく、取材活動を通じて多くの方と出会え、また、自分の感性やこれまでの経験を生かせる可能性を感じています。一方で、立場的に悩むこともあり、相談できる場の大切さや信頼関係を築くことで解決につながると感じました。

現在の活動に対する想い(よかった点、がんばりたいこと等)

いわたおんぱくを通して、事業者や市民の方が楽しんでもらっている実感が持てた。また発信をきっかけに参加者が増えた事例もあり、情報発信の効果を感じた。来年に向け一過性の発信で終わらせず、関係交流人口の創出に繋げたい。また自身のプログラムを実施し、より多くの人を呼び込む事に挑戦したい。

活動内容

●「いわたおんぱく」の運営支援・広報

いわたおんぱくの実務に携わり、取材・記事作成・SNS発信まで担当。坐禅、工場見学、アート、自然体験、食体験など幅広いジャンルの現場に足を運び、参加者の反応や地域の声を丁寧に拾いながら魅力の可視化を行った。また、私自身もプログラムパートナーとして企画・実施に関わり、協力隊メンバーと連携しながら体験プログラムの運営を行った。企画者・運営側・発信者の三つの立場の経験を活かし、来年度は現場視点と発信視点の両方からプログラムづくりに関わりたい。関係構築を進める中で、次年度企画につながる相談や新たな企画の芽（星空体験、ガストロノミー、里山活用等）も生まれている。

●Instagram運用

Instagramの投稿を継続的に制作し、告知だけでなく、人の思いや背景などを大切に発信を意識した。

●現地取材・視察・関係づくり

市内各地の視察、農村RMO、ガストロノミーツーリズム研修、ガイド養成講座、テーマ別研修などに参加し、地域資源や課題を把握。事業者・地域住民・行政職員との対話を重ね、顔の見える関係づくりを進めた。空き家、里山継承、高齢化、引き継ぎ問題などの声も現場で受け止め、関係部署や他チームと共有している。



人の想いを編集し、体験として伝え、次につなぐ観光コーディネート

都市部から移住してきたからこそ、日常の中にある小さな感動や人のあたたかさに敏感でいたいと思っています。人と話すことが好きで、何気ない会話の中にこそ、その土地ならではの魅力や可能性が詰まっていると感じています。地域の方との対話の中で生まれるひらめきや感情、偶然の出会いから生まれる化学反応を大切に、人の想いを編集して「やってみたい体験」として届ける。人と人をつなぎ、次の物語が動き出す観光をつくっていきたいと思っています。

御前崎市

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
 【Instagram】@omaezakinohito
 【メールアドレス】rikutoseo.nagisa@gmail.com

～ 海と人をつなげるきっかけ作り人～

基本情報



【名前】 瀬尾 陸斗
 【年代】 20代
 【出身地】
 東京都練馬区
 【転出元】
 東京都
 【前職】
 番組制作
 【活動時期】
 R5.4～R8.3

協力隊になったきっかけ（動機）

大学からのマリンスポーツを続けたくて海に近い場所の移住を考えたのがきっかけです。協力隊を選んだ理由もミッションがマリンスポーツを盛り上げることだったので迷わず応募しました！

市町からのミッション

マリンスポーツを使った地域活性

移住先での暮らしの様子（よかった点、こまっていること等）

良かったことは海が近いこと。親切な人がとても多いこと。困っていることは車での移動が基本で、想像していたよりも維持費がかかってしまったことです。

現在の活動に対する想い（よかった点、がんばりたいこと等）

御前崎渚の交番さんと一緒に夏にはバナナボート体験や団体の海洋体験を実施。子供たちの楽しんでいる様子を近くで見れるのはとてもやりがいに感じました。また大会の監視では選手の方から感謝されたときはこの仕事を始めて良かったと思えました。

活動内容

●団体海洋体験受け入れ

近隣の市町は遠州沿いで危ないため海水浴場がなく、海に入る文化があまりないことに驚きました。こんなに海が近くにあるのもったいないと思い、体操教室に営業電話をかけ、子供たちに海で遊ぶ楽しさを教えています。



●ウインドサーフィン大会監視

御前崎は日本でも有名なウインドサーフィンの聖地。大会もシーズン中は多く行われ、その監視業務をしています。元々大学生時代からやっていたライフセービング活動も活かしています。



●レスキュー訓練会

海上保安署から緊急連絡が来るようになっており、海上で事故があったらいつでもいけるように御前崎渚の交番さんの水上オートバイを借りてレスキュー訓練や操船訓練を定期的で開催しています。



○動画制作をたまにやっています

前職が番組制作だったこともあり、夏や大会シーズン以外では地域の魅力発信ということで御前崎市のお店のPR動画を作っています。今移譲して3年目で、これまでに30本くらいは制作したのでそこまで多くはないですがぜひ何か協力できることがあれば気軽に連絡してください。

森町

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
 【Instagram】 @chiikiokoshi_ginga
 【メールアドレス】 gingamochizuki@icloud.com

～ 地域資源で製品開発と豊かな暮らしを～

基本情報



【名前】 望月 銀河
 【年代】 40代
 【出身地】
 オーストラリア、キャンベラ
 【転出元】
 静岡県掛川市
 【前職】
 英会話教師
 【活動時期】
 R6.10～R9.9

協力隊になったきっかけ（動機）

以前より森町の山奥でマウンテンバイクパークの運営に関わりがあり、そこで地域の方からの紹介で協力隊制度を知りました。ちょうど転職も考えていた時期でもあったので応募しました。

市町からのミッション

メインテーマ：中山間地域の関係人口創出。メインミッション以外にも地域の方との交流やお手伝い、移住者サポートなど。

移住先での暮らしの様子(よかった点、こまっていること等)

築100年の古民家をお借りし、活動の合間にDIYで少しずつ修復をしています。活動が幅広く、副業も重なり、やることが多い日々ですが、その中でも地域の方とちょっとしたおしゃべりをしたり、ご近所さんからいただいた果物を食べたり、糍屋さんのお味噌で味噌汁を作ったりする暮らしに豊かさを感じます。

現在の活動に対する想い(よかった点、がんばりたいこと等)

地域おこし協力隊での活動を通して、日々地域の方に会えるきっかけをいただいています。小さな町だからこそ、一つの出会いから次の出会いに繋げてくれますし、活動内容も広がってもらえるので、大変ありがたいと感じます。

活動内容

●地域資源の活用

地域資源を探し、ふるさと納税の返礼品になる製品作成を目標に、材料テストや試作品作りを行っています。1年目では鹿の革でマウンテンバイク専用バッグ、流木でコーヒーテーブル、古民家廃材でインテリア家具などをテスト製作しました。活動期間後半で製品作りに向いているものを選び、商品化を目指します。



●外国人観光客の受け入れ体制サポート

森町に訪れる外国人がより地域の良さを楽しめるように町の紹介マップ作りをしたり、ハイキングコースを安心して楽しんでもらえるように調査を行ったりしています。そして、受け入れる側となる地域の方々に負担がなく、外国人を快く歓迎できるようにサポートをします。



●工作カフェ作り

地域の交流場を目指したコーヒースタンド兼作業スペース「工作カフェ」を準備中です。工作室をゆっくりDIYで作りながら、2～3ヶ月に一度、コーヒーを飲みながらクラフトができるミニイベント「GARAGE CRAFT CAFÉ」を開催しております。地域の方との交流目的で始めたもので、毎回楽しく交流をしています。



退任後の目標

現在は幅広い活動内容となっていますが、これらの活動を連携させ、退任後は地域資源を集めた工作カフェを運用しながら、ハンドメイド作品の販売を目指しております。副業として、さらに山奥にあるマウンテンバイクパークでコーヒースタンドを運営しているため、活動内容をここでも繋げていきたいと考えています。現在森町の隊員は1人です！ものづくりが好きな方、ぜひ交流しましょう！

しずおか地域おこし協力隊ネットワーク しずく

しずく

しずおか地域おこし協力隊ネットワーク

～ここから始まる、しずくの連なり～



「地域にシズク」――それは、地域おこし協力隊のひとりひとりが、地域にじわじわと根付き、想いを広げていくこと。ひとしずくが滴るように、静かに、確かに浸透していく。小さな力が集まれば、やがて大きな流れとなり、地域を潤し、元気にしていく。そんな協力隊の姿を、「しずく」という名前に込めました。

沿革

2023年 静岡県主導により、しずくの前身となる「静岡県地域おこし協力隊ネットワーク」が設立。

2024年 都道府県ネットワーク伴走支援事業（総務省・JOIN）を通じて、組織の目的・役割を明確化。

2025年 しずおか地域おこし協力隊ネットワーク しずくとして本格的に活動開始。

代表：仁科亜弓（藤枝市地域おこし協力隊OG）
副代表：小田優斗（富士宮市地域おこし協力隊OB）

連絡先

【活動の様子を発信しているHP・SNS】

<https://shizucu.net>

instagram : shizuoka_pref_kyouryokutai

「しずく」は、静岡県の地域おこし協力隊経験者によって設立された団体です。

地域おこし協力隊およびその関係者すべてを支援し、相互の連携を深めることで、協力隊の活動をより充実させ、静岡県全体の地域力の向上を目指すことを目的としています。



私たちが取り組んでいるいくつかのこと

しずおか地域おこし協力隊ネットワーク「しずく」では、地域おこし協力隊の活動や課題に関する相談を受け付けるサポートデスクをはじめ、協力隊募集支援、フィールドワーク、研修の企画・運営、地域コミュニティ同士の連携支援など、県内横断的な取り組みを行っています。現役隊員やOBOGに加え、協力隊を目指す方、自治体の協力隊担当職員、地域の皆さまからの相談にも対応し、匿名での相談も可能です。東京・大手町での募集イベント開催や、初任者・ステップアップ研修、行政職員向け研修などを通じ、対話と交流を軸とした支援を実施し、立場や地域を越えたつながりを育んでいます。

しずくでは、地域おこし協力隊の経験者限定のオープンチャットを運営しています。情報交換や相談、研修・イベントの案内など、日々の活動に気軽にご活用ください。現役隊員・OBOGが立場や地域を越えてつながる、対話と交流の場です。ぜひご参加ください。

